

日本教育心理学会 第61回総会 プログラム

Program of the 61st Annual Meeting of
the Japanese Association of Educational Psychology

2019年9月14日(土)～16日(月・祝)
日本大学 文理学部キャンパス 3号館

総会準備委員長挨拶

昨年の第60回総会は、人であれば還暦の年、新たな誕生でした。その節目となる総会が慶應義塾大学で開催され、福沢諭吉の理念に基づきながら「教育を実学（サイヤンス）する」という統一テーマのもと、会員の一人ひとりが日ごろの研究や実践を根本から見直すよい機会となったものと思います。今年は第61回、人であれば1歳になります。赤ちゃんも1歳ともなると、だれに命じられたわけでも、だれに教えられたわけでもないのに、自分でいろんなことをし、いろんなことができるようになります。

日本大学の教学の理念は「自主創造」という言葉に集約されています。日本大学は明治22（1889）年に創立された日本法律学校を前身とし、松下村塾出身の初代司法大臣の山田顕義を学祖としています。学祖は、時の司法大臣として、日本の社会事情と世界の趨勢を考慮して「日本人としての主体性の認識と広く世界的視野に立った人材の育成」を教育の目標としました。この目標は、現在の学則のなかにも「日本精神にもとづき、道統をたつとび、憲章にしたがい、自主創造の気風をやしない、文化の進展をはかり、世界の平和と人類の福祉とに寄与することを目的とする」と謳われています。

自主創造とは、自ら学び、自ら考え、自ら道をひらくこととされていますが、昨年、日本大学は、自らがこの理念をないがしろにしたとしか思えないような不祥事で世間をお騒がせしました。自主創造の気風をやしなうどころか、権威や命令への絶対の服従を強い、仲間内の伝統やしきたりへの追従と付和雷同をよしとする、そういう気風はなかったのか。今、現場の教職員の多くは、あらためて自主創造の理念に立ち返ることの大切さをかみしめるとともに、一人ひとりが自らの日常の大学生活や教育実践を通してこの理念の実現に資するよう努力することを誓っています。

ひるがえって、日本の教育心理学に目を向けると、第60回の還暦総会を祝ったように、教育心理学も、ひとつの学問ディシプリンとして、十分に確立し成熟し、高度化、複雑化、組織化しているように思われます。それは発展がもたらす必然として歓迎すべきことかもしれませんが、そのなかにあつての懸念は、現場の研究者や実践者一人ひとりが、いわば権威として確立された概念や方法や組織に圧倒されて、自ら考えることを放棄し、「よくわからないけれども、そうやるものだ、そうやっておけば、とりあえずまちがいはない」といった、ルーチン化されたお作法主義、伝統主義、教条主義に陥っていないかということです。このような気風は、パワハラ、アカハラの温床ともなりえます。日本大学の不祥事を日本教育心理学会に投影しているにすぎないとお叱りも覚悟しておりますが、現実には、さまざまなかたちのハラスメントは、教育心理学会に限らず、大学をはじめとした学界のさまざまな場面で報告されている通りであろうと思います。

日本教育心理学会総会も還暦を迎え、すでに1歳。第61回総会は、自ら学び、自ら考え、自ら道をひらくしかなかった草創期に思いをいたし、いまいちど自らの足元を見つめ直し、そこから新たに生まれてくるものを育てていくための契機、機会としていただければ幸いです。「自主創造」を統一テーマのように装っていますが、要は、自分で好きにやりましょう、ということです。総会準備委員会の企画も、その趣旨にそって、各委員の自主創造に委ねましたので、統一感がありません。ご理解くだされば幸いです。

会員のみなさまには、第61回総会が開催される日本大学文理学部キャンパスにふるってご参集いただけますことを、心より願っております。

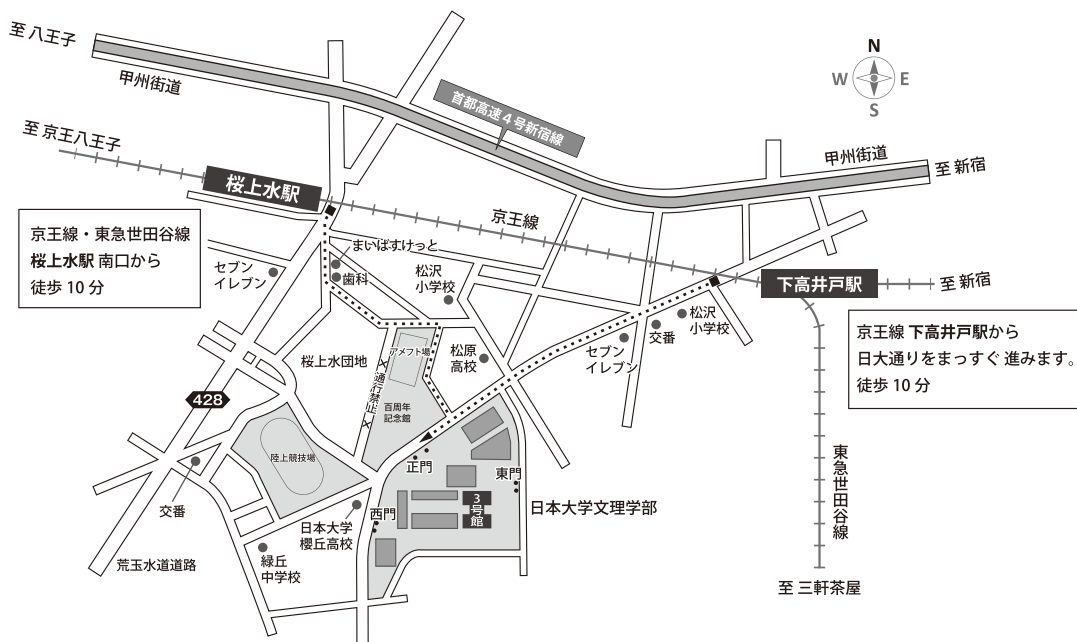
第61回総会準備委員会（日本大学）
委員長 岡 隆

目 次

会場のご案内・周辺図	(1)
会場へのアクセス	(2)
会場フロア案内	(3)
会場フロアマップ	(4)
参加者へのご案内	(7)
研究発表のご案内	(9)
総会日程	(11)
授賞式・会務報告会	(14)
準備委員会企画シンポジウム	(15)
研究委員会企画シンポジウム	(21)
ハラスメント防止委員会企画シンポジウム	(25)
自主企画シンポジウム	(26)
ポスター発表	(45)
発表者索引	(85)

会場のご案内

■日本大学 文理学部キャンパス周辺図



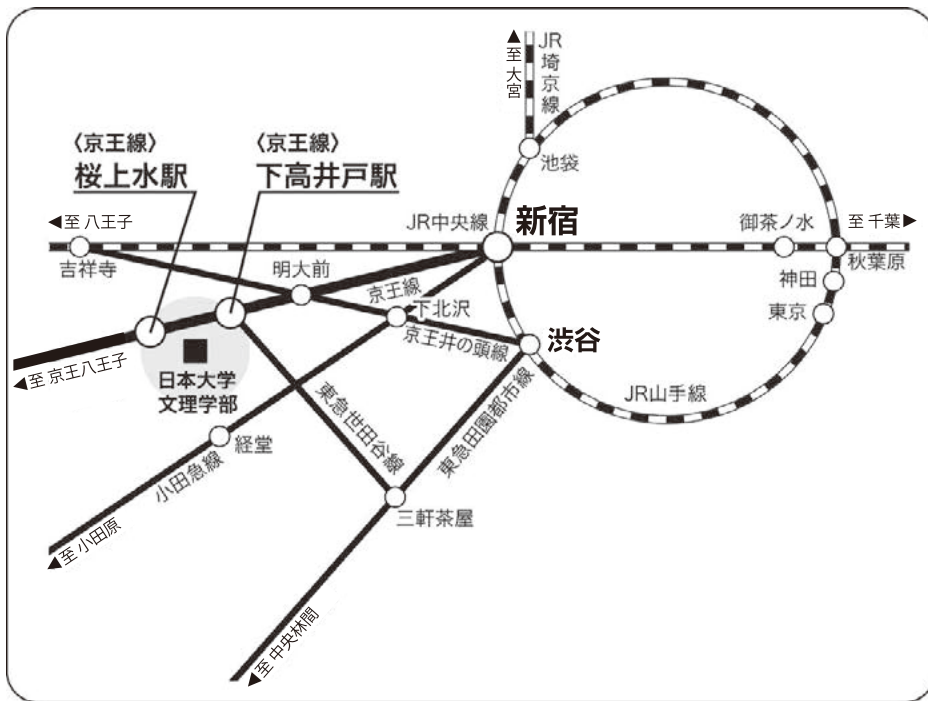
■日本大学文理学部キャンパスマップ

正門からのルートがわかりやすくなるように
上図を回転してあります

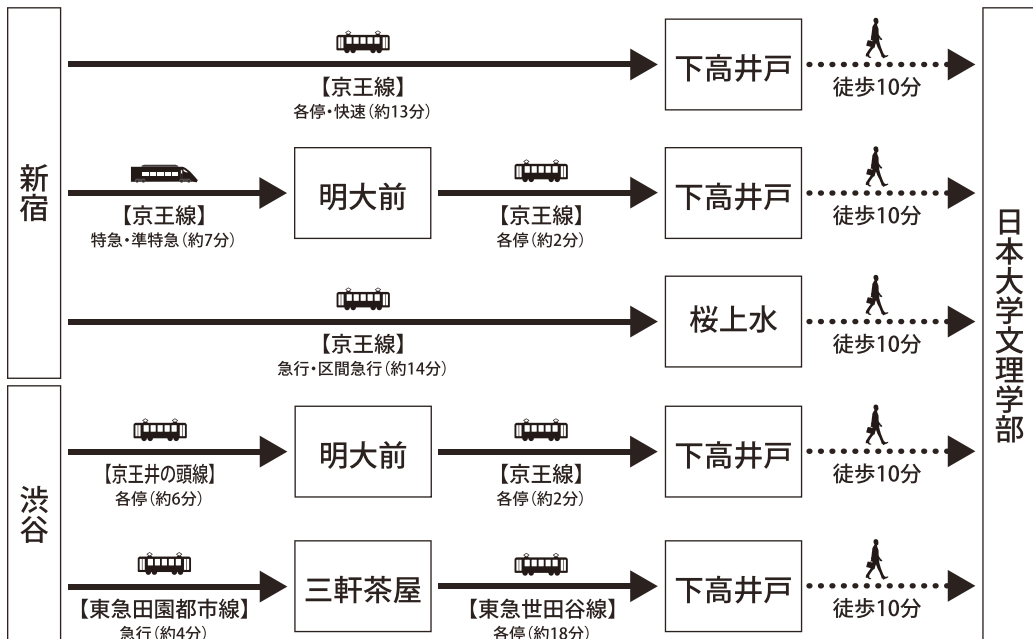


会場へのアクセス

■日本大学文理学部 交通アクセス



■交通のご案内



会場フロア案内

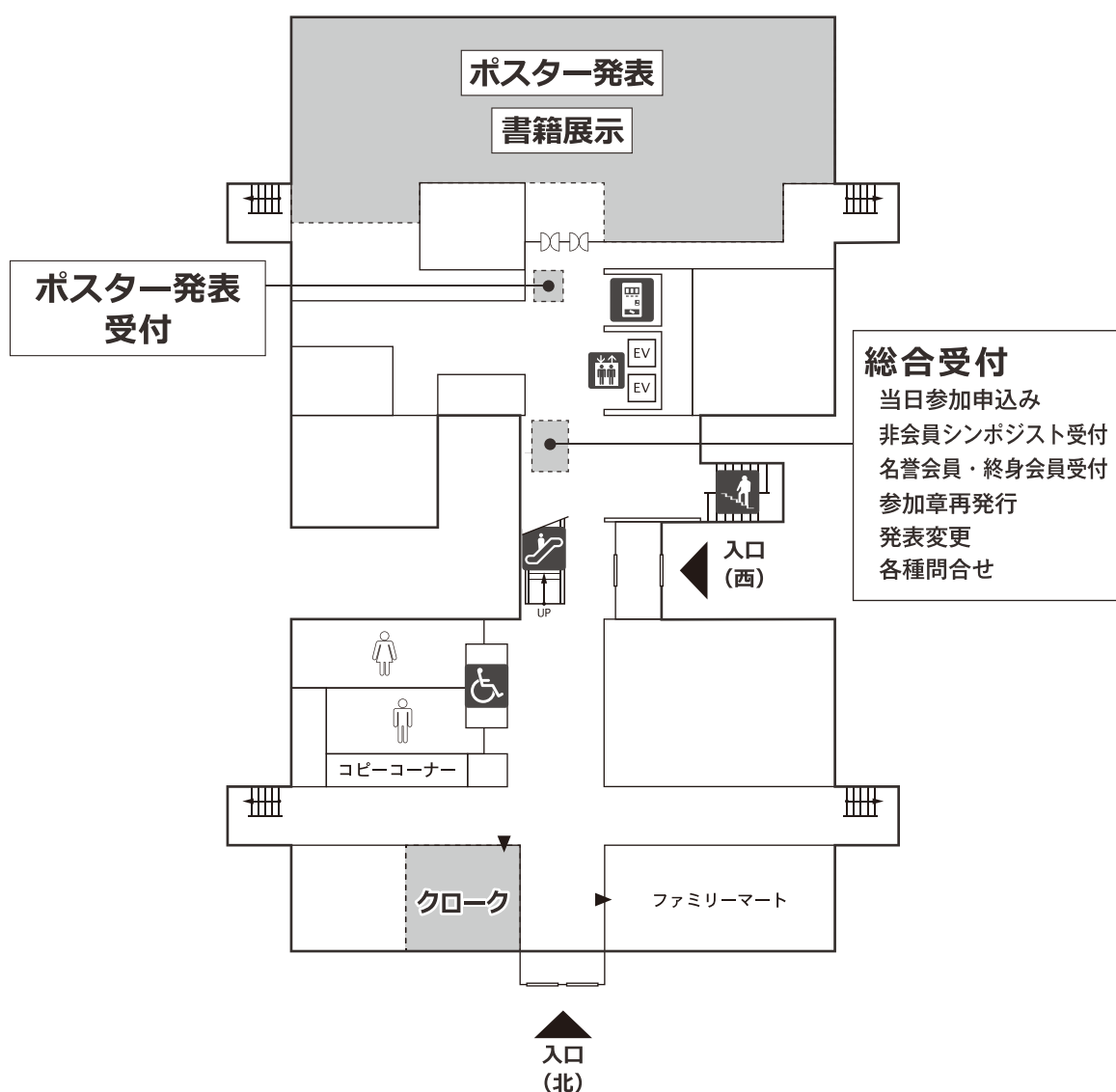
日本大学文理学部 3号館

- | | | |
|-----|------|---|
| 1 階 | | 総合受付
当日参加申込み
非会員シンポジスト受付
名誉会員・終身会員受付
参加章再発行
発表変更
各種問合せ
クローク
ポスター発表・書籍展示 |
| 2 階 | 3203 | 自主企画シンポジウム 1 |
| | 3204 | 自主企画シンポジウム 2 |
| | 3205 | 準備委員会企画シンポジウム 1・2・3・4・5・6 |
| | 3206 | 授賞式・会務報告会
研究委員会企画シンポジウム 1・2・3・4
ハラスメント防止委員会企画シンポジウム |
| 3 階 | 3303 | 自主企画シンポジウム 3 |
| | 3304 | 自主企画シンポジウム 4 |
| | 3305 | 自主企画シンポジウム 5 |
| | 3306 | 自主企画シンポジウム 6 |
| | 3307 | 休憩・打合せ室（電源あり） |
| | 3308 | 自主企画シンポジウム 7 |
| | 3310 | 自主企画シンポジウム 8 |

会場フロアマップ

日本大学文理学部 3号館

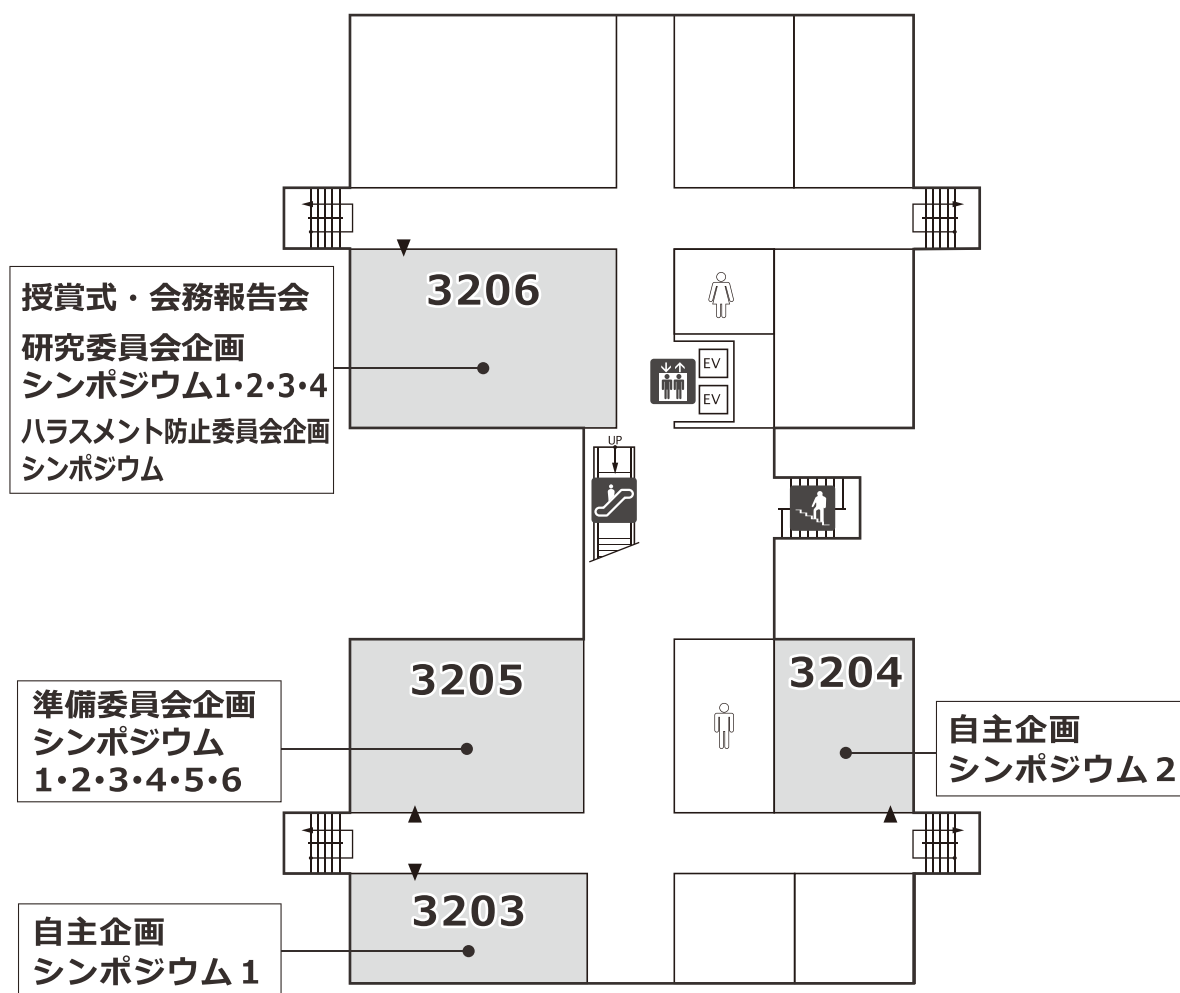
1 階



会場フロアマップ

日本大学文理学部 3号館

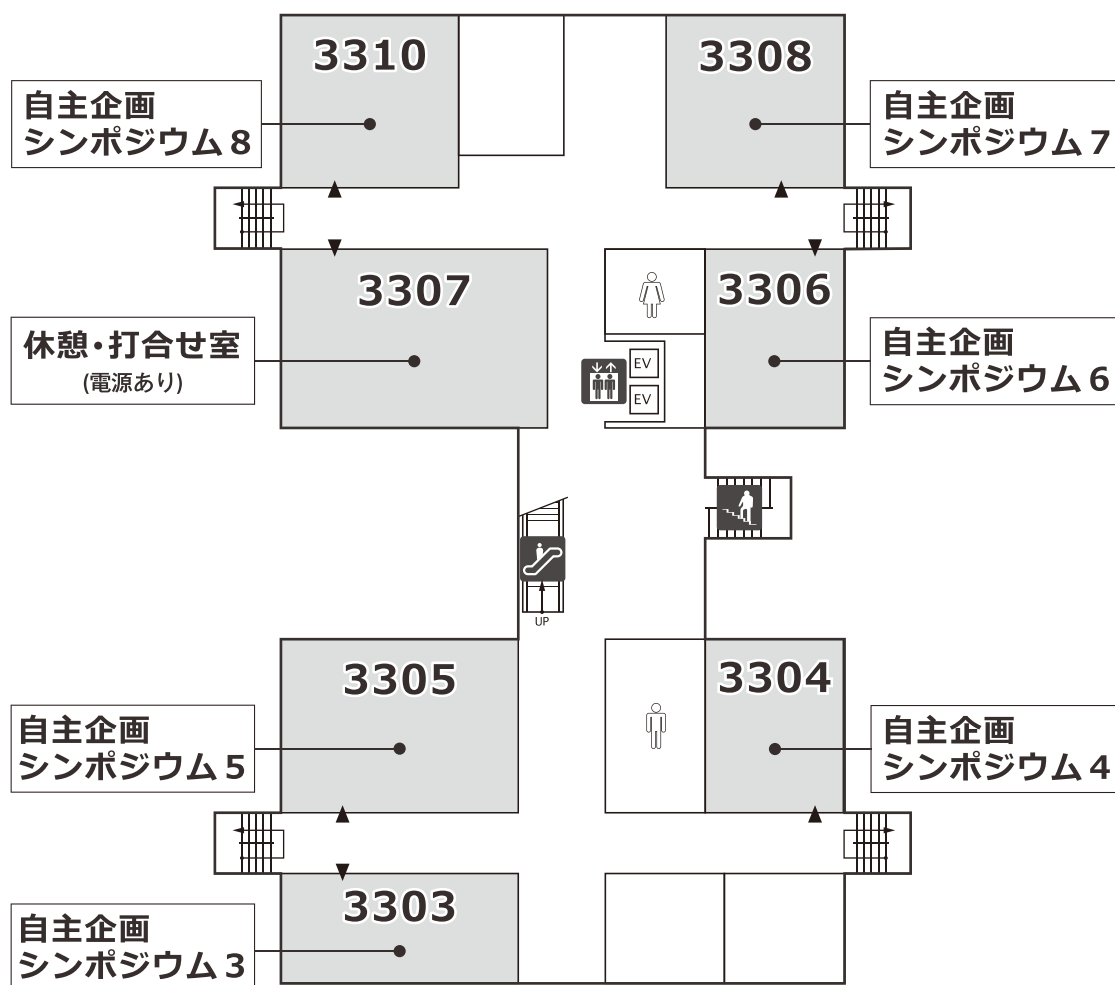
2階



会場フロアマップ

日本大学文理学部 3号館

3階



参加者へのご案内

1. 参加章

総会期間中は必ず参加章をお付けください。

2. 事前参加申込みをされている方の受付

事前にお送りした参加章を持っている方は受付の手続きは要りません。参加章を付けて、各会場へそのままお越しください。

参加章を忘れた方は、3号館1階の総合受付にて、再発行申込み用紙に必要事項を記入して、手続きをしてください。

3. 当日参加申込みの方の受付

当日参加申込みの方は、3号館1階の総合受付にて、参加申込み用紙に必要事項を記入して、総会参加費を添えてお申込みください。

<受付時間>

第1日 9:00～17:00

第2日 9:00～17:00

第3日 9:00～13:30

<総会当日参加費>

	3日間参加	1日のみ参加
会員の方(大学院生以外)	12,000 円	—
会員の方(大学院生)	10,000 円	—
会員でない方	13,000 円	5,000 円
学部学生の方	5,000 円	2,000 円

<懇親会当日参加費>

一般の方	5,000 円
大学院生・学部学生の方	3,000 円

※ ポスター連名発表者が総会に参加される場合は、別途、参加費が必要です。

※ 会員でない自主企画シンポジウム登壇者が会期を通して参加する場合は、お振込み済みの登壇者参加費と当日参加費との差額 8,000 円で参加できます。

※ 会務報告会資料や手提げ袋を、3号館1階に用意してありますので、適宜お取りください。

4. 招待シンポジスト・名誉会員・終身会員等の方の受付

3号館1階の総合受付までお越しください。参加章をお渡しします。

5. クローク

3号館1階のクロークにて、荷物をお預かりいたします。預ける荷物には、貴重品を含めないようにお願いします。利用時間は以下の通りです。

第1日 9:00～19:00

第2日 9:00～19:00

(懇親会に参加される方は、その前に荷物をお受取りください)

第3日 9:00～16:30

6. 休憩・打合せ室

3号館1階の3307をご利用ください。電源も用意しています。

7. 懇親会

第2日の18:45 から、第2体育館1階のカフェテリア・チェリーにて行います。会場からすぐの場所です。参加者どうしの交流を深めていただければと思います。参加者数に余裕がある場合には当日の受付もいたします。

8. インターネットの利用

会場の3号館全室にて、インターネットが使えます。パソコンは各自ご用意ください。パスワードは当日掲示します。

9. 託児サービス

会期中、託児室を設けますので、どうぞご利用ください。

＜利用時間＞

第1日 9:00～18:30

第2日 9:00～18:30

第3日 9:00～16:00

ご利用希望の方は、9月4日(水)までに学会事務局(office@edupsych.jp)へご連絡ください。折り返し、申込み書等をお送りします。

10. シンポジウム等の録音・録画

シンポジウム等の録音・録画については、著作権および肖像権の保護のため、企画者(司会者)より録音・録画を許可する旨のアナウンスがある場合を除き、お控えください。

11. コピー機

3号館1階のクローク近くにコピー・コーナーが利用できます。無料(広告付き)およびコイン式があります。

12. 連絡先

日本教育心理学会事務局 E-mail: office@edupsych.jp

学会事務局: 03-3818-1534 携帯: 090-7907-0084

研究発表のご案内

ポスター発表

1. ポスター発表の会場は、3号館1階のカフェテリアです。
2. 「発達」、「教授・学習・認知」、「社会」、「人格」、「臨床」、「特別支援」、「学校心理学」、「測定・評価・研究法」の8部門で行います。
3. 割り当てられたセッション中(2時間)ポスターを掲示し、かつ、プログラムで指定された在席責任時間(ポスター番号が奇数の方は前半1時間、偶数の方は後半1時間)の間、質疑に応じるにより正式発表とみなします。在席責任時間以外の時間もできるだけ在席してください。なお、それぞれの在席責任時間中に、責任発表者の在・不在の確認をします。
4. 責任発表者は、セッション開始 10 分前までに、ポスター発表会場入口前のポスター発表受付にお越しください。責任発表者を示すリボンをお渡しします。リボンはセッション終了後にポスター発表受付にご返却ください。
5. セッション開始5分前までに発表会場の指定された番号のパネルにポスターを貼ってください。ポスター番号は、プログラムに記載してあります。
6. パネルの大きさは、横 90cm、縦 210cm です。ポスター最上部には発表題目、発表者の氏名、所属を大きく記載してください。
7. 文字の大きさに特に指定はありませんが、ポスターから離れた位置(約2m)からでも読める大きさにしてください。
8. 責任発表者が欠席した場合、および在席責任時間中に在席の確認ができなかった場合は原則「発表取消」となります。ただし、連名発表者の会員がいる場合は、申請のうえ、連名発表者の会員1人を責任発表者に変更することができます。なお、責任発表者になるのは1人1回に限りますので、他の発表の責任発表者になっている方に変更することはできません。責任発表者の欠席、変更などについては、会期前はメールで学会事務局に、会期中は当該発表の 30 分前までに3号館1階の発表変更受付に発表変更・取消申請用紙を添えてお申し出ください。申請用紙は、第61回総会ホームページからもダウンロードできます。
9. 配付資料がある場合は、必要部数を各自で事前にご用意ください。また、配付も各自でお願いします。
10. 掲示したポスターは、セッション終了後 10 分以内に外してください。次の発表予定者の準備時間を確保するために、終了後 10 分を経過しても掲示したままのポスターは取り外し、会期中にお申し出がなかった場合には処分しますのでご了承ください。

自主企画シンポジウム

1. 各会場にプロジェクターを用意しています。パソコンは各自でご用意いただき、備え付けのプロジェクターに接続してください。
2. 配付資料がある場合は、必要部数を各自で事前にご用意ください。当日、資料が不足した場合には、企画者にてコピー等をお願いします。また、配付も各自をお願いします。
3. 登壇者の欠席等については、会期前はメールで学会事務局に、会期中は当該シンポジウムの開始 30 分前までに発表変更・取消申請用紙を添えて3号館1階の発表変更受付にお申し出ください。申請用紙は、第 61 回総会ホームページからもダウンロードできます。

総会日程 第1日 9月14日(土)

9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00	
部屋名（人数）		9:30										15:30							
3号館 2階 3205 (240)		(準)シンポジウム1 縦断的な視点に基づく 教授・学習研究						(準)シンポジウム2 子どもの心身の成長ならび に教育の基盤を支える安 全・安心について考える											
3号館 2階 3206 (240)														(研)シンポジウム1 SEMは心理学に何を もたらしたか？					
18:30																			
17:30																			
3号館 2階 3203 (150)		JA01 学校規模のポジティブ行動支 援（SW-PBS/PBIS）の普及と継 続性に必要なこと				JB01 マンガを教育・学 習に活用するた め に				JC01 ポジティブ生徒指 導の動向（5）									
3号館 2階 3204 (100)		JA02 学校におけるビジ ョントレーニング の実践と可能性				JB02 通常学級における インクルーシブ教 育への取り組み				JC02 学習支援としての 説明は本当に有効 なのか（4）									
3号館 3階 3303 (150)		JA03 スクールカウンセ リングで生かせる 3Cとは？				JB03 自己調整学習研究 の多様な展開				JC03 教授・学習研究の 実践ベース・アプ ローチ									
3号館 3階 3304 (100)		JA04 学校におけるいじ め予防の取り組み				JB04 不器用な子ども のための心理教育 的支援の可能性				JC04 多職種連携を促進 する校内体制とは									
3号館 3階 3305 (240)		JA05 授業研究から学校 改革に繋ぐ				JB05 学校不応対に対する新 たな支援システムや多 様なアプローチを考 える				JC05 道徳教育における 教育心理学の貢献									
3号館 3階 3306 (100)						JB06 支援教育が教育現 場にもたらしたも の				JC06 学習と発達のパフ ォーマンス化									
3号館 3階 3308 (150)						JB07 主体的・能動的学 びの多様性につい て				JC07 多様なニーズを持 つ子どもたちを支 える学校づくり									
3号館 3階 3310 (150)						JB08 ここまで来た！ 「学校予防教育」 進化の全貌				JC08 学習者の「問う力」 を育成する教育実 践と理論									
1階 カフェテリア		ポスター発表 PA				ポスター発表 PB				ポスター発表 PC									

総会日程 第2日 9月15日（日）

9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00									
部屋名（人数）	9:30								18:30
3号館 2階 3205 (240)		(準)シンポジウム3 早期教育の光と影						(準)シンポジウム4 コミュニケーションに 潜むいじめのリスク	
			12:15	13:15	13:30		15:30		
3号館 2階 3206 (240)		(研)シンポジウム2 今、差別を考える	授賞式 会務報告会		ハラスメント防止委員会企画 シンポジウム 学校現場での ハラスメント		(研)シンポジウム3 教育実践における 心理学者の役割		
3号館 2階 3203 (150)		JD01 チーム学校を活かしたソー シャル・エモショナル・ ラーニング (SEL) 実践			JE01 教育実践に資する バフチン・対話理 論		JF01 学校での対人関係や 組織動態をどのよう に捉えるか？		
3号館 2階 3204 (100)		JD02 「教育困難校」の可 能性を考える			JE02 知見の統合は何を もたらすのか		JF02 学校適応はどのよう にとらえられる のか (11)		
3号館 3階 3303 (150)		JD03 子どもの育ちを基盤と した学級のユニバーサ ルデザイン化			JE03 援助ニーズが高い人への ソーシャル・エモシヨナ ル・ラーニング (SEL)		JF03 生体情報を用いた 教授学習研究の可 能性		
3号館 3階 3304 (100)		JD04 授業を意味づける (5)			JE04 教員養成における「学 び続ける教員」育成プ ログラムの展開 (1)		JF04 アートと教育		
3号館 3階 3305 (240)		JD05 Agency を育む探 究学習			JE05 教師の実態把握力 の分析と授業改善 への展開		JF05 アクティブ・ラーニン グの脳科学と教育実践 への架橋を目指して		
3号館 3階 3306 (100)		JD06 学習分析学への招 待			JE06 教師の授業マネー ジメントを考える		JF06 「主体的・対話的で 深い学び」を実現 する教師の学び		
3号館 3階 3308 (150)		JD07 バックキャストिंग による研究と教育との 橋渡しの可能性			JE07 教科教育の心理学		JF07 教育心理学におけ る制御焦点理論の 応用可能性		
3号館 3階 3310 (150)		JD08 児童・青年の発達とメン タルヘルスに関する大 規模縦断研究			JE08 幼児教育と小学校教育 の接続期を生きる子ど もと保護者 (1)		JF08 越境的マインドセ ット創りに向けて		
1階 カフェテリア		ポスター発表 PD			ポスター発表 PE		ポスター発表 PF		
18:45 懇親会 カフェテリア・チェリー									

総会日程 第3日 9月16日（月・祝）

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
部屋名（人数）	9:30		11:30				15:30			
3号館 2階 3205 (240)		(準)シンポジウム5 教育心理学の応用 可能性を考える			(準)シンポジウム6 学校教育実践研究に おける心理学者の役割					
3号館 2階 3206 (240)		(研)シンポジウム4 ことばが育む思考力								
3号館 2階 3203 (150)		JG01 「いじめ免疫プログラム」の試行と 評価方法論の模索			JH01 ローカリティから 考える教師の発達					
3号館 2階 3204 (100)		JG02 学校臨床における質問紙・ チェックリスト活用による アセスメントを考える			JH02 学校心理教育の効果 を高める環境づく り					
3号館 3階 3303 (150)		JG03 グループ活動を取り 入れた教員養成			JH03 いじめ×マンガ					
3号館 3階 3304 (100)		JG04 学習者の資質・能力 を向上させる授業 づくり			JH04 教員研修のあり方 を模索する					
3号館 3階 3305 (240)		JG05 非認知的(社会情緒的) コンピテンスの教育と 展望(2)			JH05 学校教育実践における 学習支援の多様なア プローチを考える					
3号館 3階 3306 (100)		JG06 これからの教育を 問う(3)			JH06 教職課程コアカリキュ ラムは「教育心理学」の ありかたをどう変えるか					
3号館 3階 3308 (150)		JG07 大学生における読 み困難のアセスメ ント			JH07 高等学校における 特別支援教育の現 状と課題					
3号館 3階 3310 (150)		JG08 認知行動療法に基づく 高等学校における心理 的支援の有効性と課題			JH08 文系学生に対する 心理統計教育					
1階 カフェテリア		ポスター発表 PG			ポスター発表 PH					

授賞式・会務報告会

第2日 9月15日（日） 12:15～13:15

3号館2階 3206

城戸奨励賞・優秀論文賞の授賞式ならびに受賞者のスピーチ，そして学会の活動報告と意見交換の会を開催します。皆さま，ご参加ください。

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 総会準備委員長のあいさつ | 岡 隆 総会準備委員長 |
| 2. 城戸奨励賞選考経過と講評 | 豊田弘司 選考委員長 |
| 3. 城戸奨励賞授与と受賞者のことば | 各受賞者 |
| 4. 優秀論文賞選考経過と講評 | 柴山 直 選考委員長 |
| 5. 優秀論文賞授与と受賞者のことば | 各受賞者 |
| 6. 学会の活動報告と意見交換 | 小野瀬雅人 理事長 |
| 7. 第62回（2020年）総会の案内 | 小野瀬雅人 理事長 |

準備委員会企画シンポジウム 1

第 1 日 9 月 14 日 (土) 9:30~12:00

3 号館 2 階 3205

縦断的な視点に基づく教授・学習研究

企画・司会・話題提供：篠ヶ谷圭太 (日本大学)
話題提供：鈴木雅之 (横浜国立大学)
話題提供：鈴木 豪 (群馬大学)
指定討論：南風原朝和 (東京大学)
指定討論：田中あゆみ (同志社大学)

近年の教授・学習研究では、複数時点においてデータの測定を行う、縦断的な研究が多く行われるようになってきている。日本教育心理学会の総会で発表される研究を見ても、複数時点でデータの測定を行った研究の数はここ数年で急増しており、縦断的な研究への関心は年々高まっているといえるだろう。

教授・学習研究において、時間軸上に存在する複数のデータを関連づけていく「縦断的な視点」を取り入れることのメリットとしては、変数間の因果関係や、特定の変数の発達的な変化の様相、介入の効果の持続性など、より多様なリサーチクエスチョンを立てられるようになることにあるといえる。また、学習という営みを、時間軸上の一時点で完結するものではなく、様々な経験の蓄積の中で徐々に深まっていくものであると捉えれば、家庭学習と授業の接続の問題や、初等教育、中等教育、高等教育の接続の問題も研究の対象として視野に入ってくる。

本シンポジウムでは、縦断的な視点にもとづきながら研究を行った 3 名の話題提供をもとに、縦断的な視点の多様性や有効性について理解を深めるとともに、データの測定や結果の解釈における注意点を共有した上で、今後の教授・学習研究の展開可能性について、指定討論の先生およびフロアの方々と議論していきたい。

子どもの心身の成長ならびに教育の基盤を支える 安全・安心について考える

企画・司会	: 岡 隆	(日本大学)
企画・話題提供	: 松村 香	(国際医療福祉大学)
話題提供	: 櫻田 淳#	(前埼玉県立大学)
話題提供	: 石井謙次郎#	(平塚児童相談所)
話題提供	: 望月真里子#	(平塚児童相談所)
話題提供	: 鈴木 寛#	(児童養護施設新日本学園)
話題提供	: 高田 治#	(川崎こども心理ケアセンターかなで)
指定討論	: 荒木田美香子#	(国際医療福祉大学)

2000年児童虐待防止法が施行後も、児童虐待の相談対応件数は増加の一途を辿っている。また、昨今の子どものまつわる社会現象を概観した時、児童虐待のみならず、子ども同士のいじめ・暴力、スクールハラスメントなど様々な場面で、子どもの安全・安心が脅かされる現状が散見されている。そのような環境の中であって、子どもの心身の成長ならびに教育は、停滞もしくは破綻する危険性をはらんでいる。何故、そのような現状が引き起こされ、どのようにしてその現状を打破していったら良いのか、教育、福祉、心理の様々な側面から共に考え深めていくことを目的として、今回のシンポジウムを企画した。

具体的には、「何故、子どもの心身の成長ならびに教育の基盤に安全・安心が必要か」の問題提起を基に、教育分野では「学校現場における被虐待体験を有する子どもの教育的支援」について、福祉分野では、児童相談所の立場から「家庭における子どもの安全・安心への支援」、児童養護施設の立場から「児童養護施設で暮らす子どもが感じる安全感・安心感を測定する尺度を用いた生活環境支援」について、心理分野では「心理ケアの観点から見た児童福祉施設で暮らす子どもたち」について、それぞれの分野で活躍している話題提供者が、子どもの安全・安心の現状ならびに支援について、専門職種の垣根を超えて討論を行う。

早期教育の光と影

企画・司会・話題提供：繁樹算男（慶應義塾大学）
話題提供：内田伸子（IPU・環太平洋大学）
話題提供：酒井邦嘉#（東京大学）
話題提供：中室牧子#（慶應義塾大学）

ヴィクトリア朝時代の英国を代表する作家、George Elliott（筆名は男だが、女性）の言葉に、It is never too late to be what you might have been. という言がある。心理学的に自己実現ともつながるし、やる気を高める良い言葉である。

本シンポの企画者（繁樹）が、一般教養の心理学を教えるとき、好んで引用したのが、「早教育と天才（木村久一、1977、初版は大正6年）」という古い本である。この本のかかなりの部分が、カール・ヴィッテの教育の紹介に割かれている。カール・ヴィッテは著名な国際法学者のようであるが、私を含めて、彼の業績を知らない心理学研究者が多いであろうと思う。しかし、早期教育で彼が取り上げられるのは、彼の父がカール・ヴィッテの教育について長い著作を残したからである。この父親の書はかなり影響力を持ったらしく、たとえば、ノバート・ウィーナーの父は、彼の本を読んで、子供を教育したことなどで世間にも知られるようになった。カール・ヴィッテの教育論は、彼自身の言葉でいえば、「十人並みの子供なら、適当にさえ教育すれば必ず非凡な人になる」ということで要約できる。先述の木村久一氏の書からの孫引きではあるが、より具体的にその教育の段取りのいくつかを紹介する。1. 順序を追う。順序を間違えてはならない。例えば、最初に教えるべきは言葉である、2. 子供が興味を示せば、その時教え始める、3. まやかしの説明を避け合理的に説明する、4. 自然に親しめさせるなどである。このようなことを実際に実行するのは大変な苦勞がいるように思う。カール・ヴィッテの父親自身は、教会の牧師の仕事で忙しく、一日に1、2時間しか子供のために時間を使わなかったという記述があるが、いずれにしても、自由放任主義では務まらない。この点について、子供自身が野心を持つ必要はないが、親は野心を持つ必要があるという記述もあり、興味深い。

カール・ヴィッテの教育論は、最初に挙げた George Elliott の言ほどではないとしてもやはり理想論的に聞こえるかもしれない。批判の代表的な根拠の一つが行動遺伝学である。たとえば、1 卵性双生児と2 卵性双生児のペア間の相関係数の差は、身長と同じくらいに、認知能力の検査でも大きい。しかし、これは、子供を取り巻く環境が種々さまざまな状況でばらついている中での相関係数である。カール・ヴィッテの父が推奨するような環境で育てれば、身長に関する相関係数は変わらないであろうが、認知能力の測度の間では異なる相関係数が得られるであろう。しかも、早期教育の達成の指標として、現行の知能テストだけではかるのはいかにも狭い。認知能力だけ取り上げてももっと多彩である。

ということで、企画者としては、早期教育について期待するところが大きい。本シンポジウムでは、早期教育に関連し重要で先端的な研究をしている3人の研究者に話題提供をお願いした。上記のような楽観的な見方に対し、現代の心理学研究はどのような答えを用意しているのかについて、それぞれの研究の成果を発表していただく。それにプラスして、実証的にデータを取って証拠とする方法と実データ分析について、繁樹が話題提供をする。

コミュニケーションに潜むいじめのリスク

- 企画・司会：望月正哉（日本大学）
企画・司会：吉澤英里（IPU・環太平洋大学）
話題提供：武田美亜#（青山学院女子短期大学）
話題提供：瀧澤 純（ノースアジア大学）
話題提供：黒川雅幸（愛知教育大学）
話題提供：吉澤和真#（松戸市立第四中学校）
指定討論：三島浩路（中部大学）

文部科学省では「いじめについての基本的な認識」として、「どの子どもにも、どの学校においても起こり得る」問題であると明示している。つまり、いじめは特定の属性や状況に限定して起こる特殊なものではなく、人と人がコミュニケーションをとる場面にはそのリスクが潜み、何らかの契機で起こるものと考えることができる。医学には未病という考え方があるが、学校内外でのさまざまなコミュニケーションにも、その時点ではいじめとは言いきれないかもしれないが、いじめにつながり得るやりとりがあると考えられる。何気ないコミュニケーションに潜むリスクに気づき、それに注意を払うことは、いじめの予防にとって重要なことであろう。本シンポジウムでは、子どもたちの間で行われている日常のコミュニケーションに注目し、それらの行動に潜むいじめのリスクとその予防について考える。ここでは、教育心理学的視点に限定せず、社会心理学や認知科学といった視点から、そして実際の教育現場の視点からも話題提供を行い、指定討論者やフロアとの議論を通して、いじめ防止／対策の糸口を見出す。

具体的には、自身の考えが実際以上に相手に知られている、自身は相手の考えを見抜けていると過大に錯覚する透明性錯覚が、行動の送り手と受け手、それを取りまく人々のそれぞれの行動や認知にどのような影響を及ぼしうるのかについて話題提供をおこなう。つづいて、コミュニケーションにみられる「いじり」を紹介し、素朴概念としてのいじりがいじめとどうつながりうるのかを議論する。また、ネットいじめの変遷を踏まえつつ、ネットコミュニケーションに含まれるリスクについて話題提供をする。さらに、教育現場からの視点として、いじめの認知と発達段階から、学級開きと日常の接し方について話題提供をする。これらの話題提供に対して指定討論者によるコメントを踏まえ、フロアも含めた議論を通じて、日常的なコミュニケーションにはいじめのリスクが含まれる可能性があるということを改めて知るだけでなく、いじめの予防のヒントが得られる場としたい。

教育心理学の応用可能性を考える —社会・臨床心理学の基礎研究を題材として—

企画・話題提供：榎原 潤 (日本大学・日本学術振興会)
司会：坂本真士 (日本大学)
話題提供：正木郁太郎 # (東京大学)
指定討論：子安増生 (甲南大学)

学問の細分化が進み、それぞれの学問領域が目覚ましい発展を遂げた現代では、「隣の学問領域」のことを理解するのも一苦労だという場合が多い。教育心理学もその例外ではなく、「心理学の他領域」との間に具体的な接点を見出せる機会は狭まってきているように思われる。一方で、現実社会の問題は複雑性が高く、単一の学問領域の手法だけでは扱いきれない場合がほとんどである。研究知見を真に世の中に役立てていくためには、学際的な発想を磨き、複雑な問題に対して多角的にアプローチする力を蓄えることが必要だろう。教育心理学と「隣の学問領域」にどのような接点があり、また教育心理学の理論や観点を「隣の学問領域」の文脈でどのように活用できるのか。本シンポジウムでは、教育心理学の応用可能性について、専門性の垣根を越えて議論する。

教育心理学の応用可能性を議論するための題材として、本シンポジウムでは、社会心理学(正木)と臨床心理学(榎原)を専門とする若手研究者が自身の研究成果を紹介する。両者は、「職場におけるダイバーシティ・マネジメントの構築」(正木)、「うつ病患者に対するスティグマ(偏見)の低減」(榎原)といった「現実社会への介入」を目標に掲げ、質問紙調査や心理実験といった基礎研究から一步踏み出そうとする段階にあり、各々の文脈で「人が教え合い、学び合う」という教育心理学の発想を採用し入れる必要性を感じている。当日は、そうした両者が考える「教育心理学の応用可能性」をまず提示する。

その上で、教育心理学を専門とする指定討論者(子安)がコメントし、各研究の発展に向けて教育心理学の理論や観点をさらに活用する余地がないか討論する。さらに、公認心理師が誕生し、産業・労働分野に心理職が参入することへの社会的要請が高まっていることを踏まえ、「ダイバーシティ・マネジメント」「うつ病予防教育」というトピックについて理解を深めることの意義を俯瞰的に解説する。これらの話題提供と指定討論をもとに、フロアの先生方も含めて、教育心理学の応用可能性について活発に議論していきたい。

学校教育実践研究における心理学者の役割

—対象の規模に着目して—

企画・司会：篠ヶ谷圭太（日本大学）
話題提供：小野田亮介（山梨大学）
話題提供：鹿毛雅治（慶應義塾大学）
話題提供：瀬尾美紀子（日本女子大学）
指定討論：市川伸一（帝京平成大学）

学校教育現場は、複数の学級が 1 つの学校に、また、複数の学校が 1 つの自治体にネストされた構造を持っている。近年の教授・学習研究では、階層線形モデルのような分析手法が浸透したこともあり、このようなネスト構造を考慮した研究が多く見られるようになっている。

本シンポジウムでは、こうした近年の動向から着想を得て、学校教育現場での実践研究を、対象の規模の観点から捉えることを試みる。教育心理学研究に「実践研究」が開設されてから 20 年近くが経過し、実践者自身による研究だけでなく、心理学者が実践者と協同した実践研究も多く発信されてきた。しかし、実践の対象に注目してみると、1 人の学習者や 1 つの学級を対象としたものから、1 つの学校を対象としたものなど、その規模は様々である。心理学者が学校教育現場に関わり、実践研究を展開していく際には、対象の規模によって異なる問題が生じることが予想される。本シンポジウムでは、学級、学校、地域といった様々な規模の実践研究を取り上げ、それぞれの規模に特有の問題や対処方法を共有した上で、心理学者と学校教育現場の協同の在り方について、フロアの方々と議論を行いたい。

研究委員会企画シンポジウム 1

第 1 日 9 月 14 日 (土) 16:00~18:30

3 号館 2 階 3206

SEM は心理学に何をもたらしたか？

- 企画・話題提供：吉田寿夫 (関西学院大学)
企画・司会：村井潤一郎 (文京学院大学)
企画・指定討論：宇佐美 慧 (東京大学)
話題提供：荘島宏二郎 (大学入試センター)
話題提供：小塩真司 (早稲田大学)
話題提供：鈴木雅之 (横浜国立大学)
指定討論：椎名乾平 (早稲田大学)

SEM (structural equation modeling: 構造方程式モデリング) ないし共分散構造分析と呼ばれる統計手法は、この 30 年ほどの間、心理学を始めとする多くの研究領域において多用されてきた。それは、既存の多くの分析法を包括する大規模なものであるとともに、コンピュータなしでは行うことができない、ほとんどのユーザーにとって「計算過程がブラックボックス化している」と言えるであろうものである。

筆者は、論文の審査などを行うなかで SEM を用いている論文を多々読んできたが、率直に言って、「へえー」とか「なるほど」といった感覚を生じさせてくれる脱常識性が高いと判断されるものや、著書などで引用したり授業で紹介したりしようと思うものに遭遇したことがない。そして、そればかりか、おそらくは SEM の数学的な高度さに惑わされて、その力を過大視し、不当な結論を一人歩きさせていると言えるであろう状態が蔓延っているように感じている。

主たる問題は、多くの専門家が「SEM は基本的に因果関係を立証する力を有するものではない」ことについて警鐘を鳴らしてきたにもかかわらず、ユーザーの側がこのことをきちんと踏まえていないことにあると考えられる。そして、このことに関連して「予測と因果の混同」と言えるであろう事態が散見されるとともに、「適合度への過度の注目」、「適合度の評価における論理的必然性がないであろう基準の無批判な受け入れ」、「(重回帰分析における R^2 に相当する) 説明力の非重視」、「パス係数の評価における統計的検定への過度の依拠」、「潜在変数間の関係の検討における希薄化の不適切な修正」、「測定の妥当性に関わる問題の軽視」、「個々人における心理過程の究明であることを踏まえない、個人間変動に基づく検討」などといった問題が指摘されてきた。

本シンポジウムでは、以上のような現状を踏まえ、SEM の有効性の過大視・不適切な適用や弊害の発生の抑制、適切な適用の促進といったことを目的として、現実の適用において散見される種々の問題事象を提示して、それらについて議論するとともに、SEM ならではだと考えられる優れた適用例を提示して、SEM を用いることのメリットについて議論する。そして、そのうえで、適切な適用を促進し、不適切な適用を抑制するための方策について提言することができればと考えている。

今、差別を考える —社会心理学からの提言—

企画・司会 : 森永康子 (広島大学)
話題提供 : 大淵憲一# (放送大学)
企画・話題提供: 池上知子 (大阪市立大学)
話題提供 : 高 史明# (神奈川大学)
企画・指定討論: 吉田寿夫 (関西学院大学)
指定討論 : 伊住継行 (環太平洋大学)

社会心理学分野でも学校現場でも、「差別」をなくそうという試みは長い間続いている。しかしながら、「差別」はそうした努力をあざ笑うかのように、時代とともにそのターゲットや形を変えながら、連綿と存在している。このシンポジウムでは、今一度、基本に戻り、そもそも人はなぜ公正になれないのか、そして、なぜ差別がなくなるのかを考え、形を変えた現代の差別の特徴をもとに、「差別」を学校現場でどのように扱うことができるのかを考えてみたい。

教育実践における心理学者の役割

—学校教育実践に教育心理学者はどのように貢献するのか?—

企画・司会	: 豊田弘司	(奈良教育大学)
企画	: 島宗 理	(法政大学)
話題提供	: 深沢和彦	(東京福祉大学)
話題提供	: 大久保賢一 #	(畿央大学)
話題提供	: 牧 郁子	(大阪教育大学)
指定討論	: 松見淳子 #	(関西学院大学)
企画・指定討論	: 河村茂雄	(早稲田大学)

日本教育心理学会会員による学校教育現場への貢献内容は、個人の教育実践のとらえ方や研究スタイルによって大きく異なる。そして、それに対応して、学校教育への貢献の意義は異なっている。近年の学校教育では多くの課題が叫ばれているが、その課題解決のためには、個々の教育心理学者が、課題解決への貢献スタイルを明確にすることは必要である。昨年(2018年)のシンポジウムでは、基礎研究、授業研究、臨床研究及び学級集団研究というそれぞれの領域における学校教育への貢献の例を4名のシンポジストに示していただいた。それぞれの領域において、学校教育における多様な貢献のあることを知ることができた。そして、それぞれの研究スタイルに応じた貢献の可能性が示唆された。

本シンポジウムは、昨年に引き続き、教育心理学者が学校教育への貢献の例を取り上げるが、本年度は、学校教育現場との関わりが多い3名のシンポジストに、学校教育現場においてどのような立場で研究をしているのか、具体的にどのような提案を行っているのか、そして、どのような反響があるのかを紹介してもらうことにした。学校教育現場における研究スタイル及び貢献のモデルを示すことによる学会員の学校教育における研究能力の向上を目的とするものである。

研究委員会企画シンポジウム 4

第 3 日 9 月 16 日（月・祝）9:30～12:00

3 号館 2 階 3206

ことばが育む思考力

企画・話題提供：	今井むつみ	（慶應義塾大学）
話題提供	： 木村淳子 #	（慶應義塾大学）
話題提供	： 松井智子 #	（東京学芸大学）
話題提供	： 中石ゆうこ #	（県立広島大学）
話題提供	： 安田哲也 #	（東京電機大学）
話題提供	： 小林春美 #	（東京電機大学）
指定討論	： 内田伸子	（IPU・環太平洋大学）
指定討論	： 楠見 孝	（京都大学）

近年の研究で、ことばは様々な形で思考力、ひいては学力に直接的、間接的に影響を与えることが実証されてきている。例えば Daneri et al. (2018) では、経済格差は実行機能の発達に影響を与えるが、強力な媒介変数として語彙力があることを報告している。

本企画では、単なる表層的に知っていることばの数としての語彙力ではなく、他者の意図や感情の理解、新奇あるいは既知のことばの意味を状況に即して推論する能力、数や時間の関係性など抽象的な記号を扱う推論力などを含めた、深いことばの理解と運用能力を「生きたことば力」と捉え、通常発達の幼児・児童、外国籍児童、自閉症児、聴覚障がい児において、そのようなことば力が、言語以外の領域での思考力、就学後の学力にどのように影響を与えていくのかを多面的、多角的に考える。

第2日 9月15日（日）13:30～15:30

3号館2階 3206

学校現場でのハラスメント

—部活動に焦点を当てて—

司会 : 大塚雄作 (京都大学)

話題提供 : 内田 良 # (名古屋大学)

話題提供 : 尾見康博 (山梨大学)

指定討論 : 金子雅臣 # (職場のハラスメント研究所)

日本教育心理学会でハラスメント防止委員会が発足し、総会時に同委員会の企画する講演会やシンポジウムが開催されるようになって、今年度で9回目を迎える。これまでの企画では、主にハラスメントに対する会員への啓発的な内容が取り上げられてきた。昨年11月の同委員会で本年度の企画について話し合われ、われわれ教育心理学の教育、研究に携わる者として小学校～高校の教育現場でのハラスメントの実際をもっと知る必要があるのではないかという提案があった。たしかに、教育現場でのハラスメントがマスコミで伝えられることが少なくないにも拘わらず、その実態を深く知る機会が少ない。そこで、今回は教育現場でのハラスメントのうち、部活動に焦点を当てて、教育社会学と教育心理学の立場からこの問題を研究されている、それぞれ内田良氏と尾見康博氏の2人の研究者にご登壇いただき、教育現場のハラスメントについて深く知る機会としたい。

なお、指定討論者を本防止委員会専門委員の金子雅臣氏、司会を本企画立案の中心となった大塚雄作前委員長が務める。大塚氏は京都大学アメリカンフットボール部長の経験ももつ。

自主企画シンポジウム

〈# 印は会員以外の登壇者を示します〉

第1日 9月14日(土) 10:00～12:00 3号館2階 3203

JA01 学校規模のポジティブ行動支援(SW-PBS/PBIS)の普及と継続性に必要なこと —誰のための、何を目的とした実践か—

企画・司会	近畿大学	大 対 香奈子
話題提供	大阪教育大学	野 田 航
話題提供	畿央大学	大久保 賢 一 #
話題提供	大阪教育大学	庭 山 和 貴
話題提供	大阪樟蔭女子大学	田 中 善 大
指定討論	埼玉学園大学	藤 枝 静 暁

第1日 9月14日(土) 10:00～12:00 3号館2階 3204

JA02 学校におけるビジョントレーニングの実践と可能性 —発達支援とスポーツビジョントレーニング—

企画・指定討論	群馬県スクールカウンセラー	飯 島 博 之
司会	千里金蘭大学	小 野 淳
話題提供	千里金蘭大学	斎 藤 富由起
話題提供	視機能トレーニングセンター Joy Vision	北 出 勝 也 #
話題提供	視機能トレーニングセンター Joy Vision	竹 本 晴 香
指定討論	東京学芸大学大学院	吉 田 梨 乃
指定討論	仁愛大学	江 南 健 志

第1日 9月14日(土) 10:00～12:00 3号館3階 3303

JA03 スクールカウンセリングで生かせる3Cとは？ —よりよい方法・技法のあり方を模索する—

企画・司会・指定討論	東京農工大学	三 浦 巧 也
話題提供	鹿児島大学	平 田 祐太郎
話題提供	大正大学	山 本 渉
話題提供	長野大学	佐 藤 修 哉
話題提供	北海道教育大学	本 田 真 大

第1日 9月14日(土) 10:00~12:00 3号館3階 3304

自主
9/14

自主
9/15

自主
9/16

PA
9/14

PB
9/14

PC
9/14

PD
9/15

PE
9/15

PF
9/15

PG
9/16

PH
9/16

JA04 学校におけるいじめ予防の取り組み

— 児童生徒, 教師・スクールカウンセラー, 保護者に焦点を当てて —

企画・話題提供	筑波大学	飯 田 順 子
企画・話題提供	目白大学	杉 本 希 映
話題提供	都留文科大学	青 山 郁 子
司会	宮城学院女子大学	遠 藤 寛 子
指定討論	お茶の水女子大学	伊 藤 亜矢子

第1日 9月14日(土) 10:00~12:00 3号館3階 3305

JA05 授業研究から学校改革に繋ぐ

— 授業研究の質的転換への挑戦 —

企画・司会・話題提供	福井大学	岸 野 麻 衣
企画・話題提供	福井大学	木 村 優
話題提供	福井市安居中学校	牧 田 秀 昭 #
話題提供	福井市美山中学校	高 間 祐 治 #
指定討論	福井大学	松 木 健 一

第1日 9月14日(土) 13:00~15:00 3号館2階 3203

JB01 マンガを教育・学習に活用するために

— 学習マンガと娯楽マンガ, 意図的な学習と結果的な学習 —

企画・司会・話題提供	大阪大学	家 島 明 彦
話題提供	京都精華大学	菅 谷 充
話題提供	マンガナイト	山 内 康 裕 #

第1日 9月14日(土) 13:00~15:00 3号館2階 3204

JB02 通常学級におけるインクルーシブ教育への取り組み

— アセスメントに基づく権利擁護の視点から —

企画・話題提供	早稲田大学	高 橋 幾
司会・話題提供	帝京平成大学	齊 藤 勝
話題提供	東京福祉大学	深 沢 和 彦
指定討論	早稲田大学	河 村 茂 雄

JB03 自己調整学習研究の多様な展開

—教育方法学・教育工学・スポーツ科学・医学教育との対話—

企画・指定討論	名古屋大学大学院	中 谷 素 之
企画・司会	香川大学	岡 田 涼
企画	東京学芸大学	犬 塚 美 輪
話題提供	女子美術大学短期大学部	細 矢 智 寛 #
話題提供	早稲田大学大学院	石 川 奈保子
話題提供	鹿児島大学	藤 田 勉
話題提供	自治医科大学	松 山 泰

JB04 不器用な子どものための心理教育的支援の可能性

—学校における SST と動作ピラミッド法の協働を目指して—

企画・話題提供	東京学芸大学大学院	吉 田 梨 乃
司会	金蘭会保育園	山 中 瑞 穂
話題提供	千里金蘭大学	斎 藤 富由起
話題提供	神奈川県立保健福祉大学	笹 田 哲 #
指定討論	群馬県スクールカウンセラー	飯 島 博 之
指定討論	淑徳大学	守 谷 賢 二

JB05 学校不適応に対する新たな支援システムや多様なアプローチを考える

—不登校や発達障害、学習困難の理解と支援—

企画・司会・指定討論	東京学芸大学	小 林 正 幸
話題提供	都留文科大学	早 川 恵 子
話題提供	山口大学	木 谷 秀 勝 #
話題提供	東京農工大学	三 浦 巧 也
話題提供	金沢大学	原 田 克 己

JB06 支援教育が教育現場にもたらしたもの
— 神奈川県で活動する心理士の立場から —

企画・司会	小田原短期大学	杉 崎 雅 子
話題提供	横浜市スクールカウンセラー	中 野 早 苗 #
話題提供	川崎市スクールカウンセラー	有 村 美 和 #
話題提供	神奈川県スクールカウンセラー	井 島 素 子 #
指定討論	横浜教育支援センター	松 坂 秀 雄 #

JB07 主体的・能動的学びの多様性について
— 教える側と学ぶ側の諸要因 —

企画・話題提供	玉川大学	高 平 小百合
話題提供	高知大学	俣 野 秀 典 #
話題提供	玉川大学	魚 崎 祐 子
司会・話題提供	明星大学	布 施 光 代
指定討論	九州大学	伊 藤 崇 達

JB08 ここまで来た！「学校予防教育」進化の全貌
— 子どもたちが待ち焦がれ、教師への負担ニアゼロの教育 —

企画・話題提供	鳴門教育大学	山 崎 勝 之
司会	桃山学院教育大学	村 上 祐 介
話題提供	鳴門教育大学	内 田 香奈子
話題提供	鳴門教育大学	横 嶋 敬 行
話題提供	甲賀市立伴谷東小学校	村 田 吉 美 #
指定討論	岡山大学	三 宅 幹 子
指定討論	滋賀大学	芦 谷 道 子

JC01 ポジティブ生徒指導の動向 (5)
—PBIS と人格教育に関する実践—

企画	南山大学	宇田 光
企画・話題提供	兵庫教育大学大学院	市川 哲
企画・司会	大阪産業大学	西口 利文
話題提供	寝屋川市立西小学校	松山 康成
話題提供	生徒指導士認定協会	溝口 哲志 #
話題提供	茨城県立医療大学	福井 龍太 #
指定討論	生徒指導士認定協会	有門 秀記
指定討論	皇學館大学	渡邊 毅 #

JC02 学習支援としての説明は本当に有効なのか (4)
—探究学習の成立を支援する説明の要件—

企画・指定討論	立命館大学	山本 博樹
企画・司会	明治大学	伊藤 貴昭
企画	立命館大学	吉田 甫
話題提供	福岡教育大学	松尾 剛
話題提供	名古屋大学	田中 瑛津子
話題提供	神戸大学	坂本 美紀
指定討論	京都大学	楠見 孝

JC03 教授・学習研究の実践ベース・アプローチ
—実践しつつ研究を創出する—

企画・話題提供	帝京平成大学	市川 伸一
司会	東京未来大学	小林 寛子
話題提供	日本女子大学	瀬尾 美紀子
話題提供	日本大学	篠ヶ谷 圭太
指定討論	東京大学大学院・日本学術振興会	太田 絵梨子

JC04 多職種連携を促進する校内体制とは
—校内コーディネーター，管理職，スクールカウンセラー，
スクールソーシャルワーカーの実践から—

企画・司会	筑波大学	飯田 順子
話題提供	つくば市立みどりの学園義務教育 学校	桑原 千恵子 #
話題提供	千葉商科大学	川崎 知已
話題提供	鳥取県教育委員会	山崎 沙織
企画・話題提供	筑波大学大学院	岡安 朋子
指定討論	福岡教育大学	西山 久子

JC05 道徳教育における教育心理学の貢献

企画・司会・話題提供	青山学院大学	米田 英嗣
企画・司会・話題提供	神戸大学	林 創
話題提供	十文字学園女子大学	池田 まさみ
指定討論	東京学芸大学	松尾 直博

JC06 学習と発達のパフォーマンス化
—『パフォーマンス心理学入門』+『みんなの発達!』を素材として—

企画・司会・話題提供	国士舘大学	郡司 菜津美
企画	東京都市大学	岡部 大介 #
企画	成城大学	青山 征彦
話題提供	筑波大学	広瀬 拓海
話題提供	青山学院大学	太田 礼穂
話題提供	沖縄県立芸術大学	城間 祥子
指定討論	東京学芸大学教職大学院	渡辺 貴裕 #
指定討論	日本体育大学	奥村 高明 #

JC07 多様なニーズを持つ子どもたちを支える学校づくり
—多職種連携の必要性と課題を考える—

企画・話題提供	東京学芸大学	小 野 學
企画・話題提供	筑波大学	堀 口 康 太
話題提供	東京学芸大学	入 江 優 子 #
話題提供	東京学芸大学	田 嶋 大 樹 #
指定討論	東京学芸大学	梅 山 佐 和 #
司会	東京学芸大学	河 美 善 #

JC08 学習者の「問う力」を育成する教育実践と理論
—主体的・対話的で深い学びの実現に向けて—

企画・司会・話題提供	千葉大学	小 山 義 徳
話題提供	九州大学	小 山 悟 #
話題提供	福岡教育大学	生 田 淳 一
話題提供	東京大学	白 水 始
話題提供	琉球大学	道 田 泰 司

JD01 チーム学校を活かしたソーシャル・エモーショナル・ラーニング (SEL) 実践
—スクールカウンセラーが関わる実践に焦点をあてて—

企画・司会	鳥取大学	石 本 雄 真
話題提供	法政大学大学院	小 高 佐友里
話題提供	福岡県直方市立直方第二中学校	佐 竹 真由子 #
話題提供	鳥取県教育委員会	石 本 志 穂 #
指定討論	都留文科大学	青 山 郁 子

JD02 「教育困難校」の可能性を考える

企画・話題提供	早稲田大学	本 田 真
企画・司会・指定討論	会津大学	刈間澤 勇 人
指定討論	早稲田大学	河 村 茂 雄
話題提供	千葉科学大学	熊 谷 圭二郎
話題提供	早稲田大学	松 戸 結 佳 #

JD03 子どもの育ちを基盤とした学級のユニバーサルデザイン化

企画	早稲田大学	桂 川 泰 典
企画・司会	十文字学園女子大学	綿 井 雅 康
話題提供	早稲田大学大学院・日本学術振興会	飯 島 有 哉
話題提供	早稲田大学	大 月 友 #
話題提供	明星大学	藤 井 靖 #
指定討論	早稲田大学	菅 野 純
指定討論	十文字学園女子大学	加 藤 陽 子

**JD04 授業を意味づける (5)
— 授業者・実践者・研究者の授業を見る視点と語り —**

企画・話題提供	静岡大学	町 岳
話題提供	渋谷区立山谷小学校	盛 永 裕 一 #
企画・話題提供	慶應義塾大学	鹿 毛 雅 治
企画・司会・話題提供	東京大学	秋 田 喜代美

**JD05 Agency を育む探究学習
— どのように発現し、いかにして可視化するか —**

企画・司会・話題提供	福島大学	坂 本 篤 史
話題提供	新潟大学教育学部附属新潟中学校	上 村 慎 吾 #
話題提供	関西学院大学	時 任 隼 平 #
指定討論	新潟大学	一 柳 智 紀
指定討論	東京大学	藤 村 宣 之

JD06 学習分析学への招待

企画・司会	青山学院大学	寺 尾 敦
企画・話題提供	上智大学	田 村 恭 久 #
企画・話題提供	法政大学	児 玉 靖 司 #
話題提供	明治大学	後 藤 晶 #

JD07 バックカスティングによる研究と教育との橋渡しの可能性
ー理想と現実のギャップを解消するプロセスの事例紹介ー

企画・司会・話題提供	名古屋大学	田 中 瑛津子
企画・話題提供	京都大学	マナロ エマニエル
話題提供	千葉大学	小 山 義 徳
話題提供	早稲田大学	シェパード クリス #
話題提供	南洋理工大学	チェン オーハオ #
話題提供	天津财经大学珠江学院	ワ ン ジ ン #

JD08 児童・青年の発達とメンタルヘルスに関する大規模縦断研究
ー性別違和感, 社会経済的地位, 摂食行動異常, 自傷行為の観点からー

企画・話題提供	中部大学	伊 藤 大 幸
話題提供	名古屋学芸大学	浜 田 恵 #
話題提供	神戸学院大学	村 山 恭 朗
話題提供	愛知東邦大学	高 柳 伸 哉
指定討論	中部大学	三 島 浩 路

JE01 教育実践に資するバフチン・対話理論
ーヤクビンスキー『ダイアログのことばについて』を視座にー

企画・司会・話題提供	東京外国語大学	田 島 充 士
話題提供	元早稲田大学	桑 野 隆 #
話題提供	慶應義塾大学	朝 妻 恵里子 #
指定討論	新潟大学	一 柳 智 紀

JE02 知見の統合は何をもたらすのか

企画・司会	国立教育政策研究所	山 森 光 陽
企画・話題提供	香川大学	岡 田 涼
企画	応用教育研究所	納 富 涼 子
話題提供	岡山大学	山 田 剛 史
話題提供	静岡大学	亘 理 陽 一 #
話題提供	山口大学	熊 井 将 太 #
指定討論	東京大学	岡 田 謙 介
指定討論	軽井沢風越学園設立準備財団	澤 田 英 輔 #
指定討論	京都大学	石 井 英 真 #

JE03 援助ニーズが高い人へのソーシャル・エモーショナル・ラーニング (SEL) —SEL の多面的応用とその効果検討—

企画・司会	徳島文理大学	松 本 有 貴
話題提供	立正大学	宮 崎 昭
話題提供	東京情報大学	原 田 恵理子
話題提供	株式会社 LITALICO	高 橋 あ い
話題提供	株式会社 LITALICO	大 川 真知子
指定討論	法政大学	渡 辺 弥 生

JE04 教員養成における「学び続ける教員」育成プログラムの展開 (1) —インプリシット知能観への介入を見据えた予備的検討の成果—

企画・話題提供	桃山学院教育大学	村 上 祐 介
司会	桃山学院教育大学	高 木 悠 哉 #
話題提供	桃山学院教育大学	梶 井 大 輔 #
話題提供	桃山学院教育大学	柴 恭 史 #
指定討論	奈良女子大学	竹 橋 洋 毅
指定討論	大阪産業大学	山 田 嘉 徳

JE05 教師の実態把握力の分析と授業改善への展開

—学力テストへの応用から解析ツール Wits を用いたワークショップまで—

企画・司会・話題提供	東京大学	植 阪 友 理
企画・話題提供	大妻女子大学	中 川 正 宣 #
企画・話題提供	法政大学・日本学術振興会	山 口 一 大
企画・話題提供	広島大学	深 谷 達 史
企画・話題提供	東京大学	仲 谷 佳 恵 #
企画・話題提供	獨協医科大学	上 西 秀 和 #
指定討論	柏市増尾西小学校	金 岡 幸 江 #
指定討論	大学入試センター	前 川 眞 一 #

JE06 教師の授業マネジメントを考える

企画・司会	香川大学	大久保 智 生
企画・指定討論	香川大学	有 馬 道 久
話題提供	高知大学	野 中 陽一朗
話題提供	静岡大学	町 岳
話題提供	福井大学	岸 俊 行
指定討論	愛媛大学	富 田 英 司

JE07 教科教育の心理学

— (3) 教科教育の改善に資する授業実践研究, 実験・調査研究のあり方を探る—

企画・司会	東京大学	藤 村 宣 之
話題提供	山梨大学	小野田 亮 介
話題提供	会津大学	蛭 名 正 司
企画・話題提供	名古屋大学	橘 春 菜
指定討論	名古屋大学	石 井 秀 宗
指定討論	熊本大学	藤 田 豊
企画	共立女子大学	石 橋 優 美
企画	群馬大学	鈴 木 豪

JE08 幼児教育と小学校教育の接続期を生きる子どもと保護者(1)
— 年長児期を探る —

企画・司会・話題提供	金沢大学	滝口圭子
話題提供	東京家政大学	野口隆子
話題提供	京都教育大学	田爪宏二
指定討論	東京大学	秋田喜代美

JF01 学校での対人関係や組織動態をどのように捉えるか?
— 生態学的状況に埋め込まれた多層システムとしての観点を対話の中から探る —

企画・司会	専修大学大学院	吉田光成
話題提供	東京都公立小学校	館野峻#
話題提供	日本大学	菊島勝也#
話題提供	元板橋区社会教育指導員	大山宏#
指定討論	専修大学	下斗米淳
指定討論	立教大学	箕口雅博#
指定討論	駒澤大学	萩原建次郎#

JF02 学校適応はどのようにとらえられるのか(11)
— 高等学校における生徒の学校適応と学校の多様性 —

企画	香川大学	大久保智生
企画・司会	北海道教育大学	半澤礼之
企画	東北大学	岡田有司
話題提供	北海道大学	渡邊仁
話題提供	立命館グローバル・イノベーション研究機構	神崎真実
話題提供	北海道教育大学	川俣智路
指定討論	近畿大学	大対香奈子
指定討論	福岡教育大学	小泉令三

JF03 生体情報を用いた教授学習研究の可能性

企画・司会	国立教育政策研究所	山 森 光 陽
企画	北海道大学	伊 藤 崇
話題提供	文京学院大学	長 野 祐一郎 #
話題提供	ミイダス株式会社	神 長 伸 幸
指定討論	上越教育大学大学院	河 野 麻沙美
指定討論	京都大学	楠 見 孝
指定討論	香川大学	有 馬 道 久

**JF04 アートと教育
—日本における Arts-based educational research の展開—**

企画・司会・話題提供	立教大学	石 黒 広 昭
話題提供	東京大学	岡 田 猛
話題提供	長岡造形大学	小 松 佳代子 #
話題提供	東京大学	高 木 紀久子 #

**JF05 アクティブ・ラーニングの脳科学と教育実践への架橋を目指して
—人間固有の「学び」の構造と機能を知り, 学びと教え, 教育の再構築を共にデザインしよう—**

企画・話題提供	お茶の水女子大学	仁 木 和 久
司会・話題提供	お茶の水女子大学	内 海 緒 香
話題提供	昭和女子大学	緩 利 誠 #
話題提供	お茶の水女子大学	富士原 紀 絵 #

**JF06 「主体的・対話的で深い学び」を実現する教師の学び
—教師の指導力を高める教員養成・研修の実践研究—**

企画・司会・話題提供	広島大学	深 谷 達 史
話題提供	東京大学大学院・日本学術振興会	福 田 麻 莉
話題提供	東京大学大学院・日本学術振興会	太 田 絵梨子
話題提供	東京大学大学院・日本学術振興会	柴 里 実
話題提供	東京大学	植 阪 友 理
指定討論	上智大学	奈 須 正 裕

JF07 教育心理学における制御焦点理論の応用可能性

企画・司会	筑波大学	外山美樹
話題提供	筑波大学大学院・日本学術振興会	海沼亮
話題提供	関西外国語大学	三和秀平
話題提供	筑波大学大学院・日本学術振興会	長峯聖人
話題提供	筑波大学大学院	肖雨知
指定討論	名古屋大学大学院	中谷素之
指定討論	神戸学院大学	長谷和久 #

JF08 越境的マインドセット創りに向けて

企画・話題提供	鹿児島純心女子大学	野村亮太
企画・司会	九州産業大学	小田部貴子
企画・指定討論	九州大学	丸野俊一
話題提供	青山学院大学	香川秀太
話題提供	東京外国語大学	田島充士
指定討論	埼玉大学	小澤基弘 #

JG01 「いじめ免疫プログラム」の試行と評価方法論の模索 — 世田谷区での実践と検討 —

企画・司会・話題提供	大阪教育大学	戸田有一
話題提供	世田谷区立桜丘小学校	羽鳥晋 #
話題提供	世田谷区教育委員会	三浦公平 #
話題提供	世田谷区立池之上小学校	藤谷弥生 #
話題提供	世田谷区教育委員会	板澤健一 #
話題提供・指定討論	香川大学	金綱知征
話題提供・指定討論	広島修道大学	西野泰代
指定討論	岡山大学	三宅幹子

**JG02 学校臨床における質問紙・チェックリスト活用によるアセスメントを考える
—発達障害や学習困難の支援ニーズと指導の評価—**

企画・司会・話題提供・指定討論	福岡教育大学	熊谷 亮
企画・司会・話題提供・指定討論	東京学芸大学	橋本 創一
話題提供	目白大学	堂山 亜希 #
話題提供	国立特別支援教育総合研究所	玉木 宗久
話題提供	東京学芸大学	梶井 芳明

JG03 グループ活動を取り入れた教員養成

企画・話題提供・指定討論	聖徳大学	鈴木 由美
企画・話題提供・指定討論	奈良学園大学	矢野 正
企画・司会・話題提供・指定討論	豊岡短期大学	原田 敬文
企画	豊岡短期大学	室谷 雅美
企画	豊岡短期大学	原田 増廣
企画・話題提供・指定討論	豊岡短期大学	稲田 達也
企画・話題提供	豊岡短期大学	大塚 貴之

**JG04 学習者の資質・能力を向上させる授業づくり
—学習者の反応を手がかりに—**

企画・司会	関西福祉大学	金沢 緑
指定討論	岡山理科大学	森 敏昭
話題提供	川島小学校	川真田 早苗
話題提供	福山市立引野小学校	藤江 浩子
話題提供	ラ・フェリーチェ保育園	高橋 晃雄 #
話題提供	関西福祉大学大学院	森川 樹奈 #

JG05 非認知的(社会情緒的)コンピテンスの教育と展望(2)
—学校要因と家庭要因による影響の検討—

企画・司会	国立教育政策研究所	篠原郁子
企画・話題提供	藤女子大学	石井佑可子
話題提供	お茶の水女子大学	武藤世良
話題提供	宇都宮大学	久保田(河本)愛子
話題提供	東京大学大学院	利根川明子
指定討論	東京大学	遠藤利彦

JG06 これからの教育を問う(3)
—道徳教育の在り方を考える—

企画・司会・話題提供	和洋女子大学	田口久美子
企画・話題提供	元・立正大学	大津悦夫
企画・指定討論	埼玉大学	馬場久志

JG07 大学生における読み困難のアセスメント

企画・司会・話題提供	信州大学	高橋知音
話題提供	東北大学	川崎聡大#
話題提供	東北大学	川田拓#
指定討論	立正大学	篠田晴男#

JG08 認知行動療法に基づく高等学校における心理的支援の有効性と課題

企画・指定討論	早稲田大学	嶋田洋徳
企画・話題提供	桜美林大学	小関俊祐
司会	早稲田大学	野村和孝
話題提供	立命館大学	大谷哲弘
話題提供	早稲田大学大学院	吉田遥菜
話題提供	早稲田大学	齋藤彩乃
話題提供	早稲田大学大学院	加藤海咲
話題提供	桜美林大学大学院	杉山智風#
指定討論	早稲田大学	菅野純

JH01 ローカリティから考える教師の発達
—地域間移動と学校間異動に焦点を当てて—

企画・話題提供	山梨大学	東海林 麗 香
企画・話題提供	北海道教育大学	半 澤 礼 之
司会	東北大学	岡 田 有 司
話題提供	山梨県立塩山高等学校	小 田 雄 仁 #
指定討論	滋賀県立大学	松 嶋 秀 明
指定討論	千葉大学教育学部 附属教員養成開発センター	保 坂 亨

JH02 学校心理教育の効果を高める環境づくり
—子どもとつながる学校心理教育—

企画・司会	徳島文理大学	松 本 有 貴
話題提供	鳥取大学	石 本 雄 真
話題提供	パスウェイズジャパン	島 崙 仁 恵
話題提供	京都教育大学	西 田 千寿子
話題提供	クイーンズランド大学	瀧 澤 悠 #
指定討論	立正大学	宮 崎 昭

JH03 いじめ×マンガ
—マンガを活用した「いじめ」予防教育の可能性—

企画・司会・話題提供	大阪大学	家 島 明 彦
話題提供	マンガナイト	山 内 康 裕 #
話題提供	筑波大学附属駒場中・高等学校	山 本 智 也 #
指定討論	大阪教育大学	戸 田 有 一
指定討論	日本大学	横 田 正 夫

JH04 教員研修のあり方を模索する **—プレイフルな研修の意義と課題—**

企画・司会・話題提供	大阪成蹊短期大学	網谷綾香
話題提供	鳥栖市立若葉小学校	岡本尚子
話題提供	帝京大学教職大学院	町支大祐#
話題提供	京都ヘルメス研究所	細川美幸#

JH05 学校教育実践における学習支援の多様なアプローチを考える **—学習につまずきのある児童生徒のニーズに応じた授業づくり・個別支援—**

企画・司会	東京学芸大学	橋本創一
指定討論	埼玉大学	堀田香織
話題提供	大阪教育大学	野田航
話題提供	調布市立柏野小学校	栗原治子#
話題提供	東京学芸大学大学院	杉岡千宏
話題提供	東京学芸大学	犬塚美輪

JH06 教職課程コアカリキュラムは「教育心理学」のありかたをどう変えるか **—新課程における教職科目と学問との関係性を問う—**

企画・司会・指定討論	東京大学大学院	藤江康彦
企画・話題提供	高知大学	野中陽一朗
話題提供	東京学芸大学	梶井芳明
話題提供	宮崎公立大学	野崎秀正
指定討論	岡山理科大学	森敏昭

JH07 高等学校における特別支援教育の現状と課題
— 合理的配慮の提供や校内支援体制の構築について —

企画・司会・話題提供	国立特別支援教育総合研究所	大崎博史
話題提供	長野県箕輪進修高等学校	伊東和 #
話題提供	長野県箕輪進修高等学校	谷美也子 #
話題提供	千葉県立佐原高等学校	石毛純子 #
指定討論	大阪大学	三宮真智子
指定討論	国立特別支援教育総合研究所	笹森洋樹

JH08 文系学生に対する心理統計教育
— 質的・カテゴリカルデータの分析 —

企画	岡山大学	山田剛史
企画・司会	文京学院大学	村井潤一郎
企画	早稲田大学	杉澤武俊
企画	青山学院大学	寺尾敦
話題提供	大阪教育大学	小松孝至
話題提供	青山学院大学	大林真也 #
話題提供	北海道大学	岩間徳兼
指定討論	慶應義塾大学	藤澤啓子

ポスター発表

〈○印は責任発表者，# 印は会員以外の連名発表者を示します〉

ポスター発表 A

第1日 9月14日(土) 10:00～12:00

在席責任時間 奇数番号10:00～11:00 偶数番号11:00～12:00

発達

- | | | | |
|-------------|--|------------------------------------|---|
| PA01 | 4～6歳児におけるナラティブの発達と言語知識との関係
—ナラティブ発達評価指標作成に向けての基礎研究— | 帝京平成大学
白百合女子大学 | ○瀬 戸 淳 子
秦 野 悦 子 |
| PA02 | 4～6歳児における状況絵の語りの発達
—ナラティブ発達評価指標作成に向けての基礎研究— | 白百合女子大学
帝京平成大学 | ○秦 野 悦 子
瀬 戸 淳 子 |
| PA03 | 自称詞の使い分けと自我の発達との関連
—高校生と大学生を対象にした検討— | 十文字学園女子大学 | 長 田 瑞 恵 |
| PA04 | 父親の育児関与と乳児とのアイコンタクト率との関連
—離乳食場面を通して— | 東洋学園大学
文京学院大学
埼玉学園大学 | ○福 田 佳 織
森 下 葉 子
尾 形 和 男 |
| PA05 | 幼児の他者特性理解
—対人葛藤状況下における他児の行為と表情の一致・不一致に着目して— | 新見公立大学
四国大学
ノートルダム清心女子大学 | ○芝 崎 美 和
芝 崎 良 典
湯 澤 美 紀 |
| PA06 | 死の意識，死の恐怖とソーシャルサポート・基本的信頼感の関係 | 金城学院大学 | 増 田 公 男 |
| PA07 | 精神的自立の過渡期に心の闇の原型を乗り越えつつ自立の道を歩む若者
—我が息子の場合— | | 宮 野 祥 雄 |
| PA08 | ある2歳女兒にみられる社会的行動の発現条件 | 大妻女子大学 | 向 井 敦 子 |
| PA09 | 学業的満足遅延行動に及ぼす愛着の内的作業モデル，セルフコンパッション，学業的動機づけの影響 | 東海学園大学
尚綱大学短期大学部 | ○龍 祐 吉
小川内 哲 生 |
| PA10 | 親の早期の対応が子どもの認知的達成や非認知的成熟に及ぼす影響の効果の評価
—Millennium Cohort Study データのベイズ的分析— | 慶應義塾大学
帝京大学
慶應義塾大学
慶應義塾大学 | ○繁 柊 算 男
古 野 公 紀 #
池 本 駿 #
赤 林 英 夫 # |

教授・学習・認知

- | | | | |
|-------------|--|-------------------------------|---------------------|
| PA11 | タブレット PC を利用した小学校4年生ペア学習前後における音読の変化 (1)
—SD 法による印象評定から— | 放課後等デイサービス
ハッピーテラス
聖徳大学 | ○鳥 海 楓 華
東 原 文 子 |
| PA12 | タブレット PC を利用した小学校4年生ペア学習前後における音読の変化 (2)
—間 (ポーズ) の取り方の変容について— | 聖徳大学
放課後等デイサービス
ハッピーテラス | ○東 原 文 子
鳥 海 楓 華 |
| PA13 | 災害時の向社会的行動は情報確認を重視する傾向により妨害される | ノースアジア大学 | 瀧 澤 純 |

PA14	高校生の探究的学習スキルと批判的思考態度の育成 (3) —スーパーグローバル／スーパーサイエンスハイスクールにおける生徒の3年間の成長—	京都大学	楠 見 孝
PA15	高等教育における協同学習の実践的検討 (IX) —学びを深めるための問い方の分析—	敬和学園大学	益 谷 真
PA16	取り合わせによる創作を用いた俳句教育実践とその効果の検証 —児童の最近接発達領域を考慮した俳句教育の試み—	鳴門教育大学大学院 鳴門教育大学大学院 鳴門教育大学大学院 鳴門教育大学大学院	○皆松吉劉 川田健晶 直絃 凡昂 # 人 # 晶 #
PA17	電算画面で読み聞かせた絵本の理解における誤信念理解と類推 (1) —保育専門学校生による誤信念理解—	ノースアジア大学	光 田 基 郎
PA18	教員対象の「一人 TT 方式」研修プログラムの開発 (1) —免許状更新講習における実践的教育プログラムの評価—	富山大学	小 川 亮
PA19	数値と実体との対応関係の把握と参照事例提示の効果	放送大学 玉川大学	○進守 藤屋 聡彦 彦司 #
PA20	欲求階層構造に対応する処理の組合せと分散効果 —意図記憶と偶発記憶の比較—	奈良教育大学	豊 田 弘 司
PA21	朗読における読み手の気分変化による動機づけへの影響 —朗読と音読、黙読の比較—	法政大学	福 田 由 紀
PA22	一桁たし算における被加数、加数の影響	北海学園大学	後 藤 聡
PA23	高1への9週間の構造方略教示は説明文理解と学業達成を促すか? (2) —方略使用の変化がもたらす影響プロセス—	立命館大学 東亜大学	○山本博樹 織田 涼
PA24	中1国語「読むこと」における3点セットと相互説明の活用	群馬大学 太田市立城東中学校 群馬大学	○佐藤浩一 須永真 田村 佐恵 # 充 #
PA25	女子高校生における学業的自己概念と学力の因果関係の検討 —3年間の縦断データから—	東北大学 聖徳大学	○宮本友弘 相良 順子
PA26	教師と友人に関する自伝的記憶を想起した時の感情状態変化に関する研究 —想起テーマの特定性を要因に加えて—	中央大学 中央大学 中央大学	○兵藤宗吉 李 藤 岩 佐 藤 研一郎 #
PA27	教職志望学生の志望動機による教育実習経験の効果	三重大学	南 学
PA28	誤概念反応のリバウンドを抑制するための教授ストラテジーについて	東北生活文化大学	植 松 公 威
PA29	色覚多様性シミュレーションの経験は自己効力感に影響を及ぼすか	東京電機大学	黒 沢 学
PA30	情報の提示スタイルが迷子紐の印象に与える影響 —Twitter, LINE, 新聞スタイルの比較の検討—	京都女子大学 社会福祉法人石光山会 石山寺こども園	○古池若葉 平 田 陽 香 #

- PA31** 科学技術の社会問題を取り上げた小学生向け教育プログラムの評価 (1)
—意見対立や複数論点を踏まえた意思決定能力—
- 神戸大学
神戸大学
神戸大学附属小学校
神戸大学
神戸大学
兵庫教育大学
- 坂山 本 美 紀
山 口 悦 司 #
俣 野 源 晃 #
都 倉 さ ゆ り #
久 光 克 樹 #
山 本 智 一 #
- PA32** 理学療法士・作業療法士におけるコミュニケーションスキル項目認知に関する教育効果の検討
—必要度評定に関する注意度を高めるための評定項目の検討・追加—
- 金城大学
- 奥 田 裕 紀

自主
9/14

自主
9/15

自主
9/16

PA
9/14

PB
9/14

PC
9/14

PD
9/15

PE
9/15

PF
9/15

PG
9/16

PH
9/16

社会

- PA33** Twitter 利用と疑似科学信奉との関連 (1)
—利用頻度, 利用動機の観点から—
- 信州大学
信州大学
- 佐藤 広 英
菊 池 聡
- PA34** Twitter 利用と疑似科学信奉との関連 (2)
—接触する情報の観点から—
- 信州大学
信州大学
- 菊池 聡
佐 藤 広 英
- PA35** 人間を還元して観るということ
—自然科学主義的人間観の測定尺度の作成過程—
- 専修大学大学院
法政大学大学院
Ecole Normale Supérieure
- 吉田 光 成
小 田 友 理 恵 #
新 川 拓 哉 #
- PA36** 中国大学生の進路選択に対する自己効力感と就業動機が進路未決定に及ぼす影響
- 埼玉大学
埼玉大学大学院
- 馬場 久 志
劉 文 静 #
- PA37** 児童養護施設の子どもの退所後の自立支援
- 恵泉女学園大学
- 齋 藤 謁
- PA38** 幼児の交通行動と親の行動の関係
—不適切行動のモデリング—
- 子ども支援研究所
筑波大学
富山大学
東京未来大学
- 徳水 克 己
野 智 美
館 有 沙
村 実 穂
- PA39** 高等学校の進路指導の方向性に影響する要因の検討
—適性の捉え方を基軸として—
- 労働政策研究・研修機構
- 室 山 晴 美

人格

- PA40** 自尊感情を高める教師の指導について (1)
—自尊感情の領域の観点から—
- 岡山大学
神戸市立向洋小学校
岡山大学
- 青木 多寿子
持 田 魁 斗 #
高 山 瑞 己
- PA41** 自尊感情を高める教師の指導について (2)
—恩恵享受的自己感と学校適応の観点から—
- 岡山大学
倉敷市立倉敷南小学校
岡山大学
- 高 山 瑞 己
延 原 拓 見 #
青 木 多寿子

臨床

- PA42** 「いのちと死の授業」による生きる意欲や死生観の変化
—DVD 視聴の前後で比較して—
- 奈良女子大学
- 伊 藤 美奈子
- PA43** ADHD 系の発達凸凹 (発達障害) の小学男児に対して, 学習支援, 家庭・学校との連携 (担任, SC), 医療とのコラボによって, 本人にとって適切な支援を提供してきたカウンセラーの3年半の実践
- 青山学芸心理
青山学芸心理
- 高 山 智
中 西 亮 介 #

PA44 小学生から高校生までの不登校傾向とレジリエンスとの関連

静岡大学 ○小 林 朋 子
法政大学 渡 辺 弥 生
兵庫教育大学 五十嵐 哲 也

PA45 いじめ類型と深刻化の関係

北海道大学 ○加 藤 弘 通
常葉大学 太 田 正 義
北海道大学 舒 舒 悦

特別支援

PA46 初任保育者の障害のある幼児に対する配慮の実践知に関する研究
—環境調整における「偶発的気づき」に着目して—

名古屋柳城短期大学 ○荻 原 はるみ
桜花学園大学 勝 浦 真 仁
名古屋市立大学 上 田 敏 丈

PA47 大学生を対象とした読字・書字課題の信頼性、妥当性

信州大学 高 橋 知 音

PA48 特別支援教育において「恐竜」の大きさが体感できる授業の探究

兵庫教育大学大学院 ○吉 國 秀 人
こくご・さんすう・数学教室 内 山 逸 子
加古川市立加古川養護学校 小 林 禎 明
元兵庫教育大学大学院 棚 倉 未 弥

学校心理学

PA49 体罰を起こさない教師教育に関する研究
—教師志望学生にロールレタリングを導入して—

金沢星稜大学 岡 本 泰 弘

PA50 ポストモダンにおける大学生の成長モデルと時間的展望獲得に関する探索的研究 (5)
—3つの成長モデルにおける大学生生活充実度—

大阪樟蔭女子大学 ○川 上 正 浩
大阪樟蔭女子大学 坂 田 浩 之 #
大阪樟蔭女子大学 佐久田 祐 子 #
大阪樟蔭女子大学 奥 田 亮 #

PA51 高校における「いじめ防止能力」の評価に関する研究

岩手大学 藤 井 義 久

PA52 「学習規律」の現状分析
—公開資料の分析から—

千葉経済大学短期大学部 磯 村 陸 子

PA53 教師の指導行動が児童の自己成長感に及ぼす影響
—自律性、有能性、関係性の欲求の充足と変化を媒介として—

愛知教育大学 ○石 田 靖 彦
岩津小学校 下 岡 奈 央 #

PA54 教師および保護者が重視する小・中学校教師の行動とは？
—日本・アメリカ・カンボジアの3国間比較による検討—

奈良教育大学 出 口 拓 彦

PA55 アクティブラーニングを用いた暴力防止プログラムの効果
—高校生を対象として—

四天王寺大学 ○上 野 淳 子
福山大学 赤 澤 淳 子
武庫川女子大学 松 並 知 子 #
徳島大学 井ノ崎 敦 子 #
愛知学院大学 下 村 淳 子 #
大阪府立東淀川高等学校 北 山 裕 子 #
大阪府立東淀川高等学校 南 畑 好 美 #

PA56 授業場面における交流活動と内発的動機づけ

香川大学 岡 田 涼

PA57	気になる児童・生徒に対する教師の評価と生徒指導効力感 (2) —小学校・中学校教師への調査から—	東京大学教育学部附属 中等教育学校	石 橋 太加志
PA58	キャンパス拡充による学部一貫教育の効果について —キャンパス移動学部在籍学生の授業への取り組みの変化を中心として—	拓殖大学	小 澤 貴 史
PA59	保育者・教員養成大学における不適応予防のための実践 —生活面と学習面から学生をアセスメントする—	都留文科大学	武 蔵 由 佳
PA60	高等学校におけるソーシャルエモショナルラーニングの教育効果	東京情報大学 法政大学	○原 田 恵理子 渡 辺 弥 生
PA61	親和的学級づくりに向けた短時間グループアプローチ継続実践の効果	名城大学	曾 山 和 彦

測定・評価・研究法

PA62	高大接続改革の下での国語新傾向問題が測定する 資質・能力について	東北大学 東北大学	○倉 元 直 樹 宮 本 友 弘
PA63	評定尺度はリカートが発明したわけではない —リカート (1932) より前の世界—	早稲田大学	椎 名 乾 平

自主
9/14

自主
9/15

自主
9/16

PA
9/14

PB
9/14

PC
9/14

PD
9/15

PE
9/15

PF
9/15

PG
9/16

PH
9/16

ポスター発表 B

第1日 9月14日(土) 13:00~15:00

在席責任時間 奇数番号13:00~14:00 偶数番号14:00~15:00

発達

- | | | |
|--|---|---------------------------------------|
| PB01 モンゴルの子どもたちにおける言語能力の発達の
特徴 (1)
— 田中ビネー知能検査 V『語彙 (絵)』課題にお
ける標準化資料との比較から — | 名古屋大学
名古屋大学
名古屋大学
名古屋大学
名古屋大学 | ○福元理英
若林紀乃
野邑健二
金子一史
永田雅子 |
| PB02 モンゴルの子どもたちにおける言語能力の発達の
特徴 (2)
— 田中ビネー知能検査 V『短文の復唱』課題にお
ける標準化資料との比較から — | 名古屋大学
名古屋大学
名古屋大学
名古屋大学
名古屋大学 | ○若林紀乃
福元理英
野邑健二
金子一史
永田雅子 |
| PB03 住居状況と友人関係からみた大学生の孤独感
— 大学新生に着目して — | 筑波大学 | ○佐藤有耕
石井健太郎 # |
| PB04 人間関係に関わる発達
— 特別な支援を必要とする人との関わりの影響 — | 東京成徳大学 | 富山尚子 |
| PB05 小学校就学を控えた年長児がとらえる小学校生活
— 楽しみなこと、不安なこと — | 金沢大学 | 滝口圭子 |
| PB06 保育者養成課程における共感性育成プログラムの
提案
— 最終レポートにおける記述の検討から — | 宮城学院女子大学
東洋大学 | ○木野和代
内田千春 |
| PB07 園の仲間遊びにおける感情語の使用
— 4歳クラス児はいつどのように遊戯的にネガテ
ィブ感情語に言及するか — | 千葉大学 | 岩田美保 |
| PB08 中学生女子の抑うつ評価の推移
— 3年間の縦断研究から — | 聖徳大学
東北大学
聖徳大学 | ○相良順子
宮本友弘
鈴木悦子 |
| PB09 教職課程への動機づけが教育実習後の教師効力
感・アイデンティティにおよぼす影響 | 同志社大学 | 田中希穂 |
| PB10 1歳時の愛着と幼児期の適応 | 関西学院大学 | 桂田恵美子 |
| PB11 6歳児男女の他者理解の発達と母親によるコミュ
ニケーション | 同朋大学 | 小沢日美子 |
| PB12 フィンランドの児童の「友だちマップ」にみる友
人観の発達 | 鳥取大学 | 寺川志奈子 |
| PB13 仲間の違反の報告に対する児童の認識に教師から
の質問の有無が与える影響の検討 | 名古屋経済大学 | 楯 誠 |

教授・学習・認知

- | | | |
|--|----------------------------|--------------------|
| PB14 読み手意識の具体性が文章産出に与える影響 | 山梨大学 | 小野田亮介 |
| PB15 教員志望学生の教えることに関する信念の検討 (1)
— 尺度の作成および構造の検討 — | 関西福祉科学大学
阪南大学
奈良教育大学 | ○林龍平
崎濱秀
藤田正 |

PB16	教員志望学生の教えることに関する信念の検討 (2) —教職科目の受講による影響—	阪南大学 奈良教育大学 関西福祉科学大学	○崎藤林	濱田龍	秀正平	自主 9/14
PB17	教員志望学生の教えることに関する信念の検討 (3) —教えることの信念に関する学年間比較—	奈良教育大学 関西福祉科学大学 阪南大学	○藤林崎	田濱	正龍秀平行	自主 9/15
PB18	社会文化心理学：まちなか学生プロジェクト —まちなか若者文化生成のための心理学的実践—	共愛学園前橋国際大学	奥	田	雄一郎	自主 9/16
PB19	認知カウンセリングによる学習相談における教材 選択 —にこにこ広島ルームのケース—	安田女子短期大学 徳島文理大学	○中岡	村直	涼樹	自主 9/16
PB20	「総合的な学習の時間」から「総合的な探究の時間」への変化の考察	宮城教育大学	平		真木夫	PA 9/14
PB21	非連続型テキストを用いた説明活動に与える影響 について —ワーキングメモリ容量の差異による検討—	熊本学園大学	中	村	光 伴	PB 9/14
PB22	小学生の概念的理解と手続き的知識の関係 —順列と組み合わせを題材として—	東京女子大学	○大	家	まゆみ	PC 9/14
PB23	保育者志望学生に求められる専門的力の構造化 (4)	福山市立大学 福山市立大学 広島修道大学 愛知県立大学	○倉上光渡	盛山本邊	美穂子 瑠津子 弥生 # 真依子 #	PD 9/15
PB24	テストの反応形式がテスト効果に及ぼす影響 —手書きとタイピングの比較—	山陽学園大学 岩手大学	○高岩	橋木	功信喜	PE 9/15
PB25	主体性と学業面での自己変革の意識との関連 —大学生の学年間に見られた差違による検討—	金沢学院短期大学	鈴木	賢	男	PF 9/15
PB26	グループ活動における対人関係プロセス	聖徳大学 豊岡短期大学	○鈴稲	木田	由達美也	PG 9/16
PB27	概念変化における知識の正確性ならびに知識再構築に対する自己効力感の変化 —ル・バー対決型/懐柔型ストラテジーの情報教示過程における変化—	三重大学 京都外国語大学 常磐大学	○中梅大	西本道	良貴一弘	PH 9/16
PB28	事前・事後学習と学習方略・授業への興味・理解度の関連について	京都ノートルダム女子大学 京都ノートルダム女子大学	○松尾	島崎	る仁美	
PB29	日本語ワープロの入力スキルの習得とスマホ入力 のスキルについて	愛知文教女子短期大学 愛知文教女子短期大学	○水小	谷川	久美樹 #	
PB30	小学校高学年児童による英語の文字を読む力と書く力の発達について —単語認識につながる力—	青山学院大学	アレン	玉井	光江	
PB31	強いこだわりを持った現職教職大学院生の変容 (1) —課題を深掘りするに至るまで—	琉球大学 浦添市立浦西中学校	○道岩	田谷	泰千晴 #	
PB32	ALACT モデルを用いた個別指導の継続観察が教育実習生の指導の解釈に及ぼす効果について	東京学芸大学 足立区立梅島第二小学校	○梶木	井内	芳綾明香 #	

PB33	大学生の日本語ライティングにおける技術要素の分類 —テクニカルライティング技術を応用して—	信州大学 筑波大学 株式会社ハーティネス 國學院大學 公立はこだて未来大学 京都外国語大学	○島三高富森	田波橋橋永口	英千慈尚敦	昭穂子子稔	# # # # #
PB34	クラスサイズによる小学校第2学年から第6学年までの国語の学力推移の違い	国立教育政策研究所 城西国際大学 高松大学 広島大学 国立教育政策研究所	○山大徳草萩	森内岡薙原	光善邦康	陽広大広仁	
PB35	プロジェクトを通じた学生の成長を変容的活動家スタンスによって捉える	愛媛大学 倉敷市立連島東小学校 愛媛大学大学院 愛媛大学	○富市大中	田本石山	英早若	司香奈晃	

社会

PB36	ポジティブ教育と成育環境要因 (1) —グリットを支える要因—	奈良女子大学 関西福祉科学大学 関西福祉科学大学 関西福祉科学大学	○竹宇島津	橋恵井田	洋哲恭	毅弘志充	
PB37	ポジティブ教育と成育環境要因 (2) —24の強みと学校・家庭の目標構造—	関西福祉科学大学 奈良女子大学 関西福祉科学大学 関西福祉科学大学	○宇竹津島	恵橋田井	洋恭哲	弘毅充志	
PB38	ポジティブ教育と成育環境要因 (3) —強み4要因と学校・家庭の目標構造—	関西福祉科学大学 奈良女子大学 関西福祉科学大学 関西福祉科学大学	○島竹宇津	井橋恵田	哲洋恭	志毅弘充	
PB39	児童期から青年中期にわたる居場所の発達の様相	安田女子大学 静岡産業大学 NPO 法人 コミュニティ総合 カウンセリング協会	○藤高日方	田城大	依久佳重	子那利	
PB40	教員養成学部生における教職志望変化のパターンと自他への信頼の関連	滋賀大学		若松		養亮	
PB41	援助要請態度と援助者の探索過程 (2) —若者に対する自殺予防教育の実践と効果測定—	奈良大学		太田		仁	
PB42	児童の教師への関係欲求と効果的な教師の指導行動の関連性 —大学生による学級評定からの検討—	愛知教育大学		弓削	洋子		

人格

PB43	居場所としての研究活動 —放送大学大学院学生を事例にして—	放送大学		高橋	秀明		
PB44	青年期の友人関係尺度の教示による相違についての試論	金沢大学		岡田	努		

臨床

- PB45** 高校生・大学生のいじめ場面での傍観行動を規定する要因 (1)
—従来型いじめ場面の検討—
広島修道大学 ○西野泰代
東京情報大学 原田恵理子
山梨大学 若本純子
- PB46** 高校生・大学生のいじめ場面での傍観行動を規定する要因 (2)
—LINE コミュニケーション場面の検討—
山梨大学 ○若本純子
東京情報大学 原田恵理子
広島修道大学 西野泰代
- PB47** 通信制高校における不登校経験者の高校生活満足度と卒業後の適応
埼玉純真短期大学 ○金子恵美子
奈良女子大学 伊藤美奈子
- PB48** 保護者との情動交流が小学生の無気力感に与える影響
—学年・性別要因からの検討—
大阪教育大学 牧 郁子

特別支援

- PB49** 中学校数学科における UDL の授業実践
北海道公立中学校 谷口 祥広
- PB50** 特別支援学校教員が認識する外部の支援者による「巡回相談」の効果
和歌山信愛大学 村上 凡子

学校心理学

- PB51** 「精神的充足・社会的適応力」評価尺度の縦断的活用に関する検討 (1)
—「精神的充足」と「社会的適応力」の相互影響関係の検討—
十文字学園女子大学 ○加藤陽子
十文字学園女子大学 綿井雅康
- PB52** 「精神的充足・社会的適応力」評価尺度の縦断的活用に関する検討 (2)
—測定結果に対する生徒自身の振り返りに基づいた検討—
十文字学園女子大学 ○綿井雅康
十文字学園女子大学 加藤陽子
- PB53** 高校生に対するオンライントレーニングのステイグマ改善への有効性
—発達障害に対する知識の獲得を通して—
神戸大学大学院 ○鳥居深雪
宮城学院女子大学 梅田真理 #
東京大学 近藤武夫 #
兵庫教育大学大学院 小川修史 #
帝塚山大学 式部陽子 #
幾中央大学 西尾祐美子
- PB54** 協同作業認識とソーシャルサポートとの関連
広島大学大学院 真田 穰人
- PB55** ダンスの授業が大学生の共感性・コミュニケーション力に及ぼす影響
奈良女子大学大学院 向出 章子
- PB56** 保育所における「実践し省察するコミュニティ」の形成
—町の4保育所における4年間のプロセス—
福井大学 岸野 麻衣
- PB57** 困難克服型宿泊研修プログラムが小学生の徳育的能力に与える影響
—3泊4日の臨海学校での研修を通して—
環太平洋大学 伊住 継行
- PB58** いじめや不登校に関わる不適応の類型化
愛知教育大学大学院 原田 宗忠
愛知教育大学 中井 大介
愛知教育大学 ○黒川 雅幸

PB59	教員を対象としたいじめ予防・対応に関する研修 の効果の検討	筑波大学 寝屋川市立西小学校 千葉商科大学 都留文科大学 宮城学院女子大学 目白大学	○飯 松 川 青 遠 杉	田 山 崎 山 藤 本	順 康 知 郁 寛 希	子 成 巳 子 映
PB60	多職種連携教育（IPE）における養成学生の専門 性理解 —模擬ケース会議の事前・事後評価から—	就実短期大学 大阪教育大学 淑徳大学 福山大学	○荊 森 鈴 枝	木 田 木 廣	まき 英 和	子 嗣 薫 憲
PB61	教師にとっての異動の意味と異動に伴う変容プロ セス（3） —異動は組織を変えるのか—	山梨大学	東海林	麗	香	
PB62	講義中の問題行動によって青年の発達はどうのよ うに変わるのか？ —短期大学部1年次から2年次にかけての2年間に わたる縦断調査による検討—	静岡大学	金	子	泰	之
PB63	小学校高学年「総合的な学習の時間」におけるカ リキュラム開発プロセス —授業者と研究者の協働による単元計画の開発に 注目して—	新潟大学 新潟大学教育学部附属 新潟小学校	○澤 梅	遼 津	潤 祐 介	#
PB64	教員採用試験におけるカウンセリング・心理療法	帝京平成大学	奥	井	智一朗	

測定・評価・研究法

PB65	学童期の IT 教育における創造性評価モデルの検討	香川大学 株式会社テックプログレス	○松 重	本 松	博 宏	雄 規	#
PB66	友人同士の対立場面における介入行動尺度の作成	寝屋川市立西小学校 広島大学大学院 広島大学	○松 真 栗	山 田 原	康 稜 慎	成 人 二	
PB67	小学校三年生を対象とした馬の授業における子ど もの反応	日本獣医生命科学大学 日本獣医生命科学大学 日本獣医生命科学大学 三鷹市	○柿 野 牛 西	沼 瀬 田	美 溪 奈	紀 出 童 央	# #

ポスター発表 C

第1日 9月14日(土) 15:30~17:30

在席責任時間 奇数番号15:30~16:30 偶数番号16:30~17:30

自主
9/14

自主
9/15

自主
9/16

PA
9/14

PB
9/14

PC
9/14

PD
9/15

PE
9/15

PF
9/15

PG
9/16

PH
9/16

発達

PC01 子ども用制御焦点尺度の開発
—小学生を対象として—

筑波大学 ○外 山 美 樹
筑波大学大学院・ 海 沼 沼 亮
日本学術振興会
筑波大学大学院・ 長 峯 聖 人
日本学術振興会
筑波大学大学院 湯 立
筑波大学大学院 肖 雨 知
関西外国語大学 三 和 秀 平

PC02 子ども用制御焦点尺度の開発
—中学生を対象として—

筑波大学大学院・ ○海 沼 亮
日本学術振興会
筑波大学 外 山 美 樹
筑波大学大学院・ 長 峯 聖 人
日本学術振興会
関西外国語大学 三 和 秀 平
筑波大学大学院 湯 立
筑波大学大学院 肖 雨 知

PC03 3因子で捉える教師が評定する生徒の協調性
—小学生と中学生、高校生の比較—

文教大学 ○登 張 真 稲
文教大学 名 尾 典 子
埼玉大学 首 藤 敏 元
帝京科学大学 大 山 智 子

PC04 就学前後の子どもにおける他者感情理解 (1)
—親しい他者と一般的な他者の比較から—

白梅学園大学 江 上 園 子

PC05 現代青年の友人関係は現代青年の特徴なのか
—1960年以前に出生した成人との比較—

滋賀大学 大 谷 宗 啓

PC06 子どもに心地よい音・音楽表現とメタ認知発達支援 (1)
—プロの演奏家による絵本オペラ演奏からの考察—

京都市立芸術大学大学院 石 上 浩 美

PC07 青年期における感謝のあり方と対人関係性との関係

和洋女子大学 池 田 幸 恭

PC08 高校生におけるスクールカースト地位とグループ
所属理由、学校生活適応感との関連

和光大学 高 坂 康 雅

PC09 保育学生からみた「気になる子ども」
—保育者との比較から—

岩国短期大学 荒 谷 容 子

PC10 大学生の成長を捉えるためのループリックにおける
新入生の1年後の縦断的变化

鈴鹿大学 齋 藤 信

PC11 小学1年生の小学校の満足度と幼児期の小学校への
期待
—兄弟の関連、園舎環境から—

群馬大学 大 島 みずき

教授・学習・認知

PC12 児童の基礎リテラシーの習得度合いと代替手段の
可能性 (1)
—「読み」の代替について—

東京大学 ○高 橋 麻衣子
東京大学 平 林 ル ミ

PC13	児童の基礎リテラシーの習得度合いと代替手段の可能性 (2) —「計算」の代替について—	東京大学 東京大学	○平高	林橋	ルミ 麻衣子
PC14	「読んで書く」タスクでの言語運用に語彙知識の広さと深さはどのように関わるか —第二言語としての日本語の学習者・使用者を対象に—	神田外語大学 神田外語大学	○堀李	場裕紀	江榮
PC15	復習のためのノート作成は内容理解を向上させるか	東京学芸大学 大阪大学	○犬三	塚浦	美輪 麻子 #
PC16	児童における「叱られること」への認知に関する検討 —「教師との接触度」に着目して—	広島修道大学 光市立浅江小学校	○西村	森重	章子 朱音 #
PC17	メタ認知能力を育成する試み (7) —メタ認知評価基準に基づく教師による評価からの検討—	北海道教育大学 札幌市立中央小学校 札幌市立拓北小学校	○吉大 佐賀島	野賀貫	巖諒 静 #
PC18	チーム内での立場と学習意欲 —少年サッカーチームにおける検討—	医療創生大学	名取	洋典	
PC19	ICT 機器を用いたノートテイキングによる学習内容の理解の検討 —NT メディア要因, 日常的 PC 活用習慣要因, 学習課題要因の観点に基づく比較—	公立はこだて未来大学	辻	義人	
PC20	大学生の時間的展望が学業成績に与える影響	法政大学 法政大学	○田梅	澤崎	実修 #
PC21	プログラミング入門教育の学習効果に与えるモチベーションの影響	東京電機大学 東京電機大学	○今土	野肥	紀子 紳一
PC22	習慣化をサポートするアプリケーションの基礎的調査 —時間管理の習慣化を支援するアプリケーションの開発をめざして—	金沢大学	濱	田里	羽
PC23	教養教育科目における授業選択理由と学習時間・成績の関連 —授業選択理由のタイプに注目して—	東北大学 東北大学	○岡渡	田邊	有文 司枝
PC24	児童の積極的授業参加に関する研究 (32) —内発的意欲・達成意欲との関連—	明星大学 岐阜聖徳学園大学 日本福祉大学	○布安 施藤小	光史 英	代高 志
PC25	協同的な学習意識を育むスキルトレーニングの開発 (6) —トレーニング終了後のスキル定着の検討—	奈良教育大学 南山大学	○中解	山良	留美子 優基
PC26	ピア・レスポンスにおける相手のプロダクトに対する発話の分析 —日本語母語話者を対象として—	国際教養大学	石毛	順子	
PC27	大学英語学習目的と読解力自己判定の変化	大同大学 大同大学 名古屋工業大学	○浅小 石	井西 川	淳典 章有 #

PC28	理科授業における実験計画スキル育成の試み —プロダクションルールとしてのメタ認知的知識 の教示効果—	岩手大学 岩手大学教育学部附属中学校	○久平	坂澤	哲也	傑
PC29	大学生による確率のとらえ方 —降水確率を対象に—	早稲田大学	伊藤	朋子		
PC30	「越境の説明力」育成を目的としたプレゼンテーション・セミナーの効果 —スーパーグローバルハイスクールにおける生徒 の学びの指標開発—	福岡工業大学 福岡県立鞍手高等学校	○中松	野本	美邦	香明 #
PC31	数当てゲームへの参加が数学的証明の一般性の理解に及ぼす影響	会津大学	蛭名	正司		
PC32	教職志望学生における学業と職業の接続に対する意識と学習の質及び量 —学業と職業の接続の理想状況及び理想と現実のズレを参照しながら—	高知大学	野中	陽一朗		
PC33	大学生は小学生の面積課題解決をどう予測するか —現職教員との比較—	石巻専修大学	佐藤	誠子		
PC34	ビッグヒストリーによる俯瞰力向上のための学習プロセスの検討 —宇宙史, 地球史, 生命史, 人類史の学びを通して—	清泉女学院短期大学	片瀬	拓弥		
PC35	合唱指導における心理学的アプローチの効果 (2) —自由記述式の質問紙調査を通じて—	豊田市立中山小学校 大正大学	○金子	典子	幾之輔	

社会

PC36	学校教員にとって部活動はどれくらい負担なのか? (1) —部活動の時間がストレスに及ぼす影響の検討—	目白大学	○高田	治樹		
PC37	学校教員にとって部活動はどれくらい負担なのか? (2) —理想とする部活動とストレスとの関連—	目白大学	○高田	直樹		
PC38	テキストメッセージのグループチャットにおいて返信を待つことでネガティブ感情が生じるまでの時間と個人特性	相模女子大学 東京女子大学 東京都立瑞穂農芸高等学校 東映アニメーション株式会社	○加藤	由樹	尚吾 #	紀 #
PC39	チームワーク能力トレーニングによる基礎的・応用的スキルの変化	東洋英和女学院大学	渡部	麻美		
PC40	社会化エージェントの多層的影響に関する研究 (28) —幼少期の気質・環境要因が反社会的行動の行動決定的過程に及ぼす影響—	岐阜大学 岐阜聖徳学園大学 久留米大学 高知工科大学 岐阜聖徳学園大学	○吉澤	寛之	琢哉	良輔
PC41	中学生当時のいじめ被害が高校生の将来展望に及ぼす影響 (2) —入学前・入学後調査結果による検討—	中部大学	三島	浩路		

自主
9/14

自主
9/15

自主
9/16

PA
9/14

PB
9/14

PC
9/14

PD
9/15

PE
9/15

PF
9/15

PG
9/16

PH
9/16

- PC42** 幼児のスマホ利用と言語発達の関係 (1)
— 幼児のスマホ利用の状況 —
- 筑波大学 ○水 野 智 美
富山大学 西 館 有 沙
東京未来大学 西 村 実 穂
子ども支援研究所 徳 田 克 己
- PC43** 大学生のゲーム利用動機とゲーム後の感じ方について
— なぜ、やめられないのか —
- 玉川大学 ○高 平 小百合
玉川大学大学院 高 橋 尉 #

人格

- PC44** 擬態語による性格認知とエゴグラムとの関連
— 擬態語性格尺度と新版 TEG II の自己評価結果の分析 —
- 京都ノートルダム女子大学 ○向 山 泰 代
甲南女子大学 西 岡 美 和
大阪教育大学 小 松 孝 至
大阪工業大学 酒 井 恵 子

臨床

- PC45** モラルジレンマ教育における非行少年の回答の特徴
— 少年院における実践 —
- 新潟青陵大学 ○本 間 優 子
四国少年院 長 尾 貴 志 #
四国少年院 相 賀 啓太郎 #
- PC46** 看護学生の死生観を培うための授業効果
- 大阪信愛学院短期大学 ○徳 珍 温 子
大阪信愛学院短期大学 本 村 香
大阪信愛学院短期大学 藤 田 和加子
大阪信愛学院短期大学 北 村 明香里 #
- PC47** 援助要請における3つのスタイルの基本的特徴
- 立正大学 永 井 智
- PC48** LINE 利用に関する不合理な信念尺度の作成の試み
— 大学生・大学院生を対象に —
- 鳴門教育大学 ○小 倉 正 義
南あわじ市社会福祉協議会 藤 本 優 紀

特別支援

- PC49** 関わりが困難な発達障害傾向を持つ子どもに対する教師の経験過程
- 鳥取大学 角 南 なおみ
- PC50** 小学校特別支援学級に在籍する児童の教科交流の実施における意思決定と参加状況
- 北海道教育大学 細 谷 一 博
- PC51** 障害者用駐車スペースと特別ニーズ対応区画を市民はどのようにとらえているか
- 富山大学 ○西 館 有 沙
筑波大学 水 野 智 美
子ども支援研究所 徳 田 克 己

学校心理学

- PC52** ソーシャルスキルが学校適応を促進するプロセスについての一検討
- 長崎外国語大学 ○藤 原 和 政
奈良教育大学 柏 谷 貴 志
- PC53** 教室での挑戦は、教師の安らぎから
— 保護者に対する教師の心理的安全性が創造的な教育実践に及ぼす影響 —
- さいたま市立植竹小学校 ○一 色 翼
筑波大学 藤 藤 桂
- PC54** PBIS 第2水準における気になる子どもの発見尺度 (SUTEKI) の開発
— 中学生不登校傾向との関連について —
- 安曇野市立豊科東小学校 ○工 藤 弘
兵庫教育大学大学院 市 川 哲
飯綱町立飯綱中学校 荒 井 和 之 #

PC55	学級での社会的目標の提示における言葉かけ分類 — 具体的内容と表現方法の関連 —	京都市立芸術大学 北海道大学	○山 村 麻 予 大 谷 和 大
PC56	短期大学生の時間的展望と進路に対する自己効力 度との関係	北陸学院大学短期大学部	南 雅 則
PC57	幼小接続期における教師のモニタリング — 「見守り」と関連する行動の内容分析 —	お茶の水女子大学	内 海 緒 香
PC58	高校生のネガティブな個人要因と睡眠との関連	敦賀気比高等学校	坂 本 理 香
PC59	脱・傍観者の視点を取り入れたいじめ防止授業プ ログラムの効果 — 学級風土と規範意識の関連 —	都留文科大学 兵庫教育大学	○青 山 郁 子 五 十 嵐 哲 也
PC60	学級の異質拒否傾向 — 学級状態の違いによる検討 —	東京福祉大学	深 沢 和 彦
PC61	小学生の情動知能とストレスとの関連	島根県立大学 島根県立大学 関西福祉科学大学	○橋 本 由 里 平 井 由 佳 # 島 井 哲 志
PC62	社会性と情動の学習プログラムが援助要請力とソ ーシャルサポート認知に及ぼす影響 — SEL-8S の試行的実践の事前事後測定より —	昭和薬科大学 福岡教育大学	○吉 永 真 理 小 泉 令 三
PC63	学校行事への傾倒のクラスへの同化・差異化を介 した高校生活スキルの伸びに対する効果 — 集団社会化理論の視座から —	宇都宮大学	久保田(河本)愛子

測定・評価・研究法

PC64	ニューラルネットワークによる筆跡の分類	科学警察研究所	関 陽 子
PC65	センター試験志願者の暦月齢別の対人口構成比率	大学入試センター	内 田 照 久
PC66	大学生のキャリア支援を目的とする学校型メンタ リング・プログラムの効果の検証 — セルフ・エスティームおよびスキル・能力の向上 —	北海道大学	内 田 治 子

自主
9/14

自主
9/15

自主
9/16

PA
9/14

PB
9/14

PC
9/14

PD
9/15

PE
9/15

PF
9/15

PG
9/16

PH
9/16

ポスター発表 D

第2日 9月15日(日) 10:00~12:00

在席責任時間 奇数番号10:00~11:00 偶数番号11:00~12:00

発達

- | | | | |
|-------------|--|---|--------------------------------|
| PD01 | 思春期の攻撃性に関する縦断的検討 (3)
—母子間葛藤、心理的ストレス反応との関連— | 皇学館大学
名古屋大学 | ○渡 邊 賢 二
平 石 賢 二 |
| PD02 | 思春期の攻撃性に関する縦断的検討 (4)
—攻撃性の発達の变化パターンと心理的統制の関連— | 名古屋大学
皇学館大学 | ○平 石 賢 二
渡 邊 賢 二 |
| PD03 | 新卒社会人の職場適応と大学在学中の学業領域固有の知覚された無気力の関連 | 広島文教大学 | 住 岡 恭 子 |
| PD04 | 子どもの発達と学びの連続性を共通理解するために
—保幼小合同研修プログラムについての一考察— | 広島大学大学院 | 小 松 和 佳 |
| PD05 | 幼児期・児童期における情動表出の制御の発達に関する研究
—みかけの情動理解との関連に着目して— | 東北大学大学院 | 山 本 信 |
| PD06 | 孤独感への対処は精神的健康の低下を防ぐことができるのか?
—小学生を対象として— | University of Toronto
高知工科大学
筑波大学 | ○西 村 多久磨
村 上 達 也
櫻 井 茂 男 |
| PD07 | 震災後のいわき市の子どもの発達状況
—いわき市と静岡市の年長児の比較から— | いわき短期大学 | 鈴 木 美枝子 |
| PD08 | 両親の養育態度の不一致が子どもの自尊心に与える影響 | 四国大学
新見公立大学 | ○芝 崎 良 典
芝 崎 美 和 |
| PD10 | 現職教員と教員志望学生の教職観の相違 | 上越教育大学大学院 | 山 田 智 之 |
| PD11 | 虐待が疑われる児童に対する保育者の初期面接 | 名古屋女子大学 | 佐々木 真 吾 |
| PD12 | 学生のキャリアレジリエンスと親の養育態度の関連 | 広島大学 | 児 玉 真樹子 |
| PD13 | 幼児の相互作用場面における位置関係の変化
—保護者と教師からみた幼児の特性に着目して— | 鹿児島県立鹿児島養護学校
鹿児島大学 | ○神 田 まほろ
島 義 弘 |

教授・学習・認知

- | | | | |
|-------------|--|---|--|
| PD14 | アクティブ・ラーニングの脳科学
—人間固有の学びの構造と機能を知り、学びと教え、教育の再構築を共にデザインしよう— | お茶の水女子大学
お茶の水女子大学
昭和女子大学
お茶の水女子大学
産業技術総合研究所 | ○仁 木 和 久
内 海 緒 香
緩 利 誠 #
富士原 紀 絵 #
岩 野 孝 之 # |
| PD15 | 学びのパフォーマンスのデザイン (1)
—高等学校教員のファシリテーションが生徒のパフォーマンスに及ぼす影響— | 横浜国立大学大学院
横浜国立大学 | ○黒 木 美和子
有 元 典 文 |
| PD16 | 学びのパフォーマンスのデザイン (2)
—高校授業にインプロゲームを導入した際の学習者リスクの検討— | 横浜国立大学大学院
横浜国立大学 | ○渡 邊 由 貴
有 元 典 文 |
| PD17 | 学びのパフォーマンスのデザイン (3)
—「対話」に基づく性教育デザインの基礎研究— | 横浜国立大学大学院
国士舘大学
横浜国立大学 | ○宮 川 亜 実
郡 司 菜津美
有 元 典 文 |

PD18	学びのパフォーマンスのデザイン (4) ー医療現場での具体的なパフォーマンスとしての 転移ー	日本赤十字看護大学 横浜国立大学	○川 名 る り 有 元 典 文
PD19	潜在曲線モデル分析によるアクティブ・ラーニ ング型授業の効果測定 (4) ー所属グループにおける個人の目標と満足度がグ ループ活動に及ぼす影響ー	立正大学 駿河台大学 九州工業大学	○高比良 美詠子 杉 本 英 晴 佐 藤 友 美
PD20	潜在曲線モデル分析によるアクティブ・ラーニ ング型授業の効果測定 (5) ー所属グループにおける個人の作業認識がグル ープ活動に及ぼす影響ー	駿河台大学 九州工業大学 立正大学	○杉 本 英 晴 佐 藤 友 美 高比良 美詠子
PD21	潜在曲線モデル分析によるアクティブ・ラーニ ング型授業の効果測定 (6) ー所属グループにおける集団の作業認識がグル ープ活動に及ぼす影響ー	九州工業大学 立正大学 駿河台大学	○佐 藤 友 美 高比良 美詠子 杉 本 英 晴
PD22	保育者養成課程学生の保護者支援に対する意識	和泉短期大学	平 沼 晶 子
PD23	店と客の集学的学習による規範の変更と新たな価 値の創発過程 ーフレンチレストランの実践から、お子様メニ ーの変遷ー	株式会社パラディ・ラボ	會 津 律 治
PD24	他者との学習における動機づけ調整過程 ー動機づけの変動性との関連ー	京都外国語大学 鹿児島大学	○梅 本 貴 豊 稲 垣 勉
PD25	ジグソー法を用いた性教育指導に関する授業の学 習効果 ーKH coder によるテキストマイニングからー	国士舘大学	郡 司 菜津美
PD26	小・中学生の教科別学習観 (6) ー小学6年生の学習観と記述課題回答の関連ー	群馬大学 共立女子大学 東京大学大学院	○鈴 木 豪 石 橋 優 美 青 柳 尚 朗
PD27	演者の印象評定尺度の作成	鹿児島純心女子大学 東京大学	○野 村 亮 太 ヒュース 由美 #
PD28	グループワークによる議論関連能力の学習 ー失敗と成功の振り返りの影響に及ぼす知能観の 調整効果ー	福岡女学院大学 九州大学	○藤 村 まこと 大 賀 哲 #
PD29	短文理解に伴う状況イメージの検討 ー短文を接続する語「そのあと」を用いてー	恵泉女学園大学	伊 藤 尚 枝
PD30	教師の指示の仕方に対する小学生の認識 ー小学1年生とその担任教師に対する質問紙調査 と授業観察からー	武蔵野大学	川 島 哲
PD31	小中移行期における英語に対する目標認知、学習 観、学習動機の変容	駒沢女子大学 日本大学	○木 澤 利英子 篠ヶ谷 圭 太

自主
9/14自主
9/15自主
9/16PA
9/14PB
9/14PC
9/14PD
9/15PE
9/15PF
9/15PG
9/16PH
9/16

PD32	高校生の学びと成長 (1) —学びのタイプによる資質・能力の違い—	大妻女子大学	○本	田	周	二
		関西大学	森	保	朋	子
		京都先端科学大学	三	田	紀	裕
		福岡大学	紺	田	広	明
		大阪産業大学	山	田	嘉	徳
		新潟大学	上	畠	洋	佑
		兵庫県立加古川東高等学校	坂	田	充	範
		兵庫県立加古川東高等学校	西	村	雅	永
		兵庫県立加古川東高等学校	福	迫	徳	人
		桐蔭学園	溝	上	慎	一
PD33	教授過程に「演劇的手法」を用いた教師のリフレクション —小学校における演劇的手法の効果を中心に—	東京学芸大学大学院	吉	田	梨	乃
PD34	学級規模による小学校第4学年から第6学年までの学習意欲推移の違い	高松大学	○徳	岡	大	
		国立教育政策研究所	山	森	光	陽
		広島大学大学院	中	島	健一郎	
		城西国際大学	大	内	善	広
		広島大学	草	薙	邦	広
		国立教育政策研究所	萩	原	康	仁
PD35	視点取得への介入指示が他者の言動に対する認知に与える影響 (2)	京都文教短期大学	○真	下	知	子
		大阪大学	三	宮	真智子	
PD36	社会情動的コンピテンスを育成するカリキュラム開発の基礎研究 —協働的学び合いを中心とした21世紀型スキル向上を手がかりとして—	岐阜大学	○松	永	健一郎	
		岐阜大学	吉	澤	寛	之
社会						
PD37	児童生徒のあいさつ・感謝・謝罪スキルと学校適応感の関連に関する調査研究 (1) —小学校担任教師のスキル実行に対する自己評価からの検討—	埼玉学園大学	○藤	枝	静	暁
		埼玉学園大学	藤	原	健	志
		埼玉学園大学大学院	和	気	淑	江
		筑波大学	相	川	充	
PD38	児童生徒のあいさつ・感謝・謝罪スキルと学校適応感の関連に関する調査研究 (2) —3水準モデルに基づく検討—	埼玉学園大学	○藤	原	健	志
		埼玉学園大学	藤	枝	静	暁
		埼玉学園大学大学院	和	気	淑	江
		筑波大学	相	川	充	
PD39	他者意識は対象や知的好奇心の高さによって異なるのか	中村学園大学	野	上	俊	一
PD40	小学生の問題行動の規定要因 —家庭環境、個人の特性、友人環境、学校生活による影響の検討—	香川大学	大久保	智	生	
PD41	「いじめ」言説における構造的な矛盾とその打開 —文法論に基づく考察—	熊本大学	八ッ塚	一	郎	
PD42	乳幼児・児童虐待の特徴に関する基礎的分析	福井大学	岸	俊	行	
PD43	若年就労者の職場適応を規定する在学中の要因 (6) —就職前の不安と高揚感が入職後の職場適応に及ぼす影響—	十文字学園女子大学	○山	下	倫	実
		十文字学園女子大学	風	間	文	明
PD44	高校生は「アクティブラーニング」をどう思っているのか?	実践女子大学	○栗	津	俊	二
		東洋大学	鈴	木	明	夫

PD45 大学生の共感経験とアイデンティティとの関連

小田原短期大学 ○井 芹 ま い
早稲田大学 河 村 茂 雄

自主
9/14

臨床

PD46 不登校児の母親に対する支援過程についての検討

奈良女子大学 ○森 下 文
奈良女子大学 伊 藤 美奈子

自主
9/15

PD47 不登校児の適応指導教室への適応要因の検討
—短期縦断調査の結果から—

北海道大学 ○木 下 弘 基
北海道大学 加 藤 弘 通
常葉大学 太 田 正 義

自主
9/16

PD48 新任教員におけるバーンアウト傾向と離職意思の
経時的変化

上越教育大学 ○奥 村 太 一
上越教育大学 宮 下 敏 恵
栃木県立岡本台病院 増 井 晃 輔
足利大学 森 慶 人
秋田大学 北 島 正 人

PA
9/14

PD49 発達障害の早期発見につながりにくい保育とは

ルーテル学院大学 菊 池 知 美

PB
9/14

特別支援

PD50 就学における障害のある子どもへの付き添いの多
義性
—母親のナラティブ—

三重大学 栗 田 季 佳

PC
9/14

PD51 中学生における特別な支援ニーズは親への愛着に
対して関連・影響はあるのか？

東京農工大学 ○三 浦 巧 也
東京学芸大学大学院 杉 岡 千 宏
東京学芸大学大学院 日 下 虎 太
東京学芸大学 橋 本 創 朗

PD
9/15

PD52 視覚障害児・者の学校卒業後の自主的・創造的な
活動への参加を促す支援のために
—視覚障害児童・生徒の余暇活動の支援の中で活
動への参加の意欲を高める支援—

岡山東支援学校 刀 福 豊

PE
9/15

学校心理学

PD53 養護教諭のコーディネーション行動に関するモデ
ルの検討
—コーディネーション行動に強く影響する要因—

淑徳大学 ○鈴 木 薫
広島文化学園大学 山 崎 晃

PF
9/15

PD54 保育実習生のワーク・エンゲイジメントに関する
研究
—JD-R モデルに基づくコーピング仮説の検証—

埼玉純真短期大学 金 子 智 昭

PG
9/16

PD55 小学校教員における感情体験の社会的共有が協働
的職場風土に与える影響

川崎医療福祉大学 森 本 寛 訓

PH
9/16

PD56 小学生の Grit とストレス反応との関連

東京福祉大学 ○藤 原 寿 幸
早稲田大学 河 村 茂 雄

PD57 児童の他律的セルフ・エスティームとストレスの
関連
—全体およびコンピテンス領域別の他律的セル
フ・エスティームに着目した横断的検討—

兵庫教育大学 ○賀 屋 育 子
鳴門教育大学 横 嶋 敬 行
鳴門教育大学 内 田 香 奈
鳴門教育大学 山 崎 勝 之

PD58 縦断調査による中学校3年間の自尊感情と被受容
感の比較検討

甲南大学 ○木 下 雅 博
甲南大学 大 西 彩 子

PD59	小学校教員によるユーモア表出の児童の認知とスクールモラルとの関連	早稲田大学 早稲田大学	○河村昭博 河村茂雄
PD60	中高生の友だちグループの地位と学校への心理的適応 —学級帰属意識と「スクールカースト」への意識を調整変数とした検討—	北海道大学 東京大学	○水野君平 柳岡開地
PD61	教師の伝え方が保護者に与える影響 —子どもの発達理解に着目して—	聖徳大学	米川純子
PD62	書くことによる言語的説得の質的分析における考察	新潟県南魚沼郡湯沢町立湯沢中学校 聖徳大学	○田中いずみ 鈴木由美
PD63	中学生の援助要請行動の変化および適応への中期的影響 —学期毎の3時点データを用いた検討—	東京大学大学院	天井響子
PD64	学校相談員の活動内容尺度の作成 —不登校・相談室登校児童生徒と保護者に対する支援に注目して—	聖徳大学大学院 聖徳大学	○漆畑典子 鈴木由美
PD65	中学校間連携によるピア・サポート実践の検討 —研修の雰囲気と生徒の感情に着目して—	筑波大学大学院 筑波大学	○高橋智子 庄司一子

測定・評価・研究法

PD66	学級規模のTIMSS2015小学校第4学年理科への効果 —操作変数を用いた家庭の学習資源の多寡によるカリキュラムの被覆状況別の分析—	国立教育政策研究所 国立教育政策研究所 国立教育政策研究所	○萩原康仁 山森光陽 松原憲治 #
PD67	複数冊子における素点を用いたDIF検出方法について —CEFR descriptors 質問紙を用いた検討—	東北大学 名古屋大学	○熊谷龍一 野口裕之
PD68	理科の活用志向性測定尺度の開発 —スーパーサイエンスハイスクール指定校の取組の評価を見据えて—	高知大学 高知大学・日本学術振興会 高知大学	○草場実 原田勇希 斎藤恵介 #

ポスター発表 E

第2日 9月15日(日) 13:30~15:30
在席責任時間 奇数番号13:30~14:30 偶数番号14:30~15:30

自主
9/14

自主
9/15

自主
9/16

PA
9/14

PB
9/14

PC
9/14

PD
9/15

PE
9/15

PF
9/15

PG
9/16

PH
9/16

発達

- | | | | | |
|-------------|--|----------------------|------|------------|
| PE01 | 大学生の Cyber Aggression と心理的不適応の関連の検討 (1)
— 大学生用 Cyber Aggression Scale の作成 — | 筑波大学
筑波大学 | ○濱金 | 口佳和
子楓 |
| PE02 | 大学生の Cyber Aggression と心理的不適応の関連の検討 (2)
— 能動的・反応的攻撃性および心理的ストレス反応との関連 — | 筑波大学
筑波大学 | ○金濱 | 子口佳和
子楓 |
| PE03 | 保育者による子どもの発達に応じた保育内容の工夫
— 適性処遇交互作用の観点から — | 武庫川女子大学 | 藤谷智子 | |
| PE04 | 大学生を対象とした ASRS (成人期の ADHD 自己記入式症状チェックリスト) についての一考察
— その信頼性と妥当性 — | 文教大学 | 井上清子 | |
| PE05 | FIT-Choice 尺度と教職志望度との関連について | 弘前大学 | 吉崎聡子 | |
| PE06 | 幼児における他者の心の理解と親の共感性との関連 | 弘前大学
上智大学 | ○野齋 | 嵩茉莉
藤慈子 |
| PE07 | 幼児・児童の抑制的教示行為
— 向社会的行動としての「教えない」行動の発達 — | 鹿児島大学 | 島義弘 | |
| PE08 | 中学生の社会的情動スキルの発達 | 日本工業大学
鎌倉女子大学 | ○山藤 | 口剛
澤文 |
| PE09 | 親子間における失敗観の伝達プロセスの検討 | 南山大学 | 解良優基 | |
| PE10 | 教職課程の学生におけるキャリア意識の変化 | 開智国際大学 | 寺本妙子 | |
| PE11 | 親子双方の注意欠如・多動症的行動特性と親子関係との関連 | お茶の水女子大学
お茶の水女子大学 | ○齊藤 | 藤彩
菅ますみ |

教授・学習・認知

- | | | | | |
|-------------|---|------------------------------|------------|--------------------|
| PE12 | 比喩生成課題を用いた教員養成課程学生の教授学習観の検討 | 立命館大学
大阪成蹊短期大学 | ○川那部
洪谷 | 隆司
郁子 |
| PE13 | 比喩生成課題を用いた保育者養成課程学生の保育観の検討 | 大阪成蹊短期大学
立命館大学 | ○洪谷
川那部 | 郁子
隆司 |
| PE14 | 保育者養成校でのマイクロティーチングに関する研究 (1)
— 協同作業認識が保育技術を媒介として保育者の力量に影響を与えるプロセスの検討 — | 文京学院大学
埼玉純真短期大学
慶應義塾大学 | ○金金清 | 子智栄子
子智昭
水優菜 |
| PE15 | 情動喚起的内容を含む説明的文章の読解における「想念の侵入」について | 札幌学院大学
東北大学 | ○舩田
工藤 | 弘子
与志文 |
| PE16 | スマートフォン依存傾向と思考抑制の関係 | 大阪産業大学 | 山本晃輔 | |
| PE17 | 協働的学習に対する生徒の意識に関する研究
— 高校生へのインタビューの結果から — | 千葉科学大学
早稲田大学 | ○熊谷 | 圭二朗
河村茂雄 |

PE18	主体的・対話的で深い学びを目指した異学年交流 —小学校での劇づくりにおける児童のパフォーマンスの実態—	開智学園	菅 井 篤
PE19	鑑賞活動から読譜へのヒントを得て自発的な音楽 活動を可能にする要因についての一調査	メルケアみなとセンター	牛 久 香 織
PE20	ワークプレイスにおける教授・学習方略に関する 検討 —派遣事業経験の内観記録をデータとして—	東京学芸大学大学院連合	大 内 里 紗
PE21	幼児教育における教材活用の様相 —領域言葉の観点から—	愛知東邦大学	橋 村 晴 美
PE22	ポジティブ感情と危険認知との関係 —保育場面における楽観バイアスに着目して—	島根大学 就実短期大学	○伊 藤 優 鎌 田 雅 史
PE23	授業ノートの代わりとしての教科書の活用可能性 —教科書へのメモ書きと説明活動による学習効果—	東京大学大学院・ 日本学術振興会	福 田 麻 莉
PE24	オーセンティック概念に基づく初等統計領域授業 の実践研究 —児童の能力観の変容に着目して—	武蔵野大学	小 野 健太郎
PE25	高校生が感じる各教科の有用性	関西外国語大学	三 和 秀 平
PE26	教師のグループ学習に対する学習ニーズと心理 的・環境的要因の関連 —教科と校種に着目して—	大東文化大学	児 玉 佳 一
PE27	心理学の入門授業における自己介入調査の学習効果 —指の爪噛み・皮むきの改善を試みた学生事例—	名古屋商科大学 名古屋商科大学	○椿 田 貴 史 亀 倉 正 彦
PE28	特別支援教育の作業学習（窯業班）における職能 形成 —「型」の視点でとらえる伝統工芸技術の伝承—	愛知教育大学大学院	永 井 弘 人
PE29	理学療法士養成校の学生はいかにして国家試験を 乗り切るか？ —学習動機づけに着目して—	白鳳短期大学 東北大学	○成 田 亜 希 宮 本 友 弘
PE30	動機づけ理論に基づく動機づけ調整方略尺度の作 成および信頼性・妥当性の検討	筑波大学大学院 筑波大学	○湯 立 外 山 美 樹
PE31	仮説実験授業のたのしさを決めるもの（5）全脳 参与の可能性 —脳科学・AI研究を参照しつつ、命題学習には尽 きない「全脳参与型学習」が持つ可能性について 考える—	仮説実験授業研究会	守 屋 明 佳
PE32	高校生におけるコンピテンシーと達成目標の関連 —学校の違いに着目して—	東京学芸大学 東京学芸大学 東京学芸大学	○押 尾 恵 吾 扇 原 貴 志 岸 学
PE33	情報検索学習における練習課題順序の影響 —学習の定着と作業負荷—	早稲田大学 早稲田大学	○大 津 嘉代子 阪 脇 孝 子
PE34	大学におけるアクティブ・ラーニングとその効果（3） —私立大学における教員のアクティブ・ラーニン グの知識量と活用度—	摂南大学	牧 野 幸 志

社会

- PE35** 他者の性格の評価が、その人を好きか嫌いかでどのように変化するか
日本女子大学 ○梶 原 直 樹
下野市立古山小学校 梶 原 和 子 #
- PE36** 大学生の友人関係における消極的関係維持 (9)
—消極的関係維持動機尺度短縮版の検討 (1)—
岐阜聖徳学園大学 ○安 藤 史 高
静岡文化芸術大学 高 木 邦 子
- PE37** 大学生の友人関係における消極的関係維持 (10)
—大学および友人関係への適応と消極的関係維持動機との関係—
静岡文化芸術大学 ○高 木 邦 子
岐阜聖徳学園大学 安 藤 史 高
- PE38** ポジティブな強みを活かした防災教育の実践
—大学生の協働による地域防災の提案—
大阪教育大学 ○豊 沢 純 子
奈良女子大学 竹 橋 洋 毅
関西福祉科学大学 島 井 哲 志
- PE39** 大学生における肢体不自由者の友人の有無による
障害者観及び潜在的ステレオタイプの違い
静岡福祉大学 小 川 翔 大
- PE40** 行動の選好と先延ばし行動との関連
大阪電気通信大学 ○安 達 未 来
神戸学院大学 安 達 達 啓 介 #
- PE41** 「理想の教師」に関する測定指標作成の試み
—教員と高校生との比較—
宇都宮共和大学 小 浜 駿
- PE42** 小中学校での保護者としての活動経験が地域活動
への動機づけおよび参加に与える影響
岐阜聖徳学園大学 ○吉 田 琢 哉
岐阜大学 吉 澤 寛 之

人格

- PE43** 学生の自己評価による自己特性に関する研究 (3)
—保育者を目指す短大生の2年間の変容について—
常磐会短期大学 糠 野 亜 紀
- PE44** 反応スタイルと抑うつ の2時点研究
帝京平成大学 ○島 津 直 実
帝京平成大学 中 村 玲 子
早稲田大学 越 川 房 子

臨床

- PE45** 不登校経験者への高等学校における支援について
—高校入学時の気持ちに着目して—
奈良女子大学 ○松 下 ひとみ
奈良女子大学 伊 藤 美奈子
- PE46** セルフコンパッションが大学生の友人関係に与える影響
—ICT 教材開発の試み—
国土館大学 ○桜 井 美 加
国土館大学 大 浦 邦 彦 #
国土館大学 野々山 良 介 #
国土館大学 三 上 可 菜 子 #
- PE47** 大学入学期の意思決定と大学適応
東北大学 岩 淵 将 士
- PE48** 発達に課題のある子どものスポーツ活動への参加
について
—母親へのインタビューを通して—
東京未来大学 ○井 梅 由美子
東京未来大学 藤 後 悦 子
東京未来大学 大 橋 恵

特別支援

- PE49** 通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある児童が過ごしやすい学級雰囲気 の検討
筑波大学大学院 ○岡 部 帆 南
筑波大学 柘 植 雅 義

- PE50** 就学移行期におけるペアレントトレーニング
—保護者の変化に着目して—
足立区こども支援センターげんき
足立区こども支援センターげんき
港区立障害保健福祉センター
こども療育パオ ○荻野昌秀
前川圭一郎 #
先光毅士 #
- PE51** 学童保育指導員を対象としたサポートブックの作成・有用性の検討
—指導員の発達障害児対応における困り感の低減を目指して—
すみだ福祉保健センター ○岡田真由子
みつばち園
茨城大学大学院 金丸隆太 #
- PE52** 質の高い活動により基本的自己肯定感を高める取組
—遊びの指導での一考察—
広島市立広島特別支援学校 ○城本 一 樹
広島市立広島特別支援学校 田 彩 夏 #

学校心理学

- PE53** 印象に残る教師像：大学生への半構造化面接を通して (1)
—印象に残る教師像の概要—
愛知学院大学 ○二宮克美
名古屋文理大学短期大学部 山本 ちか
鈴鹿大学 杉山 佳菜子
- PE54** 印象に残る教師像：大学生への半構造化面接を通して (2)
—理想とする教師像—
名古屋文理大学短期大学部 ○山本 ちか
愛知学院大学 二宮 克美
鈴鹿大学 杉山 佳菜子
- PE55** 印象に残る教師像：大学生への半構造化面接を通して (3)
—嫌いなタイプの教師像—
鈴鹿大学 ○杉山 佳菜子
愛知学院大学 二宮 克美
名古屋文理大学短期大学部 山本 ちか
- PE56** 秩序維持の意識と障害理解教育の関係
—合理的な配慮へのためらいをPAC分析で読み解く—
学泉舎 今野博信
- PE57** 養護教諭およびスクールカウンセラーとの連携・協働に対する公立小・中学校教諭の評価
安田女子大学 ○橋本博文
安田女子大学 前田 楓 #
- PE58** 中学生に対するフォニックス指導の有効性の検討
広島大学 ○小田真実
広島大学 湯澤 正 通
- PE59** 認知行動療法に基づく You Can Do It! 予防教育プログラム、レジリエンス（日本語版）の実践
—小学校5年生への実践—
千葉大学大学院医学研究院 ○山本利枝
足立区立平野小学校 渡辺 梨沙 #
- PE60** 教師の関わり方が子どもの動機づけに与える影響
—小学生におけるクラスメイトとの関係への動機づけに着目して—
早稲田大学 ○山上 琢 俣
早稲田大学 上 淵 寿
- PE61** 多様な教育的ニーズを持つ生徒の指導に関する高校教師のピリーフ
—学校タイプの比較から「学力低位校」に焦点を当てて—
早稲田大学 ○本田真雄
早稲田大学 河村 茂
- PE62** 卒業期待度尺度の作成
北海道大学 ○渡邊 仁
北海道大学 佐藤 奈月
北海道大学 加藤 弘 通
- PE63** 部活動における役割と部活動意欲との関連の検討
早稲田大学大学院 河村明和
- PE64** 大学への配慮申請に至るトランスジェンダー男性の変容プロセスについて
早稲田大学大学院 渡邊 歩
- PE65** 登校規範意識はストレスの源になるのか
—欠席志向性が高い中学生を対象に—
北海道大学 ○Hou Yuejiang
高知大学・日本学術振興会 原田 勇 希

測定・評価・研究法

PE66 デザイン工学科の学生に適したプログラミング言語 (Processing) の導入効果
—モチベーションの向上を目指すために—

東京電機大学 ○土 肥 紳 一
東京電機大学 今 野 紀 子

PE67 少数カテゴリの併合がパラメタ推定に及ぼす影響
—パフォーマンステストデータに多相ラッシュモデルを適用した場合—

名古屋大学 ○光 永 悠 彦
京都工芸繊維大学 羽 藤 由 美 #
京都工芸繊維大学 神 澤 克 徳 #

自主
9/14

自主
9/15

自主
9/16

PA
9/14

PB
9/14

PC
9/14

PD
9/15

PE
9/15

PF
9/15

PG
9/16

PH
9/16

ポスター発表 F

第2日 9月15日(日) 16:00~18:00

在席責任時間 奇数番号16:00~17:00 偶数番号17:00~18:00

発達

- | | | | | |
|-------------|--|--|----------------------------------|---|
| PF01 | 幼稚園の運動会が5歳児の発達に及ぼす影響について (1)
— 語彙発達の調査から — | 宇都宮大学
宇都宮大学
宇都宮大学教育学部附属幼稚園
宇都宮大学教育学部附属幼稚園 | ○宮代 隆行
石川 修子
坂本 美智雄 | # |
| PF02 | 幼稚園の運動会が5歳児の発達に及ぼす影響について (2)
— 向社会的行動の調査から — | 宇都宮大学
宇都宮大学
宇都宮大学教育学部附属幼稚園
宇都宮大学教育学部附属幼稚園
宇都宮大学教育学部附属幼稚園 | ○石川 隆行
宮代 知美
稲川 裕子
磯田 涼 | # |
| PF03 | 夫婦間での育児参加状況に関する認識のずれと夫婦関係満足度および育児ストレスとの関係 | 城西国際大学
東京都市大学
国立教育政策研究所 | ○大内 善広
野澤 義隆
萩原 康仁 | |
| PF04 | 保育行為スタイルの視点による保育者の専門性発達 | 名古屋市立大学 | 上田 敏 丈 | |
| PF05 | 分数と量との対応の理解がゆるやかに進む小学生の事例 | 名城大学
名城大学
名城大学大学院 | ○大西 美香子
伊藤 康児
加藤 幸久 | |
| PF06 | 高校生の自尊感情に仲間集団の特徴が与える影響について | 東北大学大学院 | 松本 恵 美 | |
| PF07 | 親のメッセージフレーミング方略が幼児の自己制御傾向に与える影響 | 新潟国際情報大学
慶応義塾大学 | ○佐々木 宏之
林 洋一郎 | # |
| PF08 | 中学生の共食感を高める要因の検討
— 共食人数と共食回数に着目して — | 昭和学院短期大学 | 江崎 由里香 | |
| PF09 | 統合失調症経験者の成人期以降における生涯発達支援に関する研究の意義 | 名寄市立大学
名寄市立大学 | ○結城 佳子
中島 泰 葉 | |
| PF10 | 心の理論に関する研究
— 教育と関連した内容の検討 — | 旭川大学 | 岡田 郁 子 | |
| PF11 | 習い事が幼児の問題行動の抑制に与える影響 (3)
— 動機づけと問題行動の関連を習い事別に検討 — | 玉川大学 | 油川 さゆり | |
| PF12 | 幼児同士の二者関係に広がりを生みだす遊びの特徴
— ごっこ遊びにおける目的の曖昧さに着目して — | 北海道大学・日本学術振興会 | 及川 智 博 | |

教授・学習・認知

- | | | | | |
|-------------|---|------------------------------|---------------------------|---|
| PF13 | 保育者研修におけるマイクロティーチングの研究Ⅲ
— 保育者役の有効性の認識と効果の持続性について — | 植草学園大学
文京学院大学
植草学園短期大学 | ○金子 功一
金子 智栄子
植草 一世 | # |
| PF14 | 社会的に共有された学習調整の視点提示が授業実践型相互教授による算数グループ学習に及ぼす効果 (1)
— SSRL 方略活用に対する自己効力感への効果 — | 静岡大学 | 町 岳 | |
| PF15 | 油彩画の印象評価に「タイトル」と鑑賞環境が与える影響
— 疑似展示空間を用いた実験的検討 — | 北星学園大学 | 後藤 靖 宏 | |

PF16	教員養成大学の学生における SDGs に対する認識	京都教育大学 津田塾大学	○田 爪 宏 二 高 垣 マユミ	自主 9/14
PF17	状態としての知的好奇心と修士課程進学との関連 —情報系学生を対象とした調査結果から—	東京電機大学 目白大学	○石 田 拓 矢 庄 司 正 実 #	自主 9/15
PF18	インタビューと現場への還元を通じた歴史の再構築過程 —個別指導塾における講師研修会の在り方の検討—	東京高等学校	藤 森 裕 紀	自主 9/16
PF19	児童の自尊感情を高めるためのエクササイズを実践する上での留意点について	宇部市立東岐波小学校 東京学芸大学	○河 内 歩 美 梶 井 芳 明	自主 9/17
PF20	保育士養成課程の保育実習事前指導（施設）におけるアクティブラーニングを意図した授業の影響 —ワールドカフェの実施前後による施設実習自己効力感、施設実習不安、主体的な学習態度の変化—	埼玉学園大学	増 南 太 志	PA 9/18
PF21	フィードバックによる作文の改善に及ぼす適性要因の影響（2） —プロセスモデルの検討—	慶應義塾大学大学院	福 富 隆 志	PB 9/19
PF22	ルールの適用場面における学習者の認知的信念の分析 —課題の事前認識に着目して—	石巻専修大学 石巻専修大学	○永 山 貴 洋 佐 藤 誠 子	PC 9/20
PF23	ゼミナール実践の課題と教員の試行錯誤の関係	首都大学東京	伏木田 稚 子	PD 9/21
PF24	教育環境として課題がある学級集団におけるソーシャルスキルと承認感との関連	岡山市立財田小学校 早稲田大学	○森 俊 博 河 村 茂 雄	PE 9/22
PF25	適切な図表スキルは数学文章題解決における脳活動を最適化する —EEG を使った神経科学の統合—	京都大学 京都大学	○綾 部 宏 明 マナロ エマニエル	PF 9/23
PF26	人工知能による自律性支援認識可能性の検討	同志社大学大学院 同志社大学	○江 聚 名 田 中 あゆみ	PG 9/24
PF27	批判的思考育成としての防災・減災の学習活動の評価 —オンライン討論活動への教員活動の影響—	東京工業大学 信州大学 信州大学	○中 山 実 菊 池 聡 山 本 洋 雄 #	PH 9/25
PF28	教育実習のエンゲージメントと教員志望度の関連	慶應義塾大学	清 水 優 菜	PG 9/26
PF29	インストラクショナルデザインに基づいた心肺蘇生法研修における医療学生の学習意欲の差（2018年版）	日本 BLS 協会	青 木 太 郎	PH 9/27
PF30	理科の動機づけと観察・実験における公正な探究態度の関連 —制度的利用価値の認知は不正行為を促進するか？—	高知大学・日本学術振興会	原 田 勇 希	
PF31	人はなぜ「ながら勉強」をするのか —学習に対する印象による「ながら習慣」への影響—	関西学院大学大学院	八 木 麻衣子	
PF32	規範に関する保育観（2） —規範を示す幼児への保育者の解釈に着目して—	白梅学園大学・ 日本学術振興会	辻 谷 真知子	

社会

- PF33** 学校組織の分散型リーダーシップ測定尺度の開発
就実短期大学 ○鎌 田 雅 史
岡山大学 三 沢 良
- PF34** 学校の組織風土と教師のチームワークの関連性
岡山大学 ○三 沢 良
岡山大学 森 安 史 彦 #
岡山市立伊島小学校 樋 口 宏 治 #
- PF35** 他者の情動を調整する方略の有効性認知に関する
日米比較
甲南大学 野 崎 優 樹
- PF36** 中学校進学後の生徒の学習規律認識の変化
—出身小学校による違いに着目して—
三重大学 笹 屋 孝 允
- PF37** 大学生のチームワークに関するスキルを向上させる
トレーニングの有効性 (5)
—チームワーク能力の変化と受講動機の関連—
愛知学院大学 太 幡 直 也
- PF38** 児童期における社会経済的地位とアタッチメント
および援助要請との関連
奈良教育大学 ○石 井 僚
奈良教育大学 中 山 留美子
- PF39** 感謝感情と負債感情が向社会的行動の実行コスト
に及ぼす影響
—向社会的行動の動機を介した日誌法による検討—
筑波大学 ○吉 野 優 香
筑波大学 相 川 充 充
- PF40** 父親の育児家事参加と母親の育児不安の検討 (2)
—家庭内ゲートキーパーに着目して—
聖徳大学大学院 ○今 村 三千代
聖徳大学大学院 鈴 木 由 美
- PF41** 重要な他者が生徒の自己効力感に与える影響
—教師・保護者・地域住民の包括的影響—
岐阜県多治見市立小泉中学校 ○矢 野 隆 彦
岐阜大学 吉 澤 寛 之

人格

- PF42** 大学生の Sense of Coherence と自己肯定感の関係
—主観的幸福感と抑うつに対する SOC の独自性
の確認—
磯 和 壮太郎

臨床

- PF43** 「うつ病の友人を援助することの利益・コスト感」
に関するプロトタイプ分析
日本大学・日本学術振興会 ○樫 原 潤
日本大学 坂 本 真 士
- PF44** 大学生の発達障害に関するメンタルヘルスリテラ
シー尺度の作成
—大学生を対象として—
東京家政大学 水 野 雅 之
- PF45** 場面緘黙経験者の適応・不適応過程についての研究
筑波大学大学院 ○藤 間 友里亜
筑波大学 外 山 美 樹
- PF46** 子育てをする親の認知行動的タイプの差異が子ども
の適応行動に及ぼす影響
早稲田大学大学院 ○吉 田 遥 菜
東京未来大学 野 中 俊 介
早稲田大学 嶋 田 洋 徳
- PF47** ナラティブ・アプローチに基づく秘密いじめ対策
隊の実践
—日本初の試みからみえる可能性と課題—
駒沢女子大学 綾 城 初 穂

特別支援

- PF48** 知的障害特別支援学校における生徒の話し合いと教師の介入の特徴
— 中学部1年生の係決め授業の事例分析 — 東京大学大学院 楠 見 友 輔
- PF49** フィンランド総合制学校における特別な支援を必要とする児童生徒とその学級への支援
— 教員の語りによる学級変容プロセスモデルの生成 — 東京学芸大学大学院 ○中 田 明 香
埼玉大学 堀 田 香 織
- PF50** 発達に遅れのある幼児の母親へのソーシャルエモーションララーニング 株式会社 LITALICO ○高 橋 あ い
株式会社 LITALICO 大 川 真知子

学校心理学

- PF51** 就職を希望する普通科高校生のキャリア選択に対する納得感 (1)
— キャリア選択の熟考を測定する試み — 立命館大学 ○大 谷 哲 弘
岩手大学大学院 山 本 獎
- PF52** 就職を希望する普通科高校生のキャリア選択に対する納得感 (2)
— 納得感の構成と規定因 — 岩手大学大学院 ○山 本 獎
立命館大学 大 谷 哲 弘
- PF53** 情動知能と学校環境適応感の関連性についての検討
— 小学3年生へのアンガーマネージメントの実践から — 早稲田大学大学院 大 森 良 平
- PF54** 学校・学級・児童へのポジティブ介入・支援システムの導入による学校適応の向上
— 児童の社会性発達と教師の指導力向上を基盤とした実践研究 — 岐阜県可児市立広見小学校 ○奥 村 尚 浩
岐阜大学 吉 澤 寛 之
- PF55** 同性愛に対すると態度と情報に対する思考態度との関連 岐阜県大垣市立牧田小学校 ○水 野 文 香
名古屋学芸大学 伊與田 万 実 #
名古屋学芸大学大学院 鈴 木 茜
名古屋学芸大学 今 井 正 司
- PF56** 児童版マインドセット尺度における妥当性の検討 名古屋学芸大学大学院 ○鈴 木 茜
春日井市立藤山台小学校 山 口 由 貴
名古屋学芸大学 伊與田 万 実 #
名古屋学芸大学 今 井 正 司
- PF57** 自己道德観および自己への慈しみと境界性人格障害傾向との関連 安城市立桜林小学校 ○田 中 夏 美
名古屋学芸大学 今 井 正 司
名古屋学芸大学大学院 鈴 木 茜
名古屋学芸大学 伊與田 万 実 #
- PF58** 中学生における注意制御能力とアパシー傾向および学校 QOL との関連 長久手市立南中学校 ○堀 口 万由子
名古屋学芸大学 伊與田 万 実 #
名古屋学芸大学大学院 鈴 木 茜
名古屋学芸大学 今 井 正 司
- PF59** 快・不快感情と学級生活満足感、学級集団効力感との関連 早稲田大学大学院 ○井 口 武 俊
早稲田大学 河 村 茂 雄
- PF60** 子どもの貧困を保育者および教職員はどう捉えているか (1)
— 貧困状況下の子どもの状態や子どもの困難の捉え方について — 北翔大学 ○飯 田 昭 人
北海道大学 水 野 君 平
北海道大学 加 藤 弘 通

自主
9/14

自主
9/15

自主
9/16

PA
9/14

PB
9/14

PC
9/14

PD
9/15

PE
9/15

PF
9/15

PG
9/16

PH
9/16

PF61	高校生の可能自己と学習意図の関係 (1) — ポジティブな可能自己の活性化が学習に及ぼす影響 —	上越教育大学大学院	浅 山 慧
PF62	子どもの喪失体験に伴う悲嘆と教師から受けた対応の研究 — 大学1年生の振り返りと小・中学校教師の対応の調査を通して —	筑波大学大学院 筑波大学	○加 藤 良 則 庄 司 一 子
PF63	看護系大学への進路選択および修学に関する調査 (1) — 高校生および高校教員のもつイメージ —	浜松医科大学 浜松医科大学 浜松医科大学 浜松医科大学 浜松医科大学	○坪 見 利 香 新 市 有 紗 # 川 間 めぐみ # 折 井 知 奈 都 # 村 田 早 希 #
PF64	人間関係の固定化に影響する地域クラスター間における子どもの社会性の比較 — 自治体統計を用いた検討 —	岐阜大学 岐阜大学	○高 橋 誠 吉 澤 寛 之

測定・評価・研究法

PF65	中学生がイメージする学習指導要領での道徳の内容項目 — 主として人との関わりに関すること —	関東学園大学	崔 玉 芬
PF66	創造性の測定方法に関する理論的妥当性	大阪大学大学院 大阪大学	○山 口 洋 介 三 宮 真 智 子
PF67	フィンランドの中学校英語教科書に関する一考察	長岡技術科学大学大学院 浦和大学	○伴 浩 美 皆 川 順

ポスター発表 G

第3日 9月16日(月・祝) 10:00~12:00

在席責任時間 奇数番号10:00~11:00 偶数番号11:00~12:00

発達

- | | | | |
|-------------|---|---|---|
| PG01 | 幼児期の情動発達と行動特徴との関連に関する研究 (1)
—情動の年齢別特徴— | 東北大学
宮城教育大学
石巻専修大学
東北学院大学 | ○本 郷 一 夫
飯 島 典 子
平 川 久美子
高 橋 千 枝 |
| PG02 | 幼児期の情動発達と行動特徴との関連に関する研究 (2)
—行動特徴と年齢との関連— | 宮城教育大学
石巻専修大学
東北学院大学
東北大学 | ○飯 島 典 子
平 川 久美子
高 橋 千 枝
本 郷 一 夫 |
| PG03 | 幼児期の情動発達と行動特徴との関連に関する研究 (3)
—情動発達と ADHD 傾向との関連— | 石巻専修大学
東北学院大学
東北大学
宮城教育大学 | ○平 川 久美子
高 橋 千 枝
本 郷 一 夫
飯 島 典 子 |
| PG04 | 幼児期の情動発達と行動特徴との関連に関する研究 (4)
—情動発達と ASD 傾向との関連— | 東北学院大学
東北大学
宮城教育大学
石巻専修大学 | ○高 橋 千 枝
本 郷 一 夫
飯 島 典 子
平 川 久美子 |
| PG05 | 学齢期の子どもの家庭学習・授業態度を子どもの
気質と母親の介入態度との観点から考える | 中京大学 | 水 野 里 恵 |
| PG06 | 重さの保存の縦断的研究 | 立命館大学 | 大 西 真樹男 |
| PG07 | 中学生を対象としたネガティブ感情への対処スキ
ルの獲得を目的とした研究 (2)
—SST の手法を参考にした介入の実施と効果— | 埼玉学園大学臨床心理
カウンセリングセンター
埼玉学園大学
埼玉学園大学 | ○和 気 淑 江
藤 枝 静 暁
藤 原 健 志 |
| PG08 | 現代青年における成長の機会を伴う好奇心の様相 | 関西学院大学大学院 | 竹 本 さ り |
| PG09 | 「学び」における人生目標の役割に関する研究
—大学生版人生目標尺度作成の試み— | 上智大学
上智大学 | ○王 小 双
廣 瀬 英 子 |
| PG10 | 高校生の進路選択プロセスに関する研究
—中国鄭州市を例として— | 東北大学
東北大学 | ○林 如 玉
倉 元 直 樹 |

教授・学習・認知

- | | | | |
|-------------|--|----------------------|---------------------|
| PG11 | 体制化された知識からの検索過程における「とび」
の問題
—制限連想課題を用いて— | 浦和大学
長岡技術科学大学大学院 | ○皆 川 順
伴 浩 美 |
| PG12 | 女子大学生の英単語保持成績の違いによる記憶方
略の効果の認知 | 神戸親和女子大学
関西福祉科学大学 | ○多 鹿 秀 継
堀 田 千 絵 |
| PG13 | 態度の視点を取り入れた学習相談プロセスモデル
の生成 | 筑波大学大学院
筑波大学 | ○児 玉 裕 巳
外 山 美 樹 |
| PG14 | 心理学は理系か文系か (1)
—理系学生を対象とした学問イメージ調査— | 北海道教育大学函館校 | 林 美都子 |

PG15	協働学習に対する児童・生徒の認識と学級適応感および学習行動の関連	新潟大学	一柳智紀
PG16	視覚障害者の就労スキル獲得及び上司の支援プロセス —できること・できないことの認識ギャップ—	筑波技術大学 筑波技術大学 筑波技術大学	○竹田加 下中藤 浩仁 # 宏
PG17	高校生におけるコンピテンシーと達成目標の関連 —批判的思考力と伝える力に着目して—	東京学芸大学 東京学芸大学 東京学芸大学	○扇押岸 原尾 貴恵 志吾学
PG18	先延ばし時にとっている行動の探索的検討 —課題成績との関連—	広島大学大学院 広島大学大学院 広島大学大学院	○桑長森 原柄田 るり明子 愛
PG19	再声化介入が英語テストに対する有効性認知に与える影響	東京外国語大学大学院	馬場正太郎
PG20	社会的事象の本質を捉える思考を促す介入について —学習者自らが性質を抽象化するためにはどのような発問が有効か—	東京大学大学院 東京大学	○青藤柳尚朗 藤村宣之
PG21	看護系大学低学年生における学習上のバーンアウトと学業的援助要請の関連	大阪市立大学大学院 奈良医科大学大学院 愛媛大学大学院 大阪市立大学大学院	○熊小藤三 谷竹村宮 たまき久美子 # 一美 # 有里 #
PG22	児童における100マス計算の脳血流変化 —右脳と左脳の比較—	成田国際福祉専門学校 聖徳大学	○倉持こころ 鈴木由美
PG23	感情制御と学習態度は中学2年生のテスト不安を低減するか？	広島大学 広島大学	○則湯武良英 湯澤正通
PG24	女子短大生に対するグループワークプログラム実践の試み（7）	(株)みどりトータル・ヘルス研究所 (株)みどりトータル・ヘルス研究所 京都光華女子大学短期大学部 相山女学園大学 信州大学 近畿大学 近畿大学 (株)みどりトータル・ヘルス研究所 (株)みどりトータル・ヘルス研究所	○白猪森高松近畿大藤林 井澤際岡原岡対田 卓孝しの平寛香奈也 # 歩司の平子奈也 # 敬子
PG25	読み手が考えるメールの好ましき評価尺度の作成 —社会人と大学生を対象として—	法政大学大学院	菊池理紗
PG26	授業後の子どもの振り返りの記述から「深い学び」を評価する —理解に対する教師の認識と評定の特徴—	東京大学大学院・ 日本学術振興会 東京大学 東京大学大学院・ 日本学術振興会 東京大学大学院・ 日本学術振興会 Vanderbilt University	○柴里実 植阪友理 太田絵梨子 福田麻莉 Rittle-Johnson, Bethany #
PG27	道徳ジレンマ課題における価値判断とMoral Disengagementとの関連	上越教育大学大学院 上越教育大学	○早坂太志 高橋知己
PG28	高校生の自己肯定感の向上を目的とした時間管理プログラムの実践 —認知行動療法的手法を用いて—	NPO ふくおか子どものこころ サポート研究所 九州産業大学	○山下雅子 稲田尚史

PG29	いじめにおいて予期される援助要請の利益・コストの差異	上越教育大学大学院 上越教育大学	○近藤 昌樹 高橋 知己
PG30	学習に関する完全性へのこだわりと目標志向性や達成動機との関係	広島大学 広島大学	○木村 早紀子 藤木 大介 #
PG31	成人期における英語学習の継続理由に関する質的研究	新潟県立高田高等学校 沖縄県立芸術大学	○永井 大円 城間 祥子

自主
9/14自主
9/15自主
9/16PA
9/14PB
9/14PC
9/14PD
9/15PE
9/15PF
9/15PG
9/16PH
9/16

社会

PG32	デートDVの認知的なプロセスに関する検討	昭和学院短期大学 大阪人間科学大学	○松野 真 鈴木 国威 #
PG33	教職科目履修生における職業への志向性	大阪観光大学	宮原 道子
PG34	高校生の勉強に対する価値と質問力の関連	愛知淑徳大学大学院 愛知淑徳大学	○松本 明日香 小川 一美
PG35	ノスタルジア体験における対比と反芻特性との関連	筑波大学大学院・ 日本学術振興会 筑波大学	○長峯 聖人 外山 美樹
PG36	非第1志望の学生が大学受験をとらえ直す可能性についての検討 —第1志望の学生との比較より—	広島大学	堀井 順平
PG37	大学でのキャリア教育は卒業時の就業に影響を与えるのか —制度的位置づけと就職先の企業規模の観点から—	追手門学院大学 追手門学院大学	○吉田 尚子 原田 子章
PG38	大学生の自立性と生き方志向との関連について —中日国際比較—	名城大学 名城大学	○王 之瑶 塩崎 万里

人格

PG39	Dark Triad が母子間での叱りの評価に及ぼす影響	関西大学	阿部 晋吾
PG40	中学生の将来に対するマインドセットと主観的幸福感との関連	石川県白山市立松任中学校	平 真由子

臨床

PG41	指導者によるスポーツ・ハラスメントを測定する尺度の開発 (2) —中学生対象の回顧的調査—	東京未来大学 東京未来大学 東京未来大学	○大橋 恵 井梅 由美子 藤後 悦子
PG42	障がい・疾患を有する家族をもつ子どもの精神的健康に関する一考察 —主観的なケア役割の程度と家族関係に着目して—	九州大学大学院 九州大学	○藤田 由起 遠矢 浩一
PG43	中学生で東日本大震災を経験した青年が捉えた学校の支援に関する研究 —中学校から大学・専門学校までの中長期の支援をふまえて—	盛岡市立山岸小学校 静岡大学	○高橋 花歩 小林 朋子

特別支援

- PG44** 発達障害児をもつ養育者が就学先の決定に向けて
前向きな感情を獲得する過程
— 周囲のサポートに着目して — 北海道大学大学院 熊谷 さくら
- PG45** 小学校の通常の学級に在籍する ASD 児に対する
周囲児の行動に関する研究 東京大学大学院 一柳 貴博

学校心理学

- PG46** Relative Autonomy Index による登校への動機づ
けの検討
— (1) 小学生について — 兵庫教育大学 ○五十嵐 哲也
信州大学 茅野 理恵
- PG47** Relative Autonomy Index による登校への動機づ
けの検討
— (2) 中学生について — 信州大学 ○茅野 理恵
兵庫教育大学 五十嵐 哲也
- PG48** 大学の相談室における学習支援に関する研究 (1)
— 学習支援が大学生に及ぼす効果 — 徳島文理大学 ○岡田 直樹
徳島文理大学 中 紗枝子
- PG49** 大学の相談室における学習支援に関する研究 (2)
— 学習支援が参加児童とその保護者に及ぼす影響 — 徳島文理大学 ○田中 紗枝子
徳島文理大学 岡 直樹
- PG50** 入学前後のストレスが通信制高校生徒の幸福
感に与える影響
— 不登校経験の有無という観点から — 東京未来大学 ○藤後 悦子
東京未来大学 平 部正樹 #
東京未来大学 小 林寛子
奈良女子大学 竹 橋洋毅
東京未来大学 藤 本昌樹 #
駒沢女子大学 藤 城有美子 #
秋田大学 北 島正人
- PG51** 援助要請が過剰な児童に関する調査研究
— 通級指導教室の教員に対する調査を通して — 東京学芸大学大学院 ○杉岡 千宏
東京学芸大学 橋 本創一
福岡教育大学 熊谷 亮
東京農工大学 三浦 也
東京都立中央ろう学校 廣野 巧政
東京学芸大学大学院 日 下 虎太郎
- PG52** “気になる子”の学級集団認知と Quality of Life の
関連
— Person Centered Approach の視点から — 関西大学大学院 ○山根 倫也
山口大学 押 江 隆 #
- PG53** 学級集団と児童理解のためのアセスメントツール
(C-SCT) の開発 上越教育大学大学院 ○石井 雄大
伊勢崎市立坂東小学校 品田 ゆき子
上越教育大学 高 橋 知己
- PG54** 合唱コンクールによる学級集団の変容に関する一
考察 上越教育大学大学院 ○丸山 貴則
上越教育大学 高 橋 知己
- PG55** 職場体験学習において事業所側が抱える課題につ
いての検討 上越教育大学大学院 ○嶋拓哉
上越教育大学 高 橋 知己
- PG56** 大学生における過去のネガティブ経験の肯定的意
味づけに至る過程とその支援
— ハーディネスの高低に着目して — 立命館大学大学院 ○高山 啓志
立命館大学 山 本 博樹

PG57 中学生のいじめ被害分類と対人関係の関連

北海道大学 ○舒 悦
北海道大学 加 太 藤 弘 通
常葉大学 太 田 正 義

自主
9/14

測定・評価・研究法

PG58 複数の英語文章を読解する項目における困難度の
規定因の検討

大学入試センター 寺 尾 尚 大

自主
9/15

PG59 感謝喚起手法の比較検討
—想起と筆記に焦点を当てて—

関西学院大学大学院 ○小 國 龍 治
関西学院大学 大 竹 恵 子

自主
9/16

PA
9/14

PB
9/14

PC
9/14

PD
9/15

PE
9/15

PF
9/15

PG
9/16

PH
9/16

ポスター発表 H

第3日 9月16日(月・祝) 13:00~15:00

在席責任時間 奇数番号13:00~14:00 偶数番号14:00~15:00

発達

- | | | | | | |
|-------------|---|--|--------|------|------------------------------|
| PH01 | 児童のセルフモニタリングと学校生活との関連 | 名古屋女子大学短期大学部
愛知淑徳大学
ならい心療内科
名古屋大学 | ○大谷吉田永 | 嶽橋倉田 | さと子
伊織
由香
さやか
雅子 |
| PH02 | 小学生のセルフモニタリングの発達の变化と安定性 | 愛知淑徳大学
名古屋女子大学短期大学部
ならい心療内科
名古屋大学 | ○谷大吉田永 | 嶽橋倉田 | 伊織
さと子
由香
さやか
雅子 |
| PH03 | 中学生の登校回避感情に与える要因の検討
—学校の規模・学年とストレッサー、及びソーシャルサポート— | 鹿児島大学大学院
鹿児島大学 | ○陳島 | | 燕群
義弘 |
| PH04 | うつ病の親を持つ子どもがヤングケアラー化し精神疾患を発症する場合 | お茶の水女子大学大学院 | | 佐藤 | みのり |
| PH05 | 高校生の親準備性の発達 | 京都大学大学院 | | 川畑 | 由美子 |
| PH06 | 大学生の所属サークル・部活動に対する認知がアイデンティティの実感としての充実感に与える影響
—時間的展望に着目して— | 早稲田大学
早稲田大学 | ○関河村 | | 大也
茂雄 |
| PH07 | 放課後児童支援員が考える「よい子」についての研究
—PAC分析を用いた個人別態度構造の検討を通して— | 姫路市立総合教育センター
鳴門教育大学 | ○勝部小倉 | | 惠美
正義 |
| PH08 | 青年期の恋愛に関するリスク認知尺度作成 | 和光大学大学院 | | 中村 | 悠里恵 |
| PH09 | 幼児期における手指の巧緻性と計算能力の関係についての基礎研究 | 四万十市立中村南小学校
高知大学 | ○喜多野 | | 真明
陽一郎 |
| PH10 | 中学生・大学生における“自認するキャラ”の種類と承認欲求・評価懸念との関連 | 北海道大学病院
常葉大学
北海道大学 | ○村太加 | 井田藤 | 史香
正義
通 |
| PH11 | 青年期に親を亡くした子どもの亡き親との対話について | 上智大学大学院
上智大学 | ○田横 | | 佳潤
恭子 |
| PH12 | 自閉スペクトラム症の症状形成モデルの考察
—ASDの適切な理解と支援のために— | こども発達支援センター | | 吉田 | 直人 |

教授・学習・認知

- | | | | | | |
|-------------|--|--|----------------|----|-----|
| PH13 | 看護学生に対するコーチングを活かした授業の効果 (1)
—レジリエンスとコーチングに対する自己効力感の変化に着目して— | 関西医科大学
ハートランドしぎさん
看護専門学校
関西医科大学 | ○西垣悦代
鳥羽きよ子 | | |
| | | | | 藤村 | あきほ |

PH14	看護学生に対するコーチングを活かした授業の効果 (2) — 学生の気づきの質的分析 —	ハートランドしぎさん 看護専門学校 関西医科大学 関西医科大学	○鳥 羽 きよ子 西 垣 悦 代 藤 村 あきほ	自主 9/14
PH15	暗黙の知能観と自尊感情が目標設定に及ぼす影響 — 他者共存場面での検討 —	弘前大学 株式会社 COLORS	○吉 中 淳 一 戸 慧利佳 #	自主 9/15
PH16	キャリア教育における振り返りの効果 — 一枚ポートフォリオ評価 (OPPA) を使用して —	山梨大学	原 瑞 穂	自主 9/16
PH17	表記による想起されるイメージの違い — 在日中国人留学生と日本人大学生の調査より —	広島大学 広島大学	○余 井 上 洋 弥	自主 9/16
PH18	小学校の外国語教育 — 言語への目覚め活動に着目して —	鎌倉女子大学大学院 鎌倉女子大学 鎌倉女子大学	○矢 島 由 和 佐 藤 淑 子 佐 治 伸 郎 #	PA 9/14
PH19	大学生における「ごまかし勉強」と授業特性の関連	滋賀大学	中 田 明 里	PB 9/14
PH20	大学院生の出来事への認知的評価とレジリエンス との相互関係について — トランスアクションル・モデルを基にした検討 —	早稲田大学 鳴門教育大学	○Deng Sixin 小 倉 正 義	PB 9/14
PH21	中学生はどのようなふり返しを行うか — 学習内容と学習方法に関する記述の分析から —	広島大学 広島大学	○小 角 真 歩 深 谷 達 史	PC 9/14
PH22	中国人留学生の進学における学習動機づけ・自己 調整学習方略とパフォーマンスの関連	東京学芸大学 東京学芸大学	○董 思 遠 犬 塚 美 輪	PD 9/15
PH23	素朴概念が修正された学習者はどのような説明活 動を行っているか — 提示事例の違いと比較して —	千葉大学大学院	山 田 将 太	PD 9/15
PH24	高校生の認知主義的・非認知主義的学習観と指示 依存志向が成績に与える影響 — 主な進路先が異なる学校間の比較 —	千葉大学大学院	岡 本 小 枝	PE 9/15
PH25	集団の自尊心と社会的比較志向性がネガティブな結 果フィードバック後の自尊心に及ぼす影響の検討	筑波大学大学院 立教大学	○重 村 菜 月 松 永 美 希 #	PF 9/15
PH26	中学校国語科の漢字指導を通じた生徒の意味理解 の実践的変容	株式会社リクルート	佐 伯 亜紗美	PG 9/16
PH27	対異文化態度尺度の作成と信頼性・妥当性の検討	東京外国語大学大学院	今 井 真 理	PG 9/16
PH28	内容の深まりを目指した作文指導法の開発	愛媛大学大学院 愛媛大学	○大 石 若 奈 富 田 英 司	PH 9/16
PH29	生徒がアウトプットする活動を取り入れた高校数 学授業 — 学びに向かう態度、深い理解、定期考査に及ぼ す効果の検証 —	神奈川県立鶴嶺高等学校 東京大学	○秋 澤 武 志 植 阪 友 理	PH 9/16
PH30	大学受験期における他者の支援と学習動機づけの 関連	横浜国立大学大学院 白梅学園大学	○川 中 紫 音 江 上 園 子	
PH31	教師が理想とする学級雰囲気に基づく学級内掲示 物の分類	北海道大学	高 橋 陸 斗	
PH32	発達に伴う学習観の変化とその要因	北海道大学大学院	小 幡 基	

PH33 地理教材における画像資料の大きさと配置が学習者の動機づけと理解度に及ぼす影響

北海道大学大学院
広島大学大学院
山口短期大学
○伊藤 藤 愛 里
森 田 愛 子
福 屋 いずみ

PH34 座席位置とエゴグラム及び情動知能の関係

日本薬科大学
奈良学園大学
奈良教育大学
日本薬科大学
日本薬科大学
○多根井 重 晴
岡 村 季 光
豊 田 弘 司
陳 田 福 士 #
安 西 和 紀 #

社会

PH35 ボランティア団体のリーダーシップの認知と満足感、コミットメントの関連の検討

早稲田大学大学院
早稲田大学
○遠藤 藤 勇 汰
河 村 茂 雄

PH36 宮崎県と佐賀県のいじめ防止に対する認識の比較

上越教育大学大学院
上越教育大学
○佐藤 藤 敦 望
高 橋 知 己

PH37 虐待の連鎖
—男女による比較—

東北大学
眞 田 英 毅

PH38 児童のテレビゲームの使用が社会性・攻撃性を与える影響
—ゲームを行う人数と社会性・攻撃性の関係—

千葉大学大学院
大 島 清 史

PH39 大学生における性役割観尺度の再構成

和光大学大学院
鬼 頭 和可奈

PH40 親密なグループ内でのいじめに対して現職教員が考えているいじめ発見方法の実態
—KH Coder と R を用いたネットワーク分析から—

上越教育大学大学院
上越教育大学
○石 田 俊 樹
高 橋 知 己

PH41 大学生の友人関係スタイルおよび居場所感が学校適応感に及ぼす影響

広島大学大学院
広島大学大学院
○森 下 俊 秀
吉 岡 真梨子

PH42 学校・教育現場でのセクシュアルマイノリティとカミングアウト

静岡産業大学
安田女子大学
○高 城 佳 那
藤 田 依久子

人格

PH43 知的好奇心と仮想的有能感の関連

早稲田大学
早稲田大学
○汀 逸 鶴
小 塩 真 司

臨床

PH44 大学生におけるべきの専制と不安との関連
—1次/2次コントロールの観点から—

名古屋大学大学院
香川大学
○芝 岡 啓 太
岡 田 涼

PH45 児童生徒における非構造的ダイエット行動に対する認知行動的特徴の影響の発達的变化

早稲田大学大学院
早稲田大学大学院
早稲田大学大学院
国際医療福祉大学
早稲田大学
○加藤 海 咲
小宮山 尚 菜
吉 田 遥 輝
輕 部 雄 徳
嶋 田 洋 徳

PH46 大学生活における自己効力感尺度作成の試み

武庫川女子大学大学院
東京学芸大学大学院
淑徳大学
千里金蘭大学
○椋 橋 由 衣
吉 田 梨 乃
守 谷 賢 二
斎 藤 富 由 起

PH47 ポジティブな事ほど簡単に覚えられると錯覚する
—個人差としての抑うつ傾向の検討—

法政大学大学院

高橋佳史

自主
9/14

特別支援

PH48 技術教育の作業学習における主体的学びと「段取り」に関する検討
—聴覚障害特別支援学校の全国調査から—

東京都立中央ろう学校
東京学芸大学
東京学芸大学
東京学芸大学
東京学芸大学大学院
東京学芸大学大学院
東京農工大学
福岡教育大学

○廣野政人
橋本一
林安紀子
梶井芳明
日下虎太郎
杉岡千宏
三浦巧也
熊谷亮

自主
9/15

自主
9/16

PH49 聴覚障害生徒の書いた論証的文章における書く力の特徴
—多数の言語要素による作文の分類と評価との関連から—

東京学芸大学大学院・
日本学術振興会
東京学芸大学

○新海晃
澤隆史

PA
9/14

PH50 子どもの願いを授業につなぐ「個別の指導計画」の検討
—児童の育ちをつなぐ個別の指導計画の書式づくり—

筑波大学附属
大塚特別支援学校
筑波大学附属
大塚特別支援学校
筑波大学附属
大塚特別支援学校
筑波大学
筑波大学

○高津梓
佐藤知洋 #
田上幸太 #
柘植雅義
米田宏樹 #

PB
9/14

PC
9/14

学校心理学

PH51 学校予防教育「TOP SELF」の最新第3世代の特徴
—教員の実施負担を軽減した新しい予防教育の授業スタイルについて—

鳴門教育大学
兵庫教育大学
鳴門教育大学
鳴門教育大学

○横嶋敬行
賀屋育子
内田香奈子
山崎勝之

PD
9/15

PE
9/15

PH52 本当の自己肯定感を育成する学校予防教育の実践
—徳島県藍住町での実践—

徳島県藍住町立藍住北小学校
鳴門教育大学
兵庫教育大学
鳴門教育大学
鳴門教育大学

○影山明日香
横嶋敬行
賀屋育子
内田香奈子
山崎勝之

PF
9/15

PH53 高校生に向けたストレスマネジメント教育 (SME)
実践研究の現状
—2000年以降に行われた SME 実践研究から—

東京学芸大学大学院
東京学芸大学
東京農工大学
東京学芸大学大学院
東京学芸大学大学院

○日橋虎太郎
橋本創一
三浦巧也
杉岡千宏
廣野政人

PG
9/16

PH54 Grit に関する失敗観と自己意識

春日井市立藤山台小学校
名古屋学芸大学大学院
名古屋学芸大学
名古屋学芸大学

○山口由貴
鈴木茜
伊與田万実 #
今井正司

PH
9/16

PH55 児童における自他への許し及び怒り対処行動と攻撃行動との関連

名古屋市立南陽小学校
名古屋学芸大学
名古屋学芸大学大学院
名古屋学芸大学

○野呂美優
伊與田万実 #
鈴木茜
今井正司

PH56	他者を思いやる心が身体能力の限界に及ぼす影響	日進市立北小学校 名古屋学芸大学大学院 名古屋学芸大学 名古屋学芸大学	○日下部 鈴木 伊與田 今井	由茜 実司
PH57	友人との付き合い方と友人満足度および本来感との関連	一宮市立浅井北小学校 名古屋学芸大学大学院 名古屋学芸大学 名古屋学芸大学	○野田真 鈴木未 伊與田万 今井正	茜実 司
PH58	校内授業研究における教師の知識ネットワーク —公立小学校における事例分析—	東京大学大学院	有井優太	
PH59	学級集団アイデンティティと協力行動を高める要因の検討 —「誇り」と「尊重」に着目して—	上越教育大学大学院	西村和代	
PH60	高校生における目標志向性と自己肯定感が無気力感に及ぼす影響	武庫川女子大学大学院 武庫川女子大学	○田中優子 玉木健弘	
PH61	小学校教員の二次元レジリエンスと協働的効力感の関係	関西学院大学大学院	松本慎也	
PH62	中学生の自己意識，同調傾向ならびに被異質視不安がいじめ加害傾向に与える影響	武庫川女子大学大学院 武庫川女子大学	○岡本健 玉木唯弘	
PH63	中学生の学校ストレスが学校享受感，攻撃性ならびにストレスコーピングについての検討	武庫川女子大学大学院 武庫川女子大学	○小谷優花 玉木健弘	
PH64	保育者の社会性と情動の学習（SEL-8N）の実施経験がプログラム達成度と子どもの社会性育成に対する効力感に及ぼす効果	島根県立大学 福岡教育大学	○山田洋平 小泉令三	

測定・評価・研究法

PH65	高校生のソーシャルスキルをイラストで測る新たなアプローチ	筑波大学 流通経済大学 筑波大学 筑波大学	○酒 井 智 弘 澤 海 崇 文 # 関 森 真 澄 # 相 川 充	
-------------	------------------------------	--------------------------------	---	--

発表者索引

注) 準企シ：準備委員会企画シンポジウム，研企シ：研究委員会企画シンポジウム，
ハ防企：ハラスメント防止委員会企画シンポジウム，J：自主企画シンポジウム，
P：ポスター発表を指す。なお，ポスター発表の太字は責任発表者を表す。
#印は会員以外の登壇者，連名発表者を示す。

— あ —

相 賀 啓太郎# PC45
相 川 充 PD37, PD38, PF39, PH65
會 津 律 治 PD23
青 木 多寿子 PA40, PA41
青 木 太 郎 PF29
青 柳 尚 朗 PD26, PG20
青 山 郁 子 JA04, JD01, PB59, PC59
青 山 征 彦 JC06
赤 澤 淳 子 PA55
赤 林 英 夫# PA10
秋 澤 武 志 PH29
秋 田 喜代美 JD04, JE08
浅 井 淳 PC27
朝 妻 恵里子# JE01
浅 野 良 輔 PC40
浅 山 慧 PF61
芦 谷 道 子 JB08
安 達 啓 介# PE40
安 達 未 来 PE40
油 川 さゆり PF11
阿 部 晋 吾 PG39
天 井 響 子 PD63
網 谷 綾 香 JH04
綾 城 初 穂 PF47
綾 部 宏 明 PF25
荒 井 和 之# PC54
荒木田 美香子# 準企シ2
荒 谷 容 子 PC09
有 井 優 太 PH58
有 門 秀 記 JC01
有 馬 道 久 JE06, JF03
有 村 美 和# JB06

有 元 典 文 PD15, PD16, PD17, PD18
アレン玉井光江 PB30
栗 津 俊 二 PD44
安 西 和 紀# PH34
安 藤 史 高 PC24, PE36, PE37

— い —

李 榮 PC14
飯 島 典 子 PG01, PG02, PG03, PG04
飯 島 博 之 JA02, JB04
飯 島 有 哉 JD03
飯 田 昭 人 PF60
飯 田 順 子 JA04, JC04, PB59
井 梅 由美子 PE48, PG41
家 島 明 彦 JB01, JH03
五十嵐 哲 也 PA44, PC59, PG46, PG47
生 田 淳 一 JC08
井 口 武 俊 PF59
池 上 知 子 研企シ2
池 田 まさみ JC05
池 田 幸 恭 PC07
池 本 駿# PA10
猪 澤 歩 PG24
石 井 謙次郎# 準企シ2
石 井 健太郎# PB03
石 井 英 真# JE02
石 井 秀 宗 JE07
石 井 雄 大 PG53
石 井 佑可子 JG05
石 井 僚 PF38
石 上 浩 美 PC06
石 川 隆 行 PF01, PF02

石 川 奈保子 JB03
石 川 有 香 PC27
石 黒 広 昭 JF04
石 毛 純 子# JH07
石 毛 順 子 PC26
石 田 拓 矢 PF17
石 田 俊 樹 PH40
石 田 靖 彦 PA53
石 橋 太加志 PA57
石 橋 優 美 JE07, PD26
井 島 素 子# JB06
石 本 志 穂# JD01
石 本 雄 真 JD01, JH02
伊 住 継 行 PB57, 研企シ2
井 芹 ま い PD45
磯 裕 子# PF02
磯 村 陸 子 PA52
磯 和 壮太朗 PF42
板 澤 健 一# JG01
市 川 哲 JC01, PC54
市 川 伸 一 JC03, 準企シ6
市 川 めぐみ# PF63
一 戸 慧利佳# PH15
市 本 早 香 PB35
一 柳 貴 博 PG45
一 柳 智 紀 JD05, JE01, PG15
一 色 翼 PC53
伊 藤 愛 里 PH33
伊 藤 亜矢子 JA04
伊 藤 康 児 PF05
伊 藤 貴 昭 JC02
伊 藤 崇 JF03
伊 藤 崇 達 JB07
伊 藤 朋 子 PC29
伊 東 和# JH07
伊 藤 尚 枝 PD29

伊藤大幸 JD08
 伊藤美奈子
 PA42, PB47, PD46, PE45
 伊藤優 **PE22**
 稲垣勉 PD24
 稲川知美# PF02
 稲田達也 JG03, PB26
 稲田尚史 PG28
 犬塚美輪
 JB03, JH05, **PC15**, PH22
 井上清子 **PE04**
 井上弥 PH17
 井ノ崎敦子# PA55
 荊木まき子 **PB60**
 今井正司
 PF55, PF56, PF57, PF58,
 PH54, PH55, PH56, PH57
 今井真理 **PH27**
 今井むつみ 研企シ4
 今村三千代 **PF40**
 伊與田万実#
 PF55, PF56, PF57, PF58,
 PH54, PH55, PH56, PH57
 入江優子# JC07
 岩木信喜 PB24
 岩田美保 **PB07**
 岩野孝之# PD14
 岩渕将士 **PE47**
 岩間徳兼 JH08
 岩谷千晴# PB31

— う —

宇恵弘
 PB36, **PB37**, PB38
 植草一世# PF13
 植阪友理
 JE05, JF06, PG26, PH29
 上田敏丈 PA46, **PF04**
 上野淳子 **PA55**
 上畠洋佑# PD32
 上淵寿 PE60
 植松公威 **PA28**
 上山瑠津子 PB23
 魚崎祐子 JB07
 宇佐美慧 研企シ1
 牛久香織 **PE19**
 白井卓也 **PG24**

宇宿公紀# PC38
 宇田光 JC01
 内田香奈子
 JB08, PD57, PH51, PH52
 内田千春 PB06
 内田照久 **PC65**
 内田伸子 研企シ4, 準企シ3
 内田治子 **PC66**
 内田良# ハ防企
 内山逸子 PA48
 内海緒香
 JF05, **PC57**, PD14
 梅崎修# PC20
 梅田真理# PB53
 梅津祐介# PB63
 梅本貴豊 PB27, **PD24**
 梅山佐和# JC07
 漆畑典子 **PD64**

— え —

江上園子 **PC04**, PH30
 江崎由里香 **PF08**
 枝廣和憲 PB60
 江南健志 JA02
 蛭名正司 JE07, **PC31**
 遠藤利彦 JG05
 遠藤寛子 JA04, PB59
 遠藤勇汰 **PH35**

— お —

及川智博 **PF12**
 王之瑤 **PG38**
 王小双 **PG09**
 扇原貴志 PE32, **PG17**
 大家まゆみ **PB22**
 大石若奈 PB35, **PH28**
 大内善広
 PB34, PD34, **PF03**
 大内里紗 **PE20**
 大浦邦彦# PE46
 大賀哲# PD28
 大川真知子 JE03, PF50
 大久保賢一# JA01, 研企シ3
 大久保智生
 JE06, JF02, **PD40**
 大佐賀諒# PC17

大崎博史 JH07
 大島清史 **PH38**
 大島みずき **PC11**
 太田礼穂 JC06
 太田絵梨子
 JC03, JF06, PG26
 太田仁 **PB41**
 太田正義
 PA45, PD47, PG57, PH10
 大竹恵子 PG59
 大嶽さと子 **PH01**, PH02
 大谷和大 PC55
 大谷哲弘
 JG08, **PF51**, PF52
 大谷宗啓 **PC05**
 大津悦夫 JG06
 大津嘉代子 **PE33**
 大対香奈子
 JA01, JF02, PG24
 大塚貴之 JG03
 大塚雄作 ハ防企
 大月友# JD03
 大西彩子 PD58
 大西真樹男 **PG06**
 大西美香子 **PF05**
 大橋恵 PE48, **PG41**
 大林真也# JH08
 大渕憲一# 研企シ2
 大森良平 **PF53**
 大山智子 PC03
 大山宏# JF01
 岡隆 準企シ2
 岡直樹
 PB19, **PG48**, PG49
 岡田郁子 **PF10**
 岡田謙介 JE02
 岡田猛 JF04
 岡田努 **PB44**
 岡田真由子 **PE51**
 岡田有司
 JF02, JH01, **PC23**
 岡田涼
 JB03, JE02, **PA56**, PH44
 尾形和男 PA04
 岡部大介# JC06
 岡部帆南 **PE49**
 岡村季光 PH34
 岡本小枝 **PH24**

岡 本 尚 子	JH04	香 川 秀 太	JF08	輕 部 雄 輝	PH45
岡 本 泰 弘	PA49	柿 沼 美 紀	PB67	川 上 正 浩	PA50
岡 本 唯	PH62	鹿 毛 雅 治	JD04, 準企シ6	川 崎 聡 大 #	JG07
岡 安 朋 子	JC04	影 山 明日香	PH52	川 崎 知 已	JC04, PB59
小 川 一 美	PG34	梶 井 大 輔 #	JE04	川 島 哲	PD30
小 川 翔 大	PE39	風 間 文 明	PD43	川 田 拓 #	JG07
小 川 修 史 #	PB53	梶 井 芳 明		川 名 る り	PD18
小 川 美 樹 #	PB29	JG02, JH06, PB32, PF19, PH48		川 中 紫 音	PH30
小 川 亮	PA18	梶 原 和 子 #	PE35	川那部 隆 司	PE12, PE13
小川内 哲 生	PA09	檜 原 潤	PF43, 準企シ5	河 野 麻沙美	JF03
荻 野 昌 秀	PE50	梶 原 直 樹	PE35	川 畑 由美子	PH05
荻 原 はるみ	PA46	粕 谷 貴 志	PC52	川真田 早 苗	JG04
奥 井 智一朗	PB64	片 瀬 拓 弥	PC34	川 俣 智 路	JF02
奥 田 亮 #	PA50	勝 浦 眞 仁	PA46	河 村 明 和	PE63
奥 田 裕 紀	PA32	勝 部 恵 美	PH07	河 村 昭 博	PD59
奥 田 雄一郎	PB18	桂 川 泰 典	JD03	河 村 茂 雄	JB02, JD02,
小 國 龍 治	PG59	桂 田 恵美子	PB10	PD45, PD56, PD59, PE17, PE61,	
奥 村 太 一	PD48	加 藤 陽 子		PF24, PF59, PH06, PH35, 研企シ3	
奥 村 高 明 #	JC06	JD03, PB51, PB52		神 崎 真 実	JF02
奥 村 尚 浩	PF54	加 藤 尚 吾 #	PC38	神 澤 克 徳 #	PE67
小 倉 正 義		加 藤 宏	PG16	神 田 まほろ	PD13
PC48, PH07, PH20		加 藤 弘 通	PA45, PD47,	菅 野 純	JD03, JG08
尾 崎 仁 美	PB28	PE62, PF60, PG57, PH10			
小 澤 貴 史	PA58	加 藤 海 咲	JG08, PH45		
小 沢 日美子	PB11	加 藤 由 樹	PC38		
押 江 隆 #	PG52	加 藤 幸 久	PF05		
小 塩 真 司	PH43, 研企シ1	加 藤 良 則	PF62		
押 尾 恵 吾	PE32, PG17	金 岡 幸 江 #	JE05		
小 田 雄 仁 #	JH01	金 沢 緑	JG04		
小 田 真 実	PE58	金 子 幾之輔	PC35		
小 田 友理恵 #	PA35	金 子 恵美子	PB47		
小田部 貴 子	JF08	金 子 楓	PE01, PE02		
小 野 淳	JA02	金 子 功 一	PF13		
小 野 健太郎	PE24	金 子 智栄子	PE14, PF13		
小 野 學	JC07	金 子 智 昭	PD54, PE14		
小野田 亮 介		金 子 典 子	PC35		
JE07, PB14, 準企シ6		金 子 一 史	PB01, PB02		
小 幡 基	PH32	金 子 雅 臣 #	八防企		
大日方 重 利	PB39	金 子 泰 之	PB62		
尾 見 康 博	八防企	金 綱 知 征	JG01		
小 山 義 徳	JC08, JD07	金 丸 隆 太 #	PE51		
折 井 知奈都 #	PF63	鎌 田 雅 史	PE22, PF33		
織 田 涼	PA23	上 西 秀 和 #	JE05		
		上 村 慎 吾 #	JD05		
		亀 倉 正 彦	PE27		
		賀 屋 育 子			
		PD57, PH51, PH52			
		菊間澤 勇 人	JD02		

— か —

海 沼 亮
JF07, PC01, PC02

— き —

木 内 綾 香 # PB32
 菊 島 勝 也 # JF01
 菊 池 聡
 PA33, PA34, PF27
 菊 池 知 美 PD49
 菊 池 理 紗 PG25
 木 澤 利英子 PD31
 岸 俊 行 JE06, PD42
 岸 学 PE32, PG17
 岸 野 麻 衣 JA05, PB56
 喜 多 真 明 PH09
 北 島 正 人 PD48, PG50
 北 出 勝 也 # JA02
 北 村 明香里 # PC46
 北 山 裕 子 # PA55
 鬼 頭 和可奈 PH39
 木 野 和 代 PB06
 木 下 弘 基 PD47
 木 下 雅 博 PD58
 木 村 早紀子 PG30
 木 村 淳 子 # 研企シ4
 木 村 優 JA05
 木 谷 秀 勝 # JB05

— く —

日下 虎太郎 PD51, PG51, PH48, **PH53**
 日下部 由 **PH56**
 草薙 邦 広 PB34, PD34
 草場 実 **PD68**
 楠 見 孝 JC02, JF03, **PA14**, 研企シ4
 楠 見 友 輔 **PF48**
 工 藤 弘 **PC54**
 工 藤 与志文 PE15
 久保田(河本)愛子 JG05, **PC63**
 熊 井 将 太# JE02
 熊 谷 圭二郎 JD02, **PE17**
 熊 谷 さくら **PG44**
 熊 谷 たまき **PG21**
 熊 谷 龍 一 **PD67**
 熊 谷 亮 JG02, PG51, PH48
 棕 橋 由 衣 **PH46**
 倉 持 ころ **PG22**
 倉 元 直 樹 **PA62**, PG10
 倉 盛 美穂子 **PB23**
 栗 田 季 佳 **PD50**
 栗 原 慎 二 PB66
 栗 原 治 子# JH05
 黒 川 雅 幸 **PB58**, 準企シ4
 黒 木 美和子 **PD15**
 黒 沢 学 **PA29**
 桑 野 隆# JE01
 桑 原 千恵子# JC04
 桑 原 る り **PG18**
 郡 司 菜津美 JC06, PD17, **PD25**

— け —

解 良 優 基 PC25, **PE09**

— こ —

古 池 若 葉 **PA30**
 小 泉 令 三 JF02, PC62, PH64
 江 聚 名 **PF26**
 高 坂 康 雅 **PC08**
 河 内 歩 美 **PF19**

糠 野 亜 紀 **PE43**
 光 本 弥 生# **PB23**
 小 澤 基 弘# JF08
 越 川 房 子 PE44
 小 角 真 歩 **PH21**
 小 関 俊 祐 JG08
 小 平 英 志 PC24
 小 高 佐友里 JD01
 小 竹 久実子# PG21
 小 谷 優 花 **PH63**
 児 玉 佳 一 **PE26**
 児 玉 裕 巳 **PG13**
 児 玉 真樹子 **PD12**
 児 玉 靖 司# JD06
 後 藤 晶# JD06
 後 藤 聡 **PA22**
 後 藤 靖 宏 **PF15**
 小 西 章 典# PC27
 古 野 公 紀# PA10
 小 浜 駿 **PE41**
 小 林 禎 明 PA48
 小 林 朋 子 **PA44**, PG43
 小 林 春 美# 研企シ4
 小 林 寛 子 JC03, PG50
 小 林 正 幸 JB05
 小 松 佳代子# JF04
 小 松 孝 至 JH08, PC44
 小 松 和 佳 **PD04**
 小宮山 尚 PH45
 米 田 英 嗣 JC05
 子 安 増 生 準企シ5
 小 山 悟# JC08
 紺 田 広 明# PD32
 近 藤 武 夫# PB53
 近 藤 昌 樹 **PG29**
 今 野 紀 子 **PC21**, PE66
 今 野 博 信 **PE56**

— さ —

崔 玉 芬 **PF65**
 齋 藤 慈 子 PE06
 齋 藤 彩 **PE11**
 齋 藤 彩 乃 JG08
 齋 藤 恵 介# PD68
 齋 藤 富由起 JA02, JB04, PH46
 齋 藤 信 **PC10**

齊 藤 勝 JB02
 齋 藤 謁 **PA37**
 佐 伯 亜紗美 **PH26**
 酒 井 邦 嘉# 準企シ3
 酒 井 恵 子 PC44
 酒 井 智 弘 **PH65**
 坂 田 浩 之# PA50
 坂 田 充 範# PD32
 坂 本 篤 史 JD05
 坂 本 修 子# PF01
 坂 本 真 士 PF43, 準企シ5
 坂 本 美 紀 JC02, **PA31**
 坂 本 理 香 **PC58**
 相 良 順 子 PA25, **PB08**
 阪 脇 孝 子 PE33
 崎 濱 秀 行 PB15, **PB16**, PB17
 先 光 毅 士# PE50
 佐久田 祐 子# PA50
 櫻 井 茂 男 PD06
 桜 井 美 加 **PE46**
 櫻 田 淳# 準企シ2
 佐々木 真 吾 **PD11**
 佐々木 宏 之 **PF07**
 笹 田 哲# JB04
 笹 森 洋 樹 JH07
 笹 屋 孝 允 **PF36**
 佐 治 伸 郎# PH18
 佐 竹 真由子# JD01
 佐 藤 敦 望 **PH36**
 佐 藤 研一郎# PA26
 佐 藤 浩 一 **PA24**
 佐 藤 修 哉 JA03
 佐 藤 誠 子 **PC33**, PF22
 佐 藤 知 洋# PH50
 佐 藤 友 美 PD19, PD20, **PD21**

佐 藤 奈 月 PE62
 佐 藤 広 英 **PA33**, PA34
 佐 藤 みのり **PH04**
 佐 藤 有 耕 **PB03**
 佐 藤 淑 子 PH18
 真 田 穰 人 **PB54**, PB66
 真 田 英 毅 **PH37**
 澤 隆 史 PH49
 澤 海 崇 文# PH65
 澤 田 英 輔# JE02
 澤 邊 潤 **PB63**

三 波 千穂美# PB33
三 宮 真智子 JH07, PD35, PF66
三 宮 有 里# PG21

— し —

椎 名 乾 平 PA63, 研企シ1
シェパード クリス# JD07
塩 崎 万 里 PG38
式 部 陽 子# PB53
繁 梲 算 男 PA10, 準企シ3
重 松 宏 規# PB65
重 村 菜 月 PH25
品 田 ゆき子 PG53
篠ヶ谷 圭 太

JC03, PD31, 準企シ1, 準企シ6

篠 田 晴 男# JG07
篠 原 郁 子 JG05
芝 啓 太 PH44
柴 里 実 JF06, PG26
柴 恭 史# JE04
芝 崎 美 和 PA05, PD08
芝 崎 良 典 PA05, PD08
渋谷 郁 子 PE12, PE13
嶋 拓 哉 PG55
嶋 義 弘

PD13, PE07, PH03

嶋 井 哲 志 PB36, PB37, PB38, PC61, PE38
嶋 寄 仁 恵 JH02
嶋 田 英 昭 PB33
嶋 田 洋 徳

JG08, PF46, PH45

嶋 津 直 実 PE44
嶋 貫 静 PC17
嶋 宗 理 研企シ3
清 水 優 菜 PE14, PF28
下 岡 奈 央# PA53
下斗米 淳 JF01
下 村 淳 子 PA55
首 藤 敏 元 PC03
舒 悦 PA45, PG57
肖 雨 知

JF07, PC01, PC02

庄 司 一 子 PD65, PF62
庄 司 正 実# PF17
東海林 麗 香 JH01, PB61

莊 島 宏二郎 研企シ1
田 佳 潤 PH11
城 一 樹 PE52
白 水 始 JC08
城 間 祥 子 JC06, PG31
新 海 晃 PH49
神 長 伸 幸 JF03
進 藤 聡 彦 PA19
新 間 有 紗# PF63

— す —

菅 井 篤 PE18
菅 谷 充 JB01
菅 原 ますみ PE11
杉 岡 千 宏 JH05, PD51, PG51, PH48, PH53
杉 崎 雅 子 JB06
杉 澤 武 俊 JH08
杉 本 希 映 JA04, PB59
杉 本 英 晴

PD19, PD20, PD21

杉 山 佳菜子 PE53, PE54, PE55
杉 山 智 風# JG08
鈴木 茜 PF55, PF56, PF57, PF58, PH54, PH55, PH56, PH57
鈴木 明 夫 PD44
鈴木 悦 子 PB08
鈴木 薫 PB60, PD53
鈴木 国 威# PG32
鈴木 豪

JE07, PD26, 準企シ1

鈴木 寛# 準企シ2
鈴木 賢 男 PB25
鈴木 雅 之 研企シ1, 準企シ1
鈴木 美枝子 PD07
鈴木 由 美 JG03, PB26, PD62, PD64, PF40, PG22
須 永 真佐恵# PA24
角 南 なおみ PC49
住 岡 恭 子 PD03

— せ —

瀬 尾 美紀子 JC03, 準企シ6
関 大 也 PH06

関 陽 子 PC64
関 森 真 澄# PH65
瀬 戸 淳 子 PA01, PA02

— そ —

曾 山 和 彦 PA61

— た —

大 道 一 弘 PB27
平 真木夫 PB20
平 真由子 PG40
高 史 明# 研企シ2
高 岡 し の PG24
高 垣 マユミ PF16
高 城 佳 那 PB39, PH42
高 木 紀久子# JF04
高 木 邦 子 PE36, PE37
高 木 悠 哉# JE04
高 島 啓 志 PG56
高 田 治# 準企シ2
高 田 直 樹 PC36, PC37
高 田 治 樹 PC36, PC37
高 津 梓 PH50
高 橋 あ い JE03, PF50
高 橋 晃 雄# JG04
高 橋 幾 JB02
高 橋 功 PB24
高 橋 慈 子# PB33
高 橋 尉# PC43
高 橋 千 枝

PG01, PG02, PG03, PG04

高 橋 智 子 PD65
高 橋 知 音 JG07, PA47
高 橋 知 己 PG27, PG29, PG53, PG54, PG55, PH36, PH40
高 橋 尚 子# PB33
高 橋 花 歩 PG43
高 橋 秀 明 PB43
高 橋 麻衣子 PC12, PC13
高 橋 誠 PF64
高 橋 佳 史 PH47
高 橋 陸 斗 PH31
高 平 小百合 JB07, PC43
高比良 美詠子

PD19, PD20, PD21

高 間 祐 治# JA05

田 上 幸 太# PH50
 高 柳 伸 哉 JD08
 高 山 智 **PA43**
 高 山 瑞 己 PA40, **PA41**
 滝 口 圭 子 JE08, **PB05**
 瀧 澤 純 **PA13**, 準企シ4
 瀧 澤 悠# JH02
 田 口 久美子 JG06
 田 倉 さやか PH01, PH02
 竹 下 浩 **PG16**
 武 田 美 亜# 準企シ4
 竹 橋 洋 毅 JE04, **PB36**,
 PB37, PB38, PE38, PG50
 竹 本 さ り **PG08**
 竹 本 晴 香 JA02
 田 澤 実 **PC20**
 多 鹿 秀 継 **PG12**
 田 島 充 士 JE01, JF08
 田 嶋 大 樹# JC07
 橋 春 菜 JE07
 田 爪 宏 二 JE08, **PF16**
 楯 誠 **PB13**
 館 野 峻# JF01
 田 中 あゆみ PF26, 準企シ1
 田 中 いずみ **PD62**
 田 中 瑛津子 JC02, JD07
 田 中 希 穂 **PB09**
 田 中 紗枝子 PG48, **PG49**
 田 中 夏 美 **PF57**
 田 中 仁# PG16
 田 中 優 子 **PH60**
 田 中 善 大 JA01
 棚 倉 未 弥 PA48
 谷 伊 織 PH01, **PH02**
 谷 美也子# JH07
 谷 口 祥 広 **PB49**
 多根井 重 晴 **PH34**
 田野邊 涼# PF02
 太 幡 直 也 **PF37**
 玉 井 颯 一 PC40
 玉 木 健 弘
 PH60, PH62, PH63
 玉 木 宗 久 JG02
 田 村 充# PA24
 田 村 恭 久# JD06

— ち —

チェン オーハオ# JD07
 千 田 国 広# PC38
 茅 野 理 恵 PG46, **PG47**
 町 支 大 祐# JH04
 陳 燕 群 **PH03**
 陳 福 士# PH34

— つ —

柘 植 雅 義 PE49, PH50
 辻 義 人 **PC19**
 辻 谷 真知子 **PF32**
 津 田 恭 充

PB36, PB37, PB38

椿 田 貴 史 **PE27**
 坪 見 利 香 **PF63**

— て —

出 口 拓 彦 **PA54**
 寺 尾 敦 JD06, JH08
 寺 尾 尚 大 **PG58**
 寺 川 志奈子 **PB12**
 寺 本 妙 子 **PE10**

— と —

董 思 遠 **PH22**
 Deng Sixin **PH20**
 湯 立
 PC01, PC02, **PE30**
 藤 後 悦 子
 PE48, PG41, **PG50**
 藤 間 友里亜 **PF45**
 堂 山 亞 希# JG02
 遠 矢 浩 一 PG42
 時 任 隼 平# JD05
 徳 岡 大 PB34, **PD34**
 徳 田 克 己
PA38, PC42, PC51
 徳 珍 温 子 **PC46**
 都 倉 さゆり# PA31
 戸 田 有 一 JG01, JH03
 刀 禰 豊 **PD52**
 利根川 明 子 JG05
 鳥 羽 きよ子 PH13, **PH14**

登 張 真 稲 **PC03**
 土 肥 紳 一 PC21, **PE66**
 富 田 英 司
 JE06, **PB35**, PH28
 富 永 敦 子 PB33
 富 山 尚 子 **PB04**
 外 山 美 樹 JF07, **PC01**,
 PC02, PE30, PF45, PG13, PG35
 豊 沢 純 子 **PE38**
 豊 田 弘 司

PA20, PH34, 研企シ3

鳥 居 深 雪 **PB53**
 鳥 海 楓 華 **PA11**, PA12

— な —

名 尾 典 子 PC03
 中 井 大 介 PB58
 永 井 智 **PC47**
 永 井 大 円 **PG31**
 永 井 弘 人 **PE28**
 中 石 ゆうこ# 研企シ4
 長 柄 明 PG18
 長 尾 貴 志# PC45
 中 川 正 宣# JE05
 中 島 健一郎 PD34
 中 島 泰 葉 PF09
 中 田 明 里 **PH19**
 中 田 明 香 **PF49**
 永 田 雅 子

PB01, PB02, PH01, PH02

長 田 瑞 恵 **PA03**
 中 西 良 文 **PB27**
 中 西 亮 介# PA43
 中 野 早 苗# JB06
 中 野 美 香 **PC30**
 長 野 祐一郎# JF03
 長 峯 聖 人

JF07, PC01, PC02, **PG35**

中 村 光 伴 **PB21**
 中 村 悠里恵 **PH08**
 中 村 涼 **PB19**
 中 村 玲 子 PE44
 中 室 牧 子# 準企シ3
 仲 谷 佳 恵# JE05
 中 谷 素 之 JB03, JF07
 長 谷 和 久# JF07
 中 山 晃 PB35

中山実 PF27
中山留美子 PC25, PF38
永山貴洋 PF22
奈須正裕 JF06
名取洋典 PC18
成田亜希 PE29

— に —

新川拓哉# PA35
仁木和久 JF05, PD14
西尾祐美子 PB53
西岡美和 PC44
西垣悦代 PH13, PH14
西口利文 JC01
西田千寿子 JH02
西田奈央# PB67
西館有沙
PA38, PC42, PC51
西野泰代
JG01, PB45, PB46
西村和代 PH59
西村多久磨 PD06
西村雅永# PD32
西村実穂 PA38, PC42
西森章子 PC16
西山久子 JC04
二宮克美
PE53, PE54, PE55
牛湫童# PB67
庭山和貴 JA01

— の —

納富涼子 JE02
野上俊一 PD39
野口隆子 JE08
野口裕之 PD67
野崎秀正 JH06
野崎茉莉 PE06
野崎優樹 PF35
野澤義隆 PF03
野瀬出 PB67
野田真未 PH57
野田航 JA01, JH05
野中俊介 PF46
野中陽一朗
JE06, JH06, PC32, PH09

野々山良介# PE46
延原拓見# PA41
野村和孝 JG08
野邑健二 PB01, PB02
野村亮太 JF08, PD27
則武良英 PG23
野呂美優 PH55

— は —

河美善# JC07
南風原朝和 準企シ1
萩原建次郎# JF01
萩原康仁
PB34, PD34, PD66, PF03
橋村晴美 PE21
橋本創一 JG02, JH05,
PD51, PG51, PH48, PH53
橋本博文 PE57
橋本由里 PC61
秦野悦子 PA01, PA02
羽藤由美# PE67
羽鳥晋# JG01
馬場正太郎 PG19
馬場久志 JG06, PA36
濱口佳和 PE01, PE02
浜田恵# JD08
濱田里羽 PC22
早川恵子 JB05
早坂太志 PG27
林安紀子 PH48
林敬子 PG24
林創 JC05
林美都子 PG14
林洋一郎# PF07
林龍平
PB15, PB16, PB17
原瑞穂 PH16
原田章 PG37
原田恵理子
JE03, PA60, PB45, PB46
原田克己 JB05
原田敬文 JG03
原田増廣 JG03
原田宗忠 PB58
原田勇希
PD68, PE65, PF30
伴浩美 PF67, PG11

半澤礼之 JF02, JH01

— ひ —

東原文子 PA11, PA12
樋口宏治# PF34
久坂哲也 PC28
久光克樹# PA31
ヒュース由美# PD27
兵藤宗吉 PA26
平井由佳# PC61
平石賢二 PD01, PD02
平川久美子
PG01, PG02, PG03, PG04
平澤傑 PC28
平田陽香# PA30
平田祐太朗 JA03
平沼晶子 PD22
平林ルミ PC12, PC13
平部正樹# PG50
廣瀬英子 PG09
広瀬拓海 JC06
廣野政人
PG51, PH48, PH53

— ふ —

深沢和彦
JB02, PC60, 研企シ3
深谷達史
JE05, JF06, PH21
福井龍太# JC01
福迫徳人# PD32
福田佳織 PA04
福田麻莉
JF06, PE23, PG26
福田由紀 PA21
福富隆志 PF21
福元理英 PB01, PB02
福屋いづみ PH33
藤桂 PC53
藤井靖# JD03
藤井義久 PA51
藤江浩子 JG04
藤江康彦 JH06
藤枝静暁
JA01, PD37, PD38, PG07
藤木大介# PG30

伏木田 稚 子 **PF23**
 藤 澤 文 **PE08**
 藤 澤 啓 子 **JH08**
 藤 城 有美子# **PG50**
 藤 田 依久子 **PB39, PH42**
 藤 田 正 **PB15, PB16, PB17**
 藤 田 勉 **JB03**
 藤 田 昌 也# **PG24**
 藤 田 由 起 **PG42**
 藤 田 豊 **JE07**
 藤 田 和加子 **PC46**
 藤 谷 智 子 **PE03**
 藤 谷 弥 生# **JG01**
 藤 村 あきほ **PH13, PH14**
 藤 村 一 美# **PG21**
 藤 村 宣 之 **JD05, JE07, PG20**
 藤 村 まこと **PD28**
 藤 本 昌 樹# **PG50**
 藤 本 優 紀 **PC48**
 藤 森 裕 紀 **PF18**
 藤 原 和 政 **PC52**
 富士原 紀 絵# **JF05, PD14**
 藤 原 健 志 **PD37, PD38, PG07**
 藤 原 寿 幸 **PD56**
 布 施 光 代 **JB07, PC24**

— ほ —

Hou Yuejiang **PE65**
 保 坂 亨 **JH01**
 細 川 美 幸# **JH04**
 細 谷 一 博 **PC50**
 細 矢 智 寛# **JB03**
 堀 田 香 織 **JH05, PF49**
 堀 田 千 絵 **PG12**
 堀 井 順 平 **PG36**
 堀 口 康 太 **JC07**
 堀 口 万由子 **PF58**
 堀 場 裕紀江 **PC14**
 本 郷 一 夫 **PG01, PG02, PG03, PG04**
 本 田 彩 夏# **PE52**
 本 田 周 二 **PD32**
 本 田 真 **JD02, PE61**
 本 田 真 大 **JA03**

本 間 優 子 **PC45**

— ま —

前 川 圭一郎# **PE50**
 前 川 眞 一# **JE05**
 前 田 楓# **PE57**
 牧 郁 子 **PB48, 研企シ3**
 牧 田 秀 昭# **JA05**
 牧 野 幸 志 **PE34**
 正 木 郁太郎# **準企シ5**
 真 下 知 子 **PD35**
 増 井 晃 **PD48**
 増 田 公 男 **PA06**
 舩 田 弘 子 **PE15**
 益 谷 真 **PA15**
 増 南 太 志 **PF20**
 俣 野 秀 典# **JB07**
 俣 野 源 晃# **PA31**
 町 岳

JD04, JE06, PF14

松 井 智 子# **研企シ4**
 松 尾 剛 **JC02**
 松 尾 直 博 **JC05**
 松 木 健 一 **JA05**
 松 坂 秀 雄# **JB06**
 松 下 ひとみ **PE45**
 松 嶋 秀 明 **JH01**
 松 島 る み **PB28**
 松 田 紘 昂# **PA16**
 松 戸 結 佳# **JD02**
 松 永 健一郎 **PD36**
 松 永 美 希# **PH25**
 松 並 知 子 **PA55**
 松 野 真 **PG32**
 松 原 憲 治# **PD66**
 松 原 耕 平 **PG24**
 松 見 淳 子# **研企シ3**
 松 村 香 **準企シ2**
 松 本 明日香 **PG34**
 松 本 恵 美 **PF06**
 松 本 邦 明# **PC30**
 松 本 慎 也 **PH61**
 松 本 博 雄 **PB65**
 松 本 有 貴 **JE03, JH02**
 松 山 泰 **JB03**
 松 山 康 成

JC01, PB59, PB66

マナロ エマニエル **JD07, PF25**
 丸 野 俊 一 **JF08**
 丸 山 貴 則 **PG54**

— み —

三 浦 麻 子# **PC15**
 三 浦 公 平# **JG01**
 三 浦 巧 也 **JA03, JB05, PD51, PG51, PH48, PH53**
 三 上 可菜子# **PE46**
 汀 逸 鶴 **PH43**
 箕 口 雅 博# **JF01**
 三 沢 良 **PF33, PF34**
 三 島 浩 路 **JD08, PC41, 準企シ4**
 水 谷 久 康 **PB29**
 水 野 文 香 **PF55**
 水 野 君 平 **PD60, PF60**
 水 野 智 美

PA38, PC42, PC51

水 野 雅 之 **PF44**
 水 野 里 恵 **PG05**
 溝 上 慎 一 **PD32**
 溝 口 哲 志# **JC01**
 道 田 泰 司 **JC08, PB31**
 光 田 基 郎 **PA17**
 光 永 悠 彦 **PE67**
 皆 川 順 **PF67, PG11**
 皆 川 直 凡 **PA16**
 南 雅 則 **PC56**
 南 学 **PA27**
 南 畑 好 美# **PA55**
 三 保 紀 裕# **PD32**
 宮 川 亜 実 **PD17**
 三 宅 幹 子 **JB08, JG01**
 宮 崎 昭 **JE03, JH02**
 宮 下 敏 恵 **PD48**
 宮 代 こずゑ **PF01, PF02**
 宮 野 祥 雄 **PA07**
 宮 原 道 子 **PG33**
 宮 本 友 弘

PA25, PA62, PB08, PE29

三 和 秀 平 **JF07, PC01, PC02, PE25**

— む —

向井敦子 **PA08**
 向出章子 **PB55**
 向山泰代 **PC44**
 武蔵由佳 **PA59**
 武藤世良 JG05
 村井潤一郎 JH08, 研企シ1
 村井史香 **PH10**
 村上達也 PD06
 村上凡子 **PB50**
 村上祐介 JB08, JE04
 村重朱音# PC16
 村田早希# PF63
 村田吉美# JB08
 村山恭朗 JD08
 室谷雅美 JG03
 室山晴美 **PA39**

— も —

持田魁斗# PA40
 望月正哉 準企シ4
 望月真里子# 準企シ2
 本岡寛子 PG24
 本村香 PC46
 森慶輔 PD48
 森敏昭 JG04, JH06
 森俊博 **PF24**
 森朋子 PD32
 森川樹奈# JG04
 森際孝司 PG24
 森口稔# PB33
 森下文 **PD46**
 森下俊秀 **PH41**
 森下葉子 PA04
 森田愛子 PG18, PH33
 森田英嗣 PB60
 森永康子 研企シ2
 盛永裕一# JD04
 森本寛訓 **PD55**
 守谷賢二 JB04, PH46
 守屋明佳 **PE31**
 守屋誠司# PA19
 森安史彦# PF34

— や —

八木麻衣子 **PF31**
 矢島由和 **PH18**
 安田哲也# 研企シ4
 ハッ塚一郎 **PD41**
 柳岡開地 PD60
 矢野隆彦 **PF41**
 矢野正 JG03
 山内康裕# JB01, JH03
 山口悦司# PA31
 山口一大 JE05
 山口剛 **PE08**
 山口由貴 PF56, **PH54**
 山口洋介 **PF66**
 山崎晃 PD53
 山崎勝之

JB08, PD57, PH51, PH52

山崎沙織 JC04
 山下倫実 **PD43**
 山下雅子 **PG28**
 山田将太 **PH23**
 山田剛史 JE02, JH08
 山田智之 **PD10**
 山田洋平 **PH64**
 山田嘉徳 JE04, PD32
 山中瑞穂 JB04
 山根倫也 **PG52**
 山村麻予 **PC55**
 山本晃輔 **PE16**
 山本奨 PF51, **PF52**
 山本琢俟 **PE60**
 山本ちか

PE53, **PE54**, PE55

山本利枝 **PE59**
 山本智一# PA31
 山本智也# JH03
 山本洋雄# PF27
 山本博樹 JC02, **PA23**, PG56
 山本信 **PD05**
 山本涉 JA03
 山森光陽

JE02, JF03, **PB34**, PD34, PD66

— ゆ —

結城佳子 **PF09**
 弓削洋子 **PB42**

湯澤正通 PE58, PG23
 湯澤美紀 PA05
 緩利誠# JF05, PD14

— よ —

余洋 **PH17**
 余川美智雄# PF01
 横嶋敬行
 JB08, PD57, **PH51**, PH52
 横田正夫 JH03
 横山恭子 PH11
 吉岡真梨子 PH41
 吉國秀人 **PA48**
 吉崎聡子 **PE05**
 吉澤英里 準企シ4
 吉澤和真# 準企シ4
 吉澤寛之 **PC40**, PD36,

PE42, PF41, PF54, PF64

吉田健人# PA16
 吉田琢哉 **PC40**, **PE42**
 吉田寿夫 研企シ1, 研企シ2
 吉田俊和 PC40
 吉田尚子 **PG37**
 吉田直人 **PH12**
 吉田甫 JC02
 吉田遥菜

JG08, **PF46**, PH45

吉田光成 JF01, **PA35**
 吉田梨乃

JA02, JB04, **PD33**, PH46

吉中淳 **PH15**
 吉永真理 **PC62**
 吉野巖 **PC17**
 吉野優香 **PF39**
 吉橋由香 PH01, PH02
 米川純子 **PD61**
 米田宏樹# PH50

— り —

李岩 PA26
 Rittle-Johnson, Bethany# PG26
 劉晶晶# PA16
 劉文静# PA36
 龍祐吉 **PA09**
 林如玉 **PG10**

— わ —				渡 部 麻 美	PC39	渡 邊 眞依子 #	PB23
				渡 邊 歩	PE64	渡 辺 弥 生	
若 林 紀 乃	PB01, PB02	渡 邊 賢 二	PD01 , PD02				JE03, PA44, PA60
若 松 養 亮	PB40	渡 邊 仁	JF02, PE62	渡 邊 由 貴	PD16		
若 本 純 子	PB45, PB46	渡 辺 貴 裕 #	JC06	渡 辺 梨 沙 #	PE59		
和 気 淑 江	PD37, PD38, PG07	渡 邊 毅 #	JC01	亘 理 陽 一 #	JE02		
綿 井 雅 康	JD03, PB51, PB52	渡 邊 文 枝	PC23	ワ ン ジ ン #	JD07		

日本教育心理学会第 61 回総会準備委員会

委員長 岡 隆

委 員	樫原 潤	狩野武道	河野千佳	坂本真士
	繁桝算男	篠ヶ谷圭太	津川律子	松村 香
	望月正哉	横田正夫	吉澤英里	

日本教育心理学会第 61 回総会プログラム

発行日 2019 年 8 月 26 日

発行者 一般社団法人 日本教育心理学会

日本教育心理学会第 61 回総会
広告掲載・出展社ご芳名

明石書店

風間書房

北大路書房

三京房

新曜社

ちとせプレス

東洋館出版社

トビー・テクノロジー

日本能率協会総合研究所

ニホン・ミック

福村出版

北樹出版

楽天インサイト

エスコアール

金子書房

金剛出版

実務教育出版

創元社

統計質保証推進協会統計検定センター

トーヨーフィジカル

ナカニシヤ出版

日本文化科学社

博報児童教育振興会

放送大学教育振興会

有斐閣

(五十音順 敬称略)

本総会を開催するにあたり，上記各社より多大なご支援をいただきました。
心より感謝申し上げます。

2019 年 8 月

一般社団法人 日本教育心理学会
理事長 小野瀬雅人
第 61 回総会準備委員会
委員長 岡 隆